

# Privia

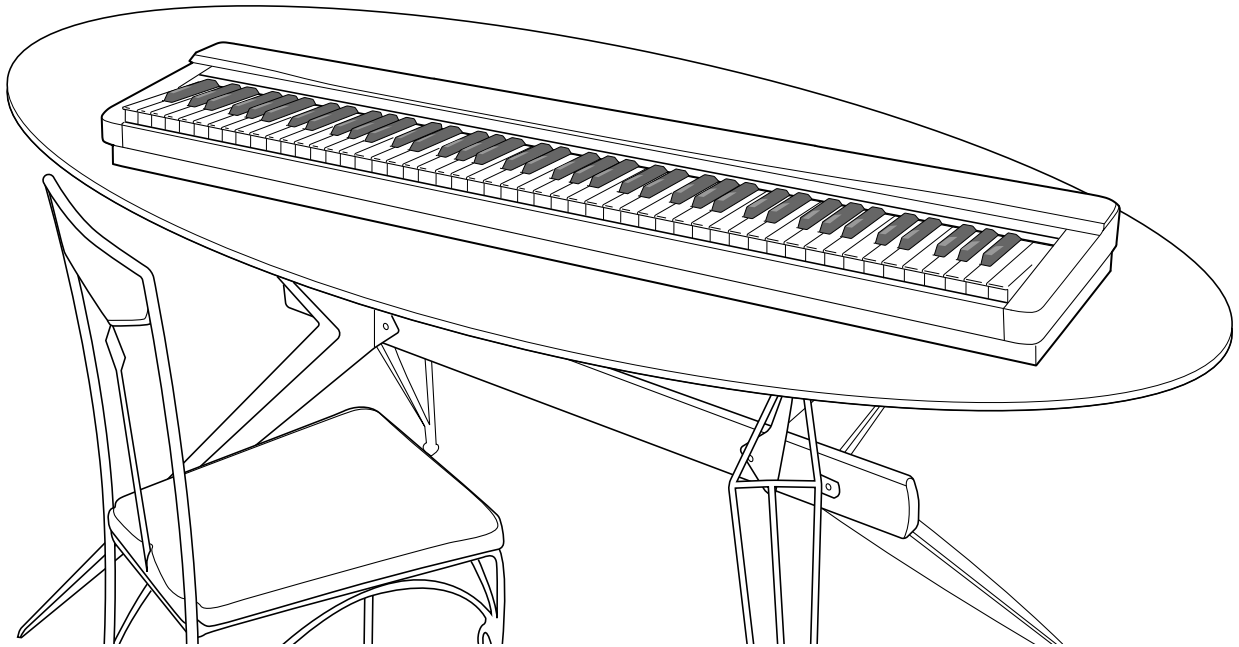
# PX-350M

## 取扱説明書（保証書別添）

この取扱説明書は、お読みになったあとも、  
保証書とともに、大切に保管してください。

「安全上のご注意」

ご使用前に、添付別紙「安全上のご注意」を  
お読みの上、正しくお使いください。



### ■ JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



このマークはEU諸国における  
リサイクル規制のマークです。



Manufacturer:  
CASIO COMPUTER CO., LTD.  
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan  
Responsible within the European Union:  
CASIO EUROPE GmbH  
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

# 目次

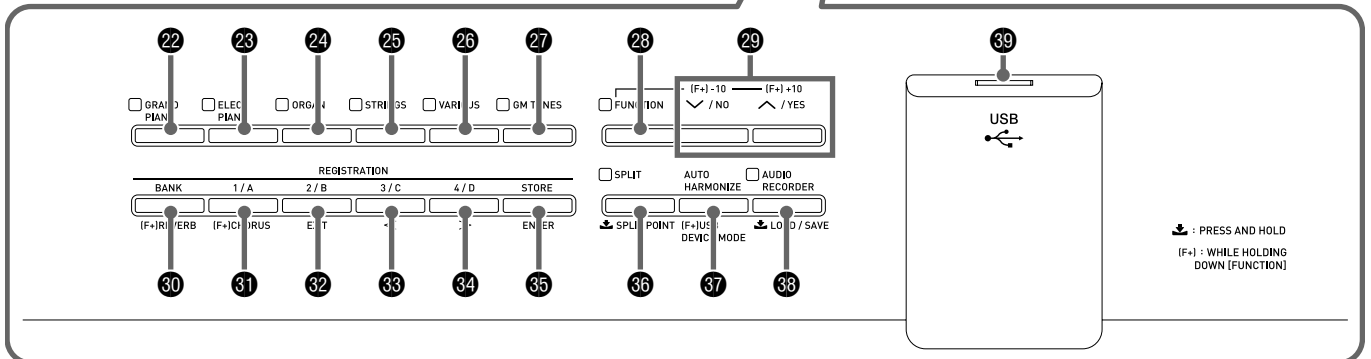
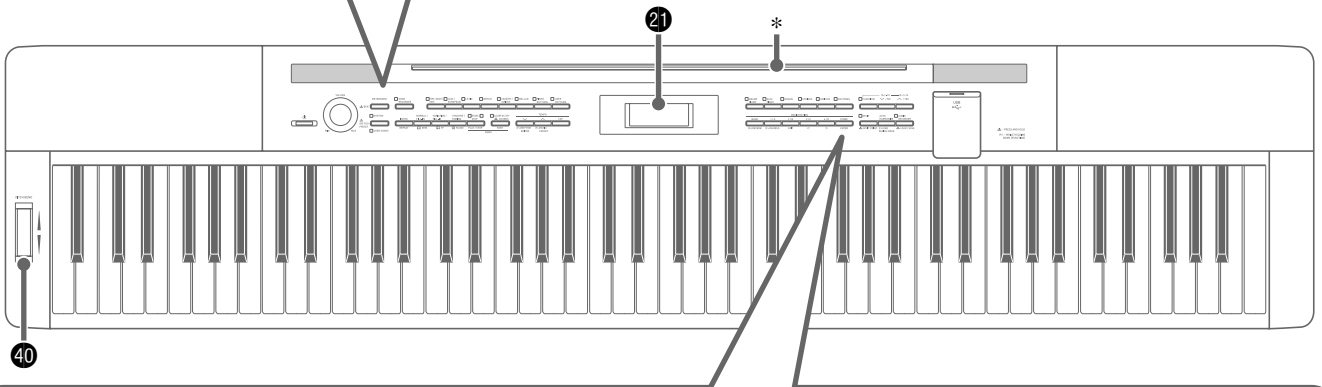
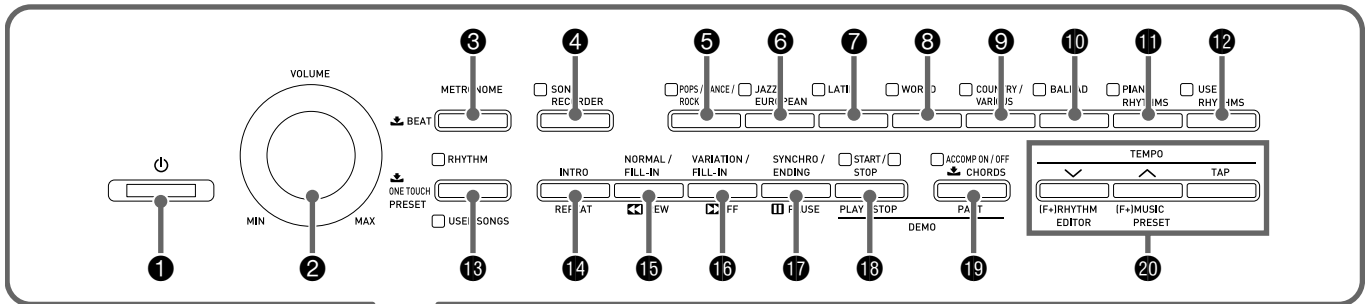
<b>全体ガイド</b> .....	<b>2</b>
各部の名称.....	2
譜面立ての立て方.....	3
設定内容の保存と、操作のロックについて.....	4
工場出荷時の状態に戻すには.....	4
ご使用上の注意.....	4
<b>電源について</b> .....	<b>5</b>
ACアダプターの使い方.....	5
電源の入れ方、切り方.....	6
<b>接続について</b> .....	<b>7</b>
ヘッドホンを接続するには.....	7
ペダルを接続するには.....	7
オーディオ機器やアンプと接続するには.....	8
付属品・別売品について.....	8
<b>いろいろな音色で弾いてみる</b> .....	<b>9</b>
音色を選んで弾いてみる.....	9
2つの音色を重ねる(レイヤー).....	9
2つの音色を左右に分ける(スプリット).....	10
オクターブ単位で音域を変える (オクターブシフト).....	11
音色の明るさを調節する(ブリリアンス).....	11
音の響きを変える(リバーブ).....	12
音に厚みをつける(コーラス).....	12
メトロノームを鳴らす.....	12
ピッチベンドホイールで音の高さを変える.....	13
2台ピアノにして弾いてみる(デュエット).....	14
<b>自動伴奏を鳴らす・編集する</b> .....	<b>15</b>
自動伴奏を鳴らして演奏する.....	15
お勧めの音色やテンポにする (ワンタッチプリセット).....	17
メロディーの音に和音をつける (オートハーモナイズ).....	18
編集してオリジナルのリズムを作る (リズムエディット).....	18
<b>曲を聴く</b> .....	<b>21</b>
音色のデモ曲を聴く.....	21
外部から読み込んだ曲を聴く (ユーザーソング).....	21
USBメモリーに保存した オーディオデータを再生するには.....	23
<b>ミュージックプリセット</b> .....	<b>24</b>
プリセットのデータを呼び出す.....	24
オリジナルのプリセットを作ろう (ユーザープリセット).....	25

<b>音やリズムの設定を登録する (レジストレーション)</b> .....	<b>29</b>
<b>演奏を録音する(ソングレコーダー)...</b>	<b>31</b>
内蔵のソングメモリーへ録音してみる (ソングレコーダー).....	31
2曲以上録音する.....	32
曲の演奏パートごとに録音する (トラック録音).....	32
録音したデータを消去する.....	33
録音した演奏の一部を録りなおす (パンチイン録音).....	34
USBメモリーへの録音 (オーディオレコーダー).....	35
<b>その他の設定</b> .....	<b>38</b>
設定するには.....	38
<b>USBメモリーを使用する</b> .....	<b>42</b>
一般のオーディオデータ(WAVファイル)を USBメモリーに保存するには.....	43
USBメモリーを本機に装着する・取り外す.....	43
USBメモリーをフォーマットする.....	44
本機のデータをUSBメモリーに保存する.....	44
USBメモリーから本機へデータを読み込む.....	45
USBメモリーのデータを消去する.....	46
USBメモリーのデータの ファイル名を変更する.....	46
USBメモリーの曲を再生するには.....	47
エラーメッセージ一覧.....	48
<b>パソコンとの接続について</b> .....	<b>49</b>
パソコンと接続する.....	49
MIDI機能を使ってみる.....	49
データをパソコンに保存する・ パソコンから読み込む.....	50
<b>資料</b> .....	<b>52</b>
困ったときは.....	52
製品仕様.....	53
保証・アフターサービスについて.....	54
音色リスト.....	55
ドラム音色リスト.....	57
リズムリスト.....	58
ミュージックプリセットリスト.....	60
指定できるコード種一覧.....	62
コード例一覧.....	63
<b>MIDIインプリメンテーション・チャート</b>	

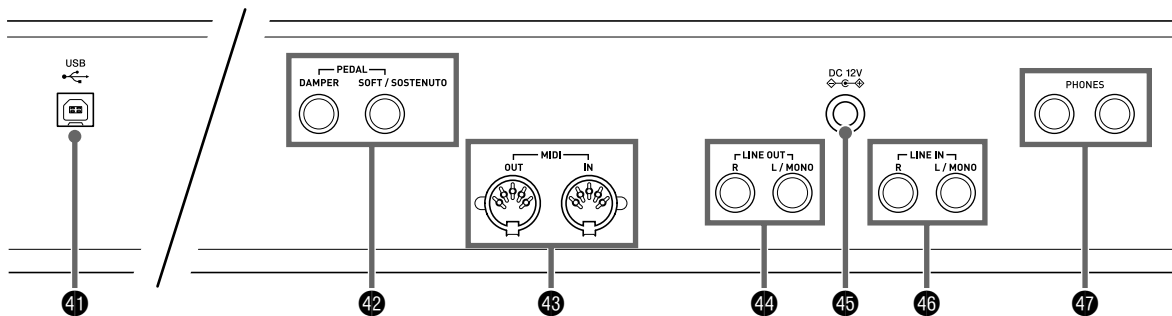
# 全体ガイド

## 各部の名称

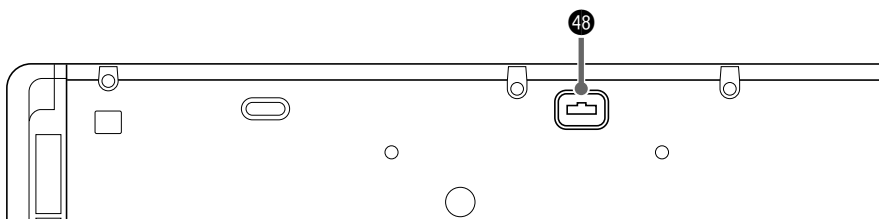
• 本書の巻末にある資料に、各部の番号を掲載しています。切り離してご活用ください。



### 【背面部】



### 【底面部】



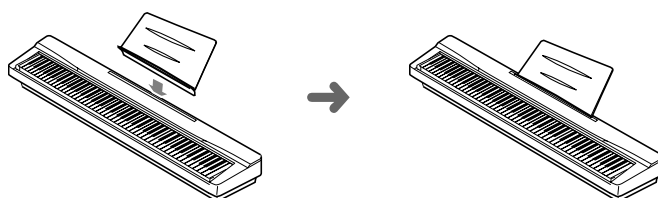
● 本書では、ボタンやつまみの操作を、これらの番号と名前ですべて説明します。

● ④マークの数字は参照ページです。

- ① **電源** ボタン ④6
- ② **VOLUME** つまみ ④6
- ③ **METRONOME** ボタン ④12, 13
- ④ **SONG RECORDER** ボタン ④31, 32, 33, 34, 35, 36
- ⑤ **POPS/DANCE/ROCK** ボタン ④15, 19, 26
- ⑥ **JAZZ/EUROPEAN** ボタン ④15, 19, 26
- ⑦ **LATIN** ボタン ④15, 19, 26
- ⑧ **WORLD** ボタン ④15, 19, 26
- ⑨ **COUNTRY/VARIOUS** ボタン ④15, 19, 26
- ⑩ **BALLAD** ボタン ④15, 19, 26
- ⑪ **PIANO RHYTHMS** ボタン ④15, 19, 25, 26
- ⑫ **USER RHYTHMS** ボタン ④15, 19, 25, 26
- ⑬ **RHYTHM, USER SONGS** ボタン  
④14, 15, 17, 18, 21, 22
- ⑭ **INTRO, REPEAT** ボタン ④17, 22, 23, 35
- ⑮ **NORMAL/FILL-IN, ◀◀REW** ボタン ④17, 22, 26, 34
- ⑯ **VARIATION/FILL-IN, ▶▶FF** ボタン ④17, 22, 26, 34
- ⑰ **SYNCHRO/ENDING, PAUSE** ボタン  
④16, 17, 22, 26, 34
- ⑱ **START/STOP, PLAY/STOP** ボタン  
④16, 21, 22, 23, 24, 31, 32, 34, 36, 47, 47
- ⑲ **ACCOMP ON/OFF, PART** ボタン  
④11, 15, 16, 21, 22, 47
- ⑳ **TEMPO, RHYTHM EDITOR, MUSIC PERSET** ボタン ④13, 15, 18, 24
- ㉑ 液晶画面
- ㉒ **GRAND PIANO** ボタン ④9, 11
- ㉓ **ELEC PIANO** ボタン ④9
- ㉔ **ORGAN** ボタン ④9
- ㉕ **STRINGS** ボタン ④9
- ㉖ **VARIOUS** ボタン ④9
- ㉗ **GM TONES** ボタン ④9
- ㉘ **FUNCTION** ボタン ④4, 6, 11, 12, 13, 14, 18, 23, 24, 32, 33, 36, 37, 38, 44, 46, 46, 47, 50
- ㉙ **✓/NO, ^/YES** ボタン ④9, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 18, 22, 23, 24, 25, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 44, 45, 46
- ㉚ **BANK, REVERB** ボタン ④12, 29, 30
- ㉛ **REGISTRATION 1/A, CHORUS** ボタン  
④12, 24, 29, 30
- ㉜ **REGISTRATION 2/B, EXIT** ボタン  
④20, 23, 24, 25, 28, 29, 30, 32, 34, 36
- ㉝ **REGISTRATION 3/C, <** ボタン  
④11, 24, 28, 29, 30, 34, 38, 46
- ㉞ **REGISTRATION 4/D, >** ボタン  
④11, 24, 28, 29, 30, 33, 34, 38, 44, 46
- ㉟ **STORE, ENTER** ボタン  
④11, 20, 25, 26, 28, 30, 44, 45, 46
- ㊱ **SPLIT, SPLIT POINT** ボタン ④10, 14
- ㊲ **AUTO HARMONIZE, USB DEVICE MODE** ボタン ④18, 50
- ㊳ **AUDIO RECORDER, LOAD/SAVE** ボタン  
④23, 35, 36, 37, 44, 45, 46, 47
- ㊴ **USB** メモリー端子 ④43
- ㊵ **PITCH BEND** ホイール ④13
- ㊶ **USB** 端子 ④49
- ㊷ **DAMPER, SOFT/SOSTENUTO PEDAL** 端子 ④7
- ㊸ **MIDI OUT/IN** 端子 ④8
- ㊹ **LINE OUT R, L/MONO** 端子 ④8
- ㊺ 電源端子 (DC 12V) ④5
- ㊻ **LINE IN R, L/MONO** 端子 ④8
- ㊼ **PHONES** 端子 ④7
- ㊽ ペダルコネクター ④8

## \* 譜面立ての立て方

譜面立ての脚を、本体の上部にあるみぞに差し込んでお使いください。



## 設定内容の保存と、 操作のロックについて

本機では、各種設定の内容を電源を切った後も保存したり、ボタンをロックして誤操作を防いだりすることができます。詳しくは38～41ページ「その他の設定」の、「設定内容の保存」と「操作のロック」をご参照ください。

## 工場出荷時の状態に戻すには

本機のデータや設定などシステムの内容をすべて初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切ります。
2. ボタン⑦(GM TONES)と⑧(FUNCTION)を両方一緒に押しなが、ボタン①(⏻)を押します。
  - 本機の電源が入り、システムの初期化をしばらく行った後に、演奏できる状態になります。

### メモ

- 電源のオンオフ操作については、6ページ「電源の入れ方、切り方」をご参照ください。

## ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

### ■ 設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります)。

### ■ 本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

### ■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

### ■ ウェルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

### ■ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万一ご不明な点や誤りなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

# 電源について

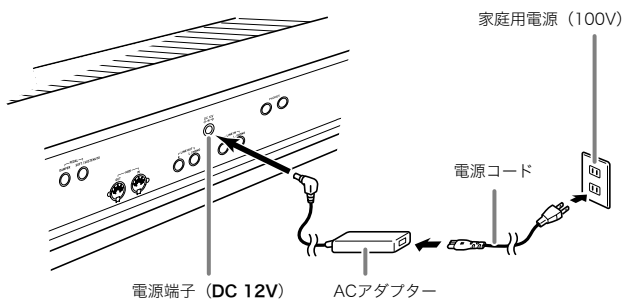
本機は、電源として家庭用電源を使用します。  
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

## ACアダプターの使い方

本機付属のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）を使用してください。付属以外のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

本機指定ACアダプターの型式：AD-A12150LW

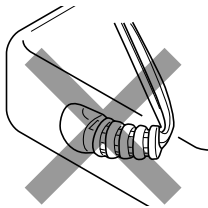
- ACアダプターの接続には、下図のように付属の電源コードをご使用ください。



コード部の断線防止のため、次の点にご注意ください。

### <使用時>

- コードを強く引っ張らない
- コードを繰り返し引っ張らない
- コードの根元部分を折り曲げない

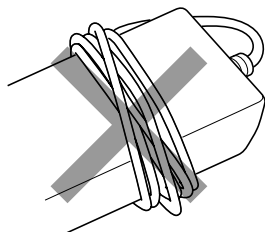


### <移動時>

- 本体を移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから外す

### <保管時>

- コードは図のようにACアダプター本体に巻き付けず、束ねてまとめる



## 重要!

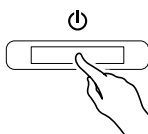
- 本機付属のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）は、本機にのみご使用ください。他の機器への接続は絶対に行わないでください。故障の原因となります。
- ACアダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- ACアダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 付属の電源コードは、本製品以外の電気機器には使用しないでください。

## ■ 付属のACアダプターについて

- 本ACアダプターは、使用する機器の近くにあるコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じた時には、コンセントから直ちに引き外せるようにしてください。
- 本ACアダプターは、屋内専用です。水滴のかかる場所には置かないでください。また、水の入った花瓶などを本ACアダプターの上にのせないでください。
- 本ACアダプターは、湿気のないところで保管してください。
- 本ACアダプターは、広々とした換気のよいところでお使いください。
- 本ACアダプターを、新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどで覆わないようにしてください。
- 使用する機器を長い間使用しない時には、本ACアダプターをコンセントから外してください。
- 本ACアダプターは、修理することができません。
- 本ACアダプターの使用環境：温度0~40°C  
湿度10%~90%RH
- 出力形式：◇—C—◇

## 電源の入れ方、切り方

1. 付属のACコードで、ご家庭の100V電源とACアダプター本体を接続します。
2. ボタン①(⏻) (本機の電源をコントロールするボタン)を押して、本機の電源を入れます。
  - 画面に“Please wait...”の表示が出ている間は、鍵盤、ペダル、ボタンに触らないでください。誤動作の原因になります。



- ② (VOLUME)つまみを使って、音量を調節します。

3. 本機の電源を切るには、ボタン①(⏻)を液晶画面が消灯するまで押し続けます。

### メモ

- ボタン①(⏻)で電源を切ったあとも、本機は微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないとき、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。

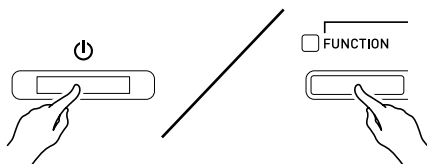
## オートパワーオフ機能

本機を何も操作せずに一定時間放置すると、無駄な電力消費を防ぐため自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、約4時間です。

- 下記の操作で一時的にオートパワーオフ機能をキャンセルすることができます。

### ■ オートパワーオフ機能をキャンセルするには

1. 本機の電源が入っている場合は、ボタン①(⏻)を押して、いったん電源を切ります。
2. ボタン③(FUNCTION)を押しながら、ボタン①(⏻)を押します。



- オートパワーオフ機能がキャンセルされた状態で、電源が入ります。

### メモ

- 上記の操作の後で電源を切り、ボタン①(⏻)だけを押して電源を入れ直すと、オートパワーオフ機能は再び有効になります。



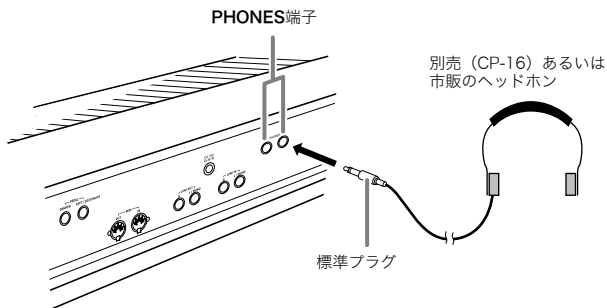
# 接続について

## ヘッドホンを接続するには

### 重要!

- 接続の際は、本機の**VOLUME**つまみを絞っておき、接続後、適切な音量に調節してください。
- 本機では、ヘッドホンを使用しているときはヘッドホンで聴くのに適した音質に、内蔵スピーカーを使用しているときは内蔵スピーカーで聴くのに適した音質に自動的に切り替わります。

### 【背面部】



別売 (CP-16) あるいは市販のヘッドホン**PHONES**端子に接続します。本機のスピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏が楽しめます。なお、耳の保護のために音量を上げすぎないようにご注意ください。

### メモ

- ヘッドホンのプラグは**PHONES**端子に根元までしっかり差し込んでください。プラグが根元まで挿入されていないと、ヘッドホンの片側からしか音が出ない場合があります。
- ヘッドホンのプラグの形状が端子にあわない場合は、市販の変換プラグをご使用ください。
- ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。プラグが残っていると演奏しても音が出ません。

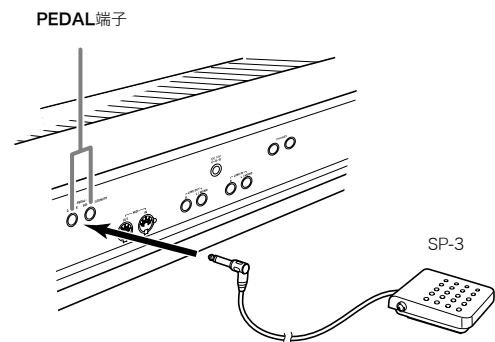
## ペダルを接続するには

本機には、ダンパーペダル用とソフト/ソステヌートペダル用の2つのペダル端子があります。

### PEDAL端子について

ペダル (SP-3) を目的に応じて、**PEDAL**端子の**DAMPER**または**SOFT/SOSTENUTO**に接続します。両方の端子を同時に使用したい場合は、別売品のペダルをご利用ください。

### 【背面部】



### メモ

- ペダルをソフト/ソステヌートペダル端子につないだ場合には、切り替え式でどちらか一方の効果を使用することができます。設定方法については、38~41ページ「その他の設定」の「ソフト/ソステヌートペダルの切り替え」をご参照ください。

### 【各ペダルの働き】

#### ● ダンパーペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音の余韻が長くなります。

- ピアノ音色を選んでいる場合は、実際のグランドピアノでダンパーペダルを使っているときのような共鳴効果 (ダンパーレゾナンス) もかけられます。

#### ● ソフトペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、ペダルを踏んでから鍵盤で弾いた音が弱まるだけでなく、音色が柔らかく聴こえる効果が得られます。

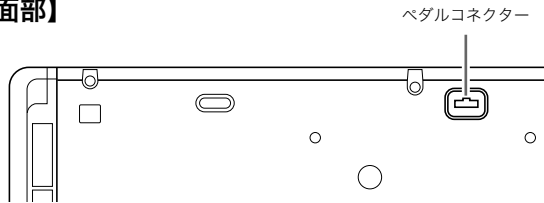
#### ● ソステヌートペダル

このペダルを踏んだ時点で押さえている鍵盤の音だけ、ペダルを離すまで余韻が長くなる効果が得られます。

## ペダルコネクターについて

ペダルコネクターには、別売のペダルユニット (SP-33) をご利用ください。よりグランドピアノに近い、表現力豊かなペダル演奏が楽しめます。

### 【底面部】



### メモ

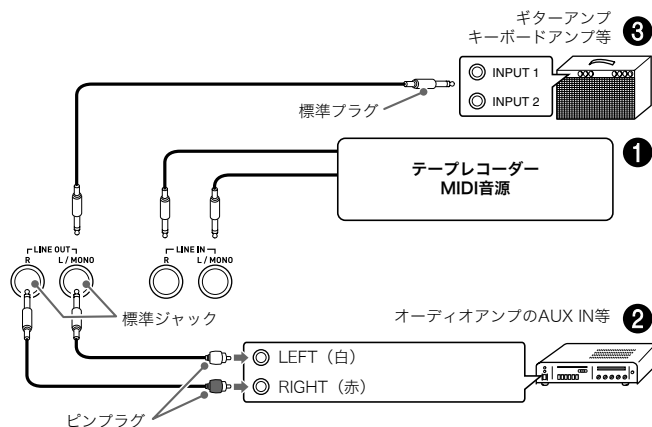
- SP-33は、ダンパーペダルを途中まで踏んで軽く効果をかける「ハーフペダル」にも対応しています。また、ペダルを途中まで踏み込んだときにかかるペダル効果の度合いを調節できます。設定方法は、38～41ページ「その他の設定」の「ハーフペダルの効果」をご参照ください。
- SP-33を使用するときは、別売品の専用スタンドCS-67Pが必要です。

## オーディオ機器やアンプと接続するには

オーディオ機器や楽器用アンプと接続すれば、それらの機器のスピーカーの能力に応じた、より迫力のある音量や音質で、演奏を楽しめます。

### 重要!

- 本機では、ヘッドホンを使用しているときはヘッドホンで聴くのに適した音質に、内蔵スピーカーを使用しているときは内蔵スピーカーで聴くのに適した音質に自動的に切り替わります。これに従って本機のLINE OUT R, L/MONO端子から出力される音質も自動的に変わります。
- 接続の際は、本機のVOLUMEつまみを (接続する機器側にも音量調節があればそちらも) 絞っておき、接続後、適切な音量に調節してください。
- 接続に際しては、接続機器の取扱説明書も合わせてお読みください。



## 外部機器の音を本機から鳴らすには (図①)

LINE IN R (Right) に接続すれば右スピーカーから、LINE IN L/MONO (Left) に接続すれば左スピーカーから音が出ます。相手の機器の出力端子に応じた、市販の接続コードをご利用ください。LINE IN L/MONO だけに接続すれば、両方のスピーカーから音が出ます。

## オーディオ機器と接続するには (図②)

LINE OUT R (Right) が右チャンネル、LINE OUT L/MONO (Left) が左チャンネルの音です。市販の接続コードで図②のように、両方とも接続してください。通常はオーディオ機器のインプットセクターを、接続した端子 (AUX IN 等) に切り替えます。音量は本機のVOLUMEつまみでも調節できます。

## 楽器用アンプと接続するには (図③)

LINE OUT R (Right) が右チャンネル、LINE OUT L/MONO (Left) が左チャンネルの音です。LINE OUT L/MONO だけに接続すれば、両方のチャンネルの混ざった音になります。市販の接続コードで図③のように接続してください。音量は本機のVOLUMEつまみでも調節できます。



### 重要!

#### LINE OUT端子を使うとき

- LINE OUT端子を使う場合は、PHONES端子にヘッドホン接続してください。ラインアウトに適した音質に切り替わります。

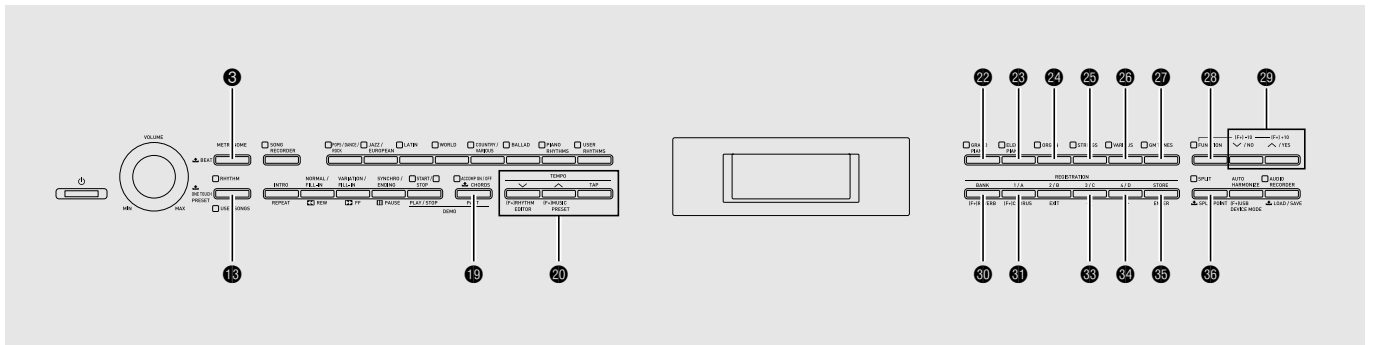
## 付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

- 付属品の一覧と、別売品のご案内については54ページをご参照ください。
- 別売品については、店頭の商品カタログでより詳しい情報がご覧になれます。

<http://casio.jp/emi/catalogue/>

# いろいろな音色で弾いてみる



## 音色を選んで弾いてみる

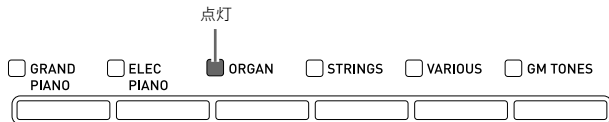
本機には250種類の音色(トーン)があります。音色は全部で6つのグループに分かれています。

- 詳細は55ページ「音色リスト」をご参照ください。
- 音色の特徴を生かしたデモンストレーション用の自動演奏曲をお聴きになれます。21ページ「曲を聴く」の「音色のデモ曲を聴く」をご参照ください。

1. 55ページ「音色リスト」で、鳴らしたい音色のグループと番号を確認します。

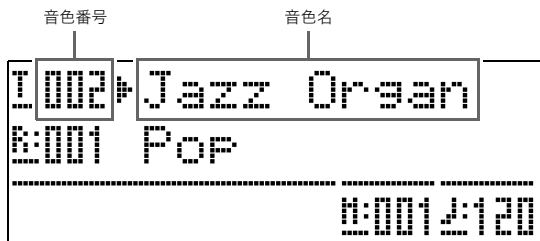
2. ボタン②②~②⑦(音色グループ)を押して、グループを選びます。

例: “ORGAN”グループを選んだ場合



3. ボタン②⑨(∨、∧)で音色を選びます。

例: “002 Jazz Organ”を選んだ場合



### メモ

- ∨と∧を両方一緒に押すと、グループの中の001番の音色になります。
- ∨や∧を押し続けると、連続して番号を切り替えることができます。
- ボタン②⑨(FUNCTION)を使って番号を素早く切り替えることもできます(38ページ)。

## 2つの音色を重ねる(レイヤー)

2つの音色を重ねて鳴らして、1つの音色のように演奏することができます。

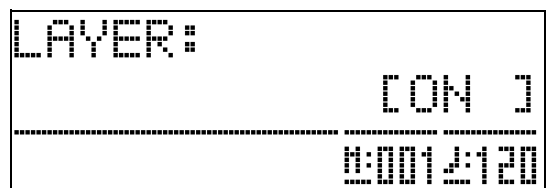
- 先に選ぶ音色を“メイン音色”、後から重ねる音色を“レイヤー音色”と呼びます。

1. メイン音色を選びます。

例: “GRAND PIANO”グループの“GRAND PIANO MELLOW”を選ぶ場合は、ボタン②②(GRAND PIANO)を押してから、ボタン②⑨(∨、∧)で“006 GRAND PIANO MELLOW”を選びます。

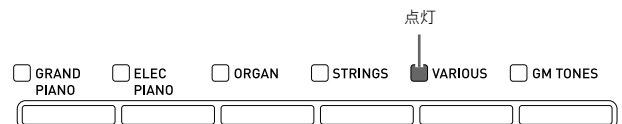
2. レイヤー音色に選びたい音色のグループボタンを、液晶画面に下記(“LAYER ON”)が表示されるまで押し続けます。

レイヤーオンになり、2つの音色が重なって鳴るようになります。



押し続けたボタンのランプが点灯します。

例: “VARIOUS”グループを選んだ場合



3. ボタン②⑨(∨、∧)でレイヤー音色を選びます。

例: “006 Picked Bass”を選んだ場合



#### 4. もとの1音色の状態に戻すには、音色グループボタンのいずれか1つを押します。

##### メモ

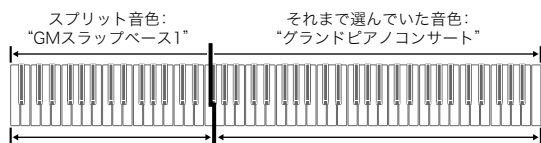
- 重ねている2つの音色の音量バランスを調節できます。  
38~41ページ「その他の設定」の「レイヤー音色の音量(レイヤーバランス)」をご参照ください。

## 2つの音色を左右に分ける(スプリット)

左側の鍵盤(低音部)の音色を切り替えて、右側の鍵盤(高音部)とは別の音色で演奏することができます。

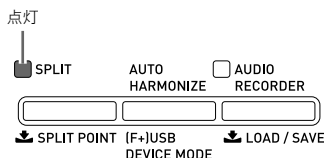
- このとき低音部を選ぶ音色を“スプリット音色”と呼びます。

例: スプリット音色に“GMスラップベース1”を選んだ場合



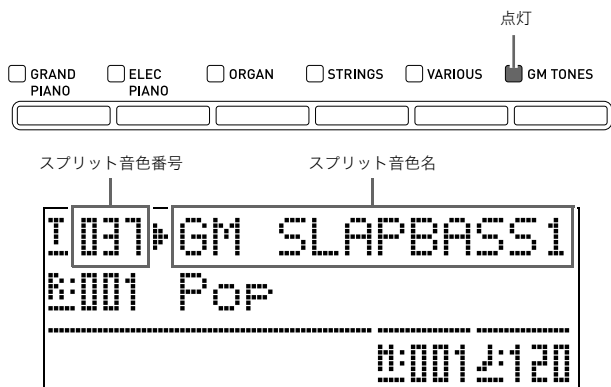
#### 1. ボタン<sup>36</sup>(SPLIT)を押します。

ボタン<sup>36</sup>のランプが点灯してスプリットオンになり、鍵盤が高音部と低音部に分かれて別々の音色になります。



#### 2. 低音部の音色(スプリット音色)を選びます。

例: “GM TONES”グループの“GM SLAP BASS 1”を選ぶ場合は、ボタン<sup>27</sup>(GM TONES)を押してから、ボタン<sup>29</sup>( $\checkmark$ 、 $\wedge$ )で“037 GM SLAP BASS 1”を選びます。



#### 3. もとの1音色の状態に戻すには、ボタン<sup>36</sup>(SPLIT)を押します。

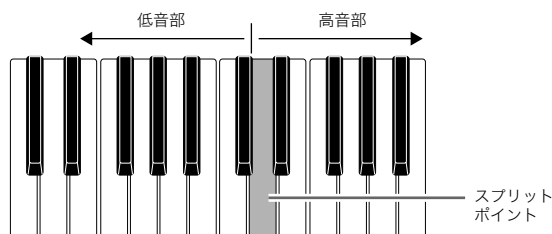
ボタンのランプが消灯して、スプリットを解除します。

##### メモ

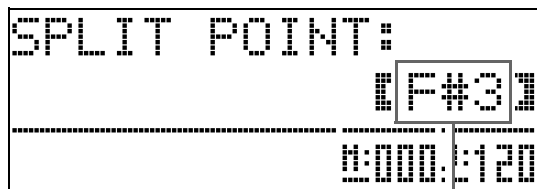
- あらかじめレイヤー(9ページ)で2つの音色を重ねておくと、スプリットをオンにしたときに高音部でそれらの音色を鳴らすことができます。

#### 音色の分け目を変えるには(スプリットポイント)

スプリットでの高音部の左端の鍵盤(スプリットポイント)を切り替えて、音色の分け目を変えることができます。



#### 1. 液晶画面に下記(“SPLIT POINT”)が表示されるまで、ボタン<sup>36</sup>(SPLIT)を押し続けます。



スプリットポイントの鍵盤名

#### 2. 高音部の左端(スプリットポイント)にしたい鍵盤を押します。

押した鍵盤がスプリットポイントになります。

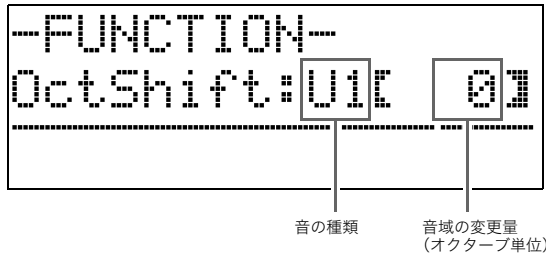
#### 3. ボタン<sup>36</sup>(SPLIT)を押します。

スプリットポイントの画面を終了します。

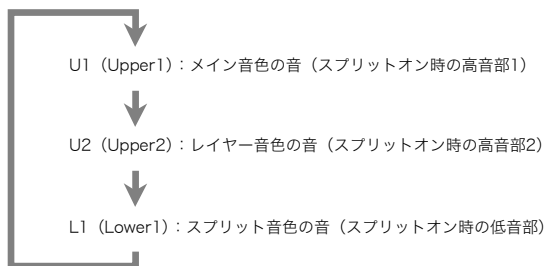
## オクターブ単位で音域を変える (オクターブシフト)

たとえば前述のスプリット機能(10ページ)オンで演奏するとき、低音部の音が低すぎる、あるいは高音部の音が高すぎるようなことがあります。そのような場合に、低音部や高音部それぞれの音域をオクターブ単位で変えて弾くことができます。

1. ボタン $\text{F}$ (FUNCTION)を押しながら、 $\text{G}$ (GRAND PIANO)を押します。  
オクターブシフトの画面になります。



2. ボタン $\text{P}$ (PART)を押して、音域を変えたい音の種類を選びます。
  - ボタン $\text{P}$ (PART)を押すごとに、下記のように音の種類が切り替わります。



3. ボタン $\text{V}$ ( $\surd$ 、 $\wedge$ )で、選んだ音の音域を変更します。
  - $-2 \sim 0 \sim 2$ オクターブの間で変更できます。
4. ボタン $\text{F}$ (FUNCTION)を押します。  
オクターブシフトの画面を終了します。

### メモ

- オクターブシフトは別の方法でも変更できます。詳しくは38~41ページ「その他の設定」の「オクターブシフト」をご参照ください。

## 音色の明るさを調節する (ブリリアンス)

1. ボタン $\text{F}$ (FUNCTION)を押します。  
ボタンのランプが点灯して、液晶画面に“FUNCTION”と表示されます。



2. ボタン $\text{R}$ ( $\text{>}$ )または $\text{L}$ ( $\text{<}$ )を押して、下記の表示(“Tmpr/Effect”)を選びます。



3. ボタン $\text{E}$ (ENTER)を押します。  
“Tmpr/Effect”というグループの中の設定項目を選ぶ画面になります。
4. ボタン $\text{R}$ ( $\text{>}$ )または $\text{L}$ ( $\text{<}$ )を押して、下記の表示(“Brilliance”)を選びます。



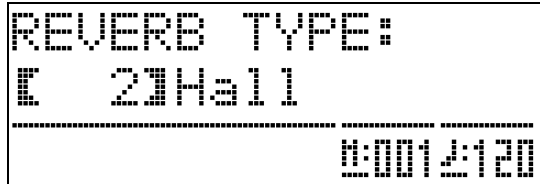
5. ボタン $\text{V}$ ( $\surd$ 、 $\wedge$ )で、音の明るさ( $-3 \sim 0 \sim 3$ )を調整します。
  - $\surd$ : まるやかな柔らかい感じの音になる
  - $\wedge$ : 明るく硬い感じの音になる
6. ボタン $\text{F}$ (FUNCTION)を押します。  
ボタンのランプが消灯して、ブリリアンスの画面を終了します。

### メモ

- ボタン $\text{F}$ (FUNCTION)の操作方法については、38~41ページ「その他の設定」もご参照ください。

## 音の響きを変える(リバーブ)

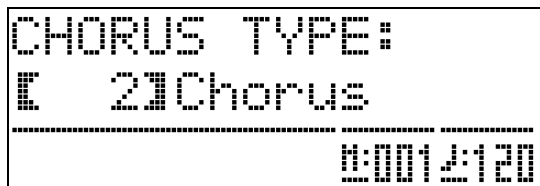
1. ボタン<sup>29</sup>(FUNCTION)を押したまま、ボタン<sup>30</sup>(REVERB)を押します。  
リバーブ(音が響く効果)のタイプ(種類)の選択画面に切り替わります。



2. ボタン<sup>29</sup>( $\nabla$ 、 $\wedge$ )で、タイプを選びます。
  - リバーブのタイプを、下記の5種類から選びます。
    - 0: OFF(オフ)
    - 1: Room
    - 2: Hall
    - 3: Large Hall
    - 4: Stadium
3. ボタン<sup>29</sup>(FUNCTION)を押します。  
リバーブタイプの画面を終了します。

## 音に厚みをつける(コーラス)

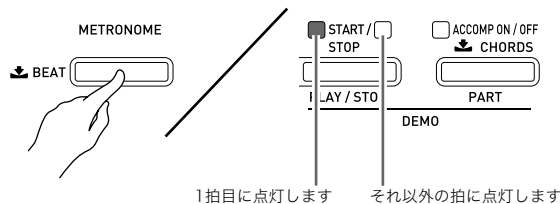
1. ボタン<sup>29</sup>(FUNCTION)を押したまま、ボタン<sup>31</sup>(CHORUS)を押します。  
コーラス(音に厚みを加える効果)のタイプ(種類)の選択画面に切り替わります。



2. ボタン<sup>29</sup>( $\nabla$ 、 $\wedge$ )で、タイプを選びます。
  - コーラスのタイプを、下記の5種類から選びます。
    - 0: OFF(オフ)
    - 1: LightChorus
    - 2: Chorus
    - 3: Deep Chorus
    - 4: Flanger
3. ボタン<sup>29</sup>(FUNCTION)を押します。  
コーラスタイプの画面を終了します。

## メトロノームを鳴らす

1. ボタン<sup>3</sup>(METRONOME)を押します。  
メトロノームが鳴ります。

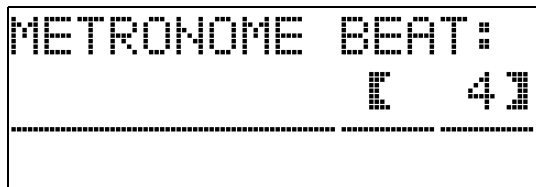


2. もう一度ボタン<sup>3</sup>(METRONOME)を押します。  
メトロノームが停止します。

### 拍子を変えるには

2~6拍子の中からメトロノームの拍子を選べます。  
0拍子を選ぶと、どの拍も同じ音が鳴ります。拍子にかかわらず練習するのに便利です。

1. 液晶画面に下記("METRONOME BEAT")が表示されるまで、ボタン<sup>3</sup>(METRONOME)を押し続けます。



2. ボタン<sup>29</sup>( $\nabla$ 、 $\wedge$ )で拍子を選びます。
3. ボタン<sup>3</sup>(METRONOME)を押します。  
メトロノームの拍子画面を終了します。

## テンポ(速さ)を変えるには

ボタン⑳(TEMPO √、∧)で調節する(だんだん速くしたり遅くしたりする)方法と、好みのテンポにあわせてボタンを連打する方法(タップ入力)の2種類があります。

### ■方法1: ボタン⑳(TEMPO √、∧)でテンポを調節する

#### 1. ボタン⑳(TEMPO √、∧)でメトロノームのテンポを調節します。

ボタンを押すごとにテンポ値(1分間あたりの拍数)が1ずつ切り替わります。

- ボタンを押し続けると、連続して素早く切り替えることができます。
- テンポ値は20~255の間で設定できます。

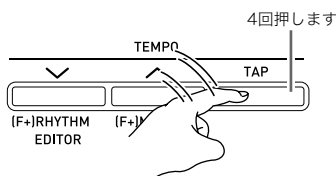


### ■方法2: ボタンを連打してテンポを決める (タップ入力)

「1、2、3、4」とカウントするように4回ボタンをたたいて、即座にそのテンポにすることができます。

#### 1. 鳴らしたいテンポにあわせてボタン⑳(TEMPO)のTAPを4回押します。

- 4回押したタイミングに応じたテンポに切り替わります。



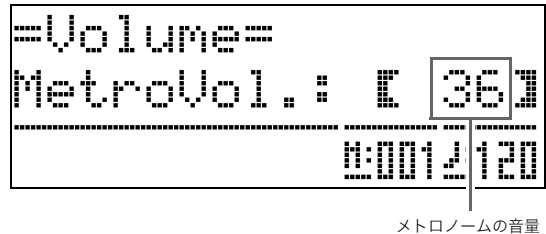
- まずこの方法でだいたい好みのテンポにしておいてから、前述の「方法1」で微調整をするなど、2種類の方法を組み合わせて使うと便利です。

## 鍵盤の音量とのバランスを変えるには (メトロノームボリューム)

鍵盤の音量はそのままに、メトロノームの音量のみを変えてバランスを調節することができます。

#### 1. ボタン㉓(FUNCTION)を押しながら、ボタン㉑(METRONOME)を押します。

メトロノームの音量画面が表示されます。



#### 2. ボタン㉓(√、∧)でメトロノームの音量(0~42)を調節します。

#### 3. ボタン㉓(FUNCTION)を押します。

ボタンのランプが消灯して、メトロノームの音量画面を終了します。

### メモ

- メトロノームの音量は、別の操作方法で調整することもできます。詳しくは38~41ページ「その他の設定」の「メトロノームの音量」をご参照ください。

## ピッチベンドホイールで音の高さを変える

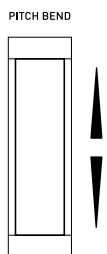
演奏中に音の高さを滑らかに上下することができます。サククスやエレキギターのチョーキング奏法のような効果を出すことができます。

### 演奏方法

#### 1. 右手で鍵盤を押しながら、左手でホイール㉑(PITCH BEND)を上下に動かします。

ホイールを動かした量に応じて、音の高さが変わります。

- 本機の電源を入れるときには、ホイールを動かさないようにしてください。

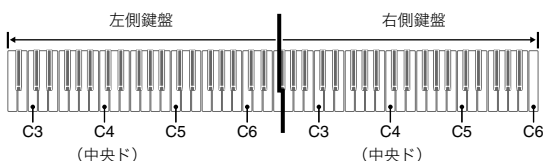


### メモ

- ホイールを上限や下限まで動かしたときの、音の高さの変化量を変えることができます。操作方法については、38~41ページ「その他の設定」の「ピッチベンドレンジ」をご参照ください。

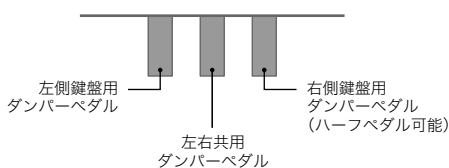
## 2台ピアノにして弾いてみる (デュエット)

鍵盤を中央から左右に分けて、2台ピアノにして連弾ができます。左側で先生がお手本演奏をして、右側で生徒さんが同じメロディーを弾く練習にも使えますし、ピアノ曲の左手パートと右手パートを2人で分担して合奏する、といった楽しみ方もあります。



### 【ペダル】

#### ● 別売のSP-33をお使いの場合



#### ● 付属のSP-3をお使いの場合

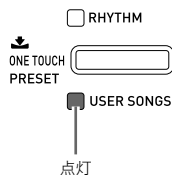
右側鍵盤用ダンパーペダルにするには、端子④② (DAMPER PEDAL) につなぎます。

- ハーフペダルの効果は使えません。

左側鍵盤用または左右共用ダンパーペダルにするには、端子④① (SOFT/SOSTENUTO PEDAL) につなぎます。

- 初期状態では左側鍵盤用になります。左右共用にするには、38～41ページ「その他の設定」の「ソフト/ソステヌートペダルの切り替え」を「ソステヌート」にしてください。

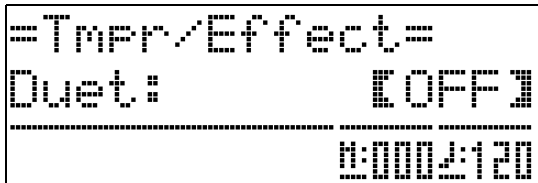
### 1. ボタン⑲ (USER SONGS) を押して、ボタンの下側のランプを点灯させます。



### 2. ボタン⑳ (FUNCTION) を押しながら、ボタン㉓ (SPLIT) を押しします。

デュエットのオンオフ画面が表示されます。

- この表示のときには鍵盤で演奏することはできません。



### 3. ボタン㉑の(∧)を押して、オンにします。ボタン㉓ (SPLIT) のランプが点滅します。

### 4. ボタン㉒ (FUNCTION) を押しします。

デュエットのオンオフ画面を終了して、デュエットオンで演奏できるようになります。

### 5. デュエットを終了するには、ボタン㉓ (SPLIT) を押しします。

ボタンのランプが消灯して、デュエットオフに戻ります。

### メモ

- デュエットのオンオフは、別の操作方法で切り替えることもできます。詳しくは38～41ページ「その他の設定」の「デュエット」をご参照ください。

## デュエットでの音域を変更するには (デュエットオクターブシフト)

左右の鍵盤それぞれの音域をオクターブ単位で変更できます。

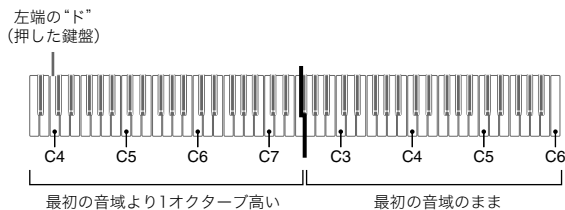
### 1. ボタン㉒ (FUNCTION) を押しながら、ボタン㉓ (SPLIT) を押しします。

デュエットのオンオフ画面が表示されます(14ページ「2台ピアノにして弾いてみる(デュエット)」の手順2)。この設定がオフのときは、ボタン㉑の(∧)を押してオンにしてください。

### 2. 左側鍵盤に4つある“ド”の中から、中央ド(C4) にしたい鍵盤を選んで押しします。

C4の音が鳴って、左側鍵盤の音域が変更されます。

例: 左端の“ド”を押したときは、下図のように左側鍵盤の音域が変更されます。



### 3. 同様に、右側鍵盤のいずれかの“ド”を押して、右側鍵盤の音域を変更します。

### 4. ボタン㉒ (FUNCTION) を押しします。

ボタンのランプが消灯して、デュエットのオンオフ画面を終了します。

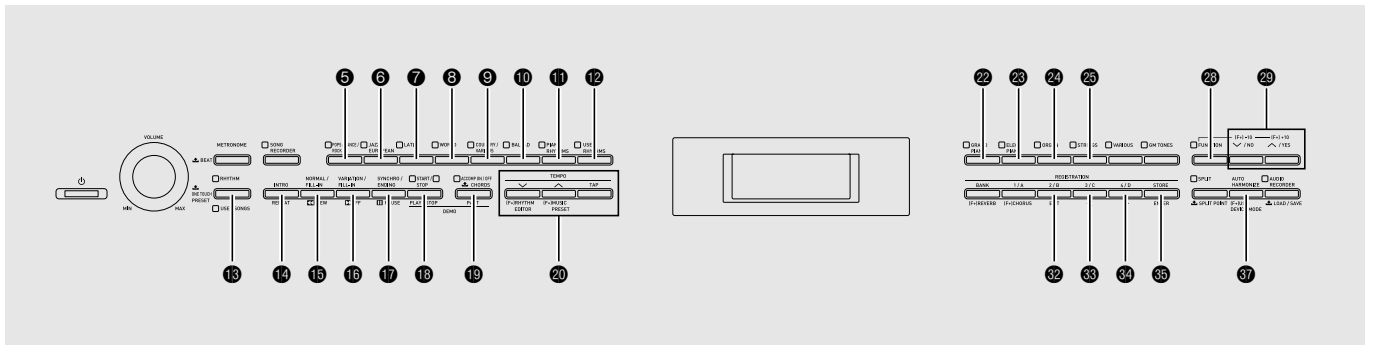
変更した音域で演奏できるようになります。

### メモ

- デュエットを解除すると、音域の変更はクリアされて最初の音域に戻ります。



# 自動伴奏を鳴らす・編集する

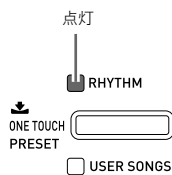


自動伴奏とは、好みの伴奏リズムを選び、左手でコード(和音)を押すだけで、選んだリズムにあった伴奏(ドラム、ギターなどの演奏)が自動的に鳴る機能です。1人でバンド演奏のようなアンサンブルをお楽しみいただけます。

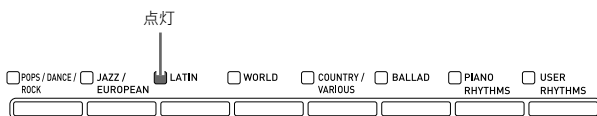
本機は180種類のリズムを内蔵しており、7つのグループに分かれています。またそれらの内蔵リズムを編集してオリジナルのリズム(ユーザーリズム)を作り、8つ目のグループに保存することもできます。詳細は58ページ「リズムリスト」をご参照ください。

## 自動伴奏を鳴らして演奏する

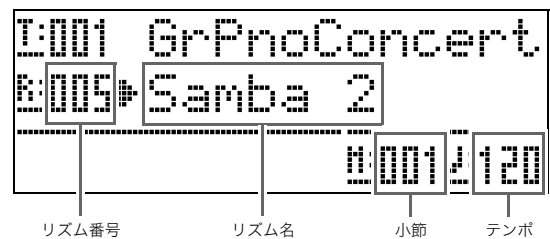
- ボタン⑬(RHYTHM)を押して、ボタンの上側のランプを点灯させます。  
自動伴奏を鳴らせるようになります。  
• 押すごとに上下のランプが交互に点灯します。



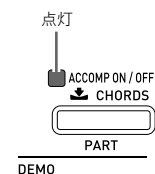
- 58ページ「リズムリスト」で、鳴らしたいリズムのグループと番号を確認します。
- ボタン⑤～⑫(リズムグループ)を押して、グループを選びます。  
例: “LATIN”グループを選んだ場合



- ボタン⑳(TEMPO √、∧)を押して、リズムを選びます。  
例: “005 Samba 2”を選んだ場合



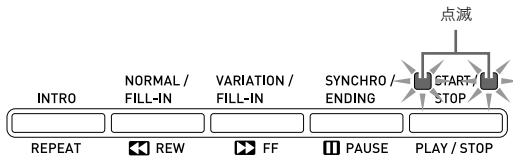
- ボタン㉑(TEMPO √、∧)で、テンポ(速さ)を調節します。
  - テンポの調節方法はメトロノーム(12ページ)と同様です。
  - ボタン㉑の(√)と(∧)を両方一緒に押すと、選んでいるリズムのお勧めのテンポになります。
- ボタン⑲(ACCOMP ON/OFF)を押して、ボタンのランプを点灯させます。  
ア कंपオン(すべての楽器パートが鳴る状態)になります。
  - ランプを消灯させてア कंपオフにすると、打楽器のパート(ドラム、パーカッション)だけが鳴ります。
  - ボタンを押すたびにオンとオフが交互に切り替わります。



## 7. ボタン⑯ (SYNCHRO/ENDING) を押します。

コードを押さえると自動伴奏がスタートする状態(シンク待機オン)になります。

- 続いてボタン⑭ (INTRO) または⑮ (VARIATION) を押すと、イントロ(前奏)またはバリエーション(変化形)の待機状態になります。イントロやバリエーションについては、17ページ「自動伴奏に変化をつけるには(伴奏パターン)」をご参照ください。

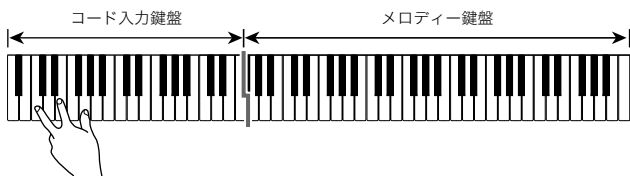


## 8. コード入力鍵盤(左側の鍵盤)でコードを押さえます。

コードが入力されて、自動伴奏がスタートします。

- コードを押さえずにボタン⑰ (START/STOP) を押すと、打楽器のパートだけが鳴ります。

例: コードC(ド・ミ・ソ)を押さえる。



## 9. 左手でいろいろなコードを押さえて、右手でメロディーを弾きましょう。

- 簡単にコードを押さえられる「カシオコード」など、コード入力方法にはいくつかの種類があります。次章「コードの入力方法を選ぶには」をご参照ください。
- ボタン⑱ (NORMAL) と⑲ (VARIATION) で伴奏に変化をつけることもできます。17ページ「自動伴奏に変化をつけるには(伴奏パターン)」をご参照ください。

## 10. 自動伴奏を止めるには、ボタン⑰ (START/STOP) を押します。

- ボタン⑰ではなくボタン⑯ (SYNCHRO/ENDING) を押すと、エンディング(終止形)を鳴らして自動伴奏を終了します。エンディングについては17ページ「自動伴奏に変化をつけるには(伴奏パターン)」をご参照ください。

### メモ

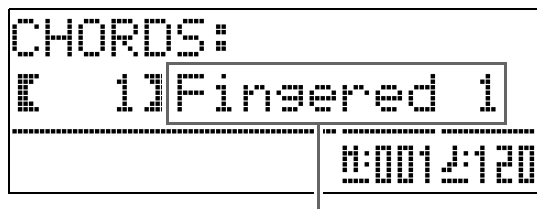
- 鍵盤の音量はそのままに、自動伴奏の音量だけを変えてバランスを調節することができます。詳しくは38~41ページ「その他の設定」の「自動伴奏の音量」をご参照ください。
- コード入力鍵盤の範囲を変えるには、スプリット機能のスプリットポイント(10ページ)を変更します。スプリットポイントより左側の鍵盤がコード入力鍵盤になります。

## コードの入力方法を選ぶには

コードの入力方法は、下記の5種類から選べます。

- フィンガード1(1:Fingered 1)
- フィンガード2(2:Fingered 2)
- フィンガード3(3:Fingered 3)
- カシオコード(4:CASIO Chord)
- フルレンジコード(5:Full Range)

### 1. 液晶画面に“CHORDS”と表示されるまで、ボタン⑰ (ACCOMP ON/OFF) を押し続けます。



コード入力方法

### 2. ボタン⑳ (∇、∧) で、コード入力方法を選びます。

### 3. ボタン⑰ (ACCOMP ON/OFF) を押します。

コード入力方法の画面を終了します。

### ■ フィンガード1、2、3について

これらは、コード構成音のままに鍵盤を押さえて入力する方法です。一部のコードでは構成音を省略して、1~2鍵でも入力できます。

入力できるコードの種類と鍵盤の押さえかたについては、62ページ「指定できるコード種一覧」をご参照ください。



フィンガード1: コードの構成音の鍵盤を押さえます。

フィンガード2: フィンガード1とは違い、6thの入力はありません。

フィンガード3: フィンガード1とは違い、一番低い鍵盤の音をベース音として、分数コードを入力することができます。

### ■ カシオコードについて

簡単な指使いで、次の4種類のコードを演奏できます。



コードの種類	例
<b>メジャーコード</b> コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します。 ・たとえばCメジャーを入力するには、コード入力鍵盤の、C(ド)を押します。1オクターブ違う鍵盤でもかまいません。	C (Cメジャー) 音名
<b>マイナーコード</b> メジャーコードの押さえ方に加えて、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm (Cマイナー) 
<b>セブンスコード</b> メジャーコードの押さえ方に加えて、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7 (Cセブンス) 
<b>マイナーセブンスコード</b> メジャーコードの押さえ方に加えて、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 (Cマイナーセブンス) 

2つ目以降の鍵盤は、1つ目より右側なら白鍵か黒鍵かを問わず、どれでもかまいません。

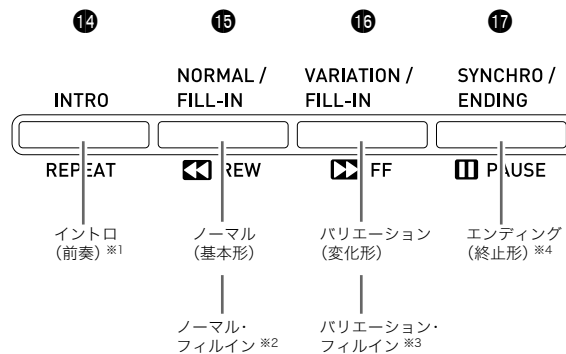
### ■ フルレンジコードについて

すべての鍵盤でコードの入力とメロディー演奏ができます。入力できるコードの種類と鍵盤の押さえかたについては、62ページ「指定できるコード種一覧」をご参照ください。



### 自動伴奏に変化をつけるには(伴奏パターン)

自動伴奏で鳴るフレーズ(パターン)には、下記の6種類があります。これらのパターンを演奏中に切り替えて、伴奏に変化をつけることができます。切り替えはボタン⑭～⑰で行います。



- ※1 曲のはじめに鳴らします。鳴り終わると、自動でノーマルパターンに進みます。その前にボタン⑯を押すと、鳴り終わってからバリエーションパターンに進みます。
- ※2 ノーマルパターンに一時的に変化をつけます。鳴らすには、ノーマルパターンの途中でボタン⑯を押します。
- ※3 バリエーションパターンに一時的に変化をつけます。鳴らすには、バリエーションパターンの途中でボタン⑯を押します。
- ※4 曲の最後に鳴らします。鳴り終わるとともに、自動伴奏も止まります。

### お勧めの音色やテンポにする(ワンタッチプリセット)

自動伴奏のリズムごとに、そのリズムに良く合った音色やテンポを、ワンタッチで呼び出します。

1. ボタン⑯ (RHYTHM) を約2秒間以上、押し続けます。  
今選んでいるリズムで演奏するのに適した音色、テンポなどが呼び出されます。  
またコードを入力して伴奏をスタートできる状態(シンク口待機オン)になります。
2. 鍵盤でコードを押さえて演奏します。  
自動伴奏もスタートします。

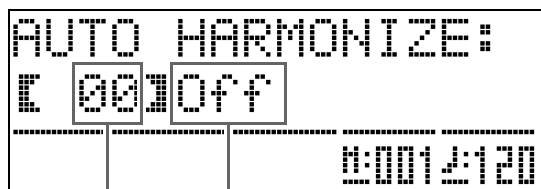
#### メモ

- ・ユーザーリズム(“USER RHYTHMS”グループの001～010番)ではワンタッチプリセットを使用することはできません。

## メロディーの音に和音をつける (オートハーモナイズ)

右手で弾くメロディーの音に和音を追加して、メロディーに厚みをつけます。和音の追加のしかたを12種類(タイプ)の中から選べます。

### 1. ボタン⑨(AUTO HARMONIZE)を押します。



タイプ番号      タイプ名

### 2. ボタン⑳(✓、へ)を押して、オートハーモナイズのタイプを選びます。

タイプ番号	タイプ名	内容
00	Off	オートハーモナイズを解除します。
01	Duet 1	演奏したメロディーの下に、クローズな(2~4度ほど離れた)ハーモニーを1音加えます。
02	Duet 2	演奏したメロディ音の下に、オープンな(4~6度以上離れた)ハーモニーを1音加えます。
03	Country	カントリーの演奏に適したハーモニーを加えます。
04	Octave	1オクターブ下の音を加えます。
05	5th	5度上の音を加えます。
06	3-Way Open	2声(演奏したメロディーと合わせて3声)のオープンハーモニーを加えます。
07	3-Way Close	2声(演奏したメロディーと合わせて3声)のクローズハーモニーを加えます。
08	Strings	ストリングス演奏に適したハーモニーを加えます。
09	4-Way Open	3声(演奏したメロディーと合わせて4声)のオープンハーモニーを加えます。
10	4-Way Close	3声(演奏したメロディーと合わせて4声)のクローズハーモニーを加えます。
11	Block	ブロックコード音を加えます。
12	Big Band	ビッグバンド演奏に適したハーモニーを加えます。

### 3. ボタン⑨(AUTO HARMONIZE)を押します。 オートハーモナイズの画面を終了します。

### 4. 鍵盤でコードを入力しながらメロディーを弾きます。

入力したコードに対応した和音が、メロディーの音に加わります。

## 編集してオリジナルのリズムを作る (リズムエディット)

内蔵の自動伴奏を編集して、オリジナルの自動伴奏(ユーザーリズム)を作ってみましょう。

ノーマルやイントロなどの伴奏パターン(17ページ)ごとに、楽器パート(ドラム、ベースなど)を選んで、オンオフや音量などの内容を変えていきます。

### 1. 編集したいリズム番号を選びます。

### 2. ボタン㉑(FUNCTION)と㉒(RHYTHM EDITOR)を両方一緒に押します。

自動伴奏の編集画面になります。

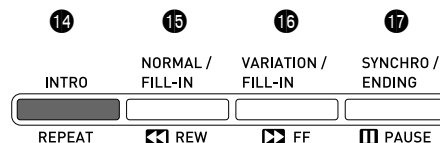


### 3. 編集する伴奏パターンを、ボタン⑭~⑰で選びます。

押したボタンのランプが点灯して、どの伴奏パターンの編集中心かを示します。

- ボタン⑮と⑯は、押すごとにノーマルとフィルイン、バリエーションとフィルインが交互に切り替わります。フィルインを選んでいるときはランプが点滅します。

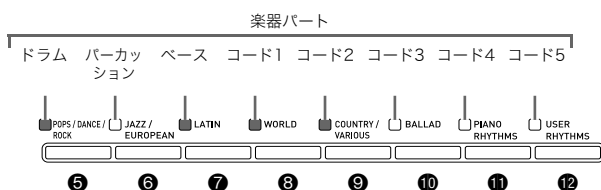
例: イントロを選んだ場合



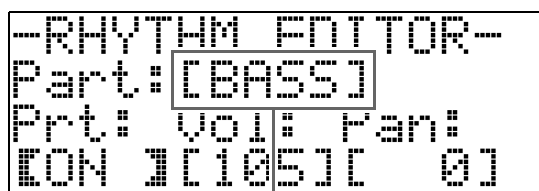
#### 4. 編集する楽器パートを、ボタン⑤～⑫で選びます。

選んだ楽器パート名が表示されます。楽器パートには下記の8種類があります。

- ボタン⑤～⑫を押しても、ボタンのランプの光り方は変化しません。ランプの点灯は、そのパートに伴奏データがあることを示しています。



例：ベースを選んだ場合



楽器パート名:ベース

#### 5. 選んだ楽器パートを編集します。

編集することができる内容は次の表のとおりです。

- ボタン⑳ (<)、㉑ (>)で「項目」を選び、ボタン㉒ (∨、∧)で「設定値」を変えます。「ショートカットのボタン」を押して「項目」を選ぶこともできます。
- ボタン㉓の(∨)と(∧)を両方一緒に押すと初期値になります。
- 編集の途中にボタン⑩ (START/STOP)を押すと、そのときの編集内容で伴奏パターンを鳴らすことができます。さらにボタン⑨ (ACCOMP ON/OFF)を押すと、編集している楽器パートだけを鳴らすことができます。

項目	内容	設定値	ショートカットボタン
Rhythm Select: リズム	他のリズム番号を指定して、パートの伴奏データをそのリズム番号のものに差し替えます。 ※1	001～190: リズム番号 ※2 ※3	㉒
Tone Select: 音色	パート演奏の音色(楽器)を、指定した番号の音色に切り替えます。	001～250: 音色番号 ※2 ※4	㉓
Prt: オンオフ	パートごとに鳴らすか鳴らさないかを選びます。	OFF: 鳴らさない ON: 鳴らす	㉔
Vol: 音量	パートごとに音量を調節します。	000～127	
Pan: パニング(定位)	パートの楽器音が、左右どの辺から聴こえるかを調節します。	-64～0～63※5	㉕
Reverb: リバース	パート音へのリバース効果(12ページ)のかかり度合いを調節します。	000～127	
Chorus: コーラス	パート音へのコーラス効果(12ページ)のかかり度合いを調節します。	000～127	

※1 差し替えを実行すると、それまで編集した内容はすべてクリアされます。

※2 最初のグループの001番からの通し番号です。通し番号は、55ページ「音色リスト」、58ページ「リズムリスト」をご参照ください。

※3 イントロでは8つの楽器パートですべて共通のリズム番号になります。たとえばコード1にリズム003番を割り当てると、他の7つの楽器パートも自動的にリズム003番になります。その後コード2を編集するときリズムを004番に変えると、先ほど設定したコード1のリズムも004番に変わってしまいます。またイントロと同様にエンディングも、8つの楽器パートが共通のリズム番号になります。

※4 ドラムパートとパーカッションパートでは、ドラムセット音色(音色番号237～250)のみ選ぶことができます。

またベースとコード1～5では、ドラムセット音色を選ぶことはできません。

※5 値が小さいほど左から、大きいほど右から聴こえます。「0」で中央になります。

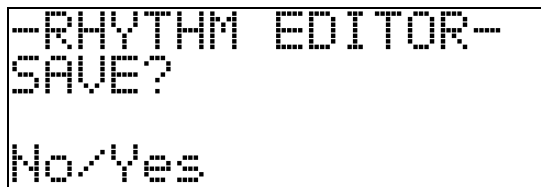
#### 6. 以上の手順3～5を繰り返して、伴奏パターン、楽器パートごとの編集作業を進めます。

#### 7. すべての編集作業が終了したら、リズムに適したテンポに調節します。

- ここで選んだテンポが、初期テンポとして記録されます。

### 8. ボタン<sup>28</sup>(EXIT)を押します。

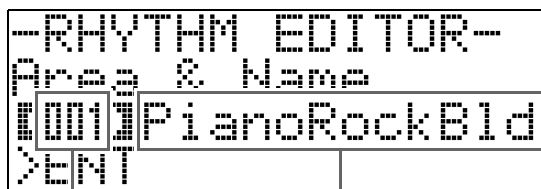
編集結果を保存するかどうか確認する画面になります。



### 9. ボタン<sup>29</sup>の(YES)を押します。

保存先のユーザーリズム番号と、保存するリズム名を指定する画面になります。

- 保存しないで編集機能を終了するには、ボタン<sup>29</sup>の(YES)を押します。



保存先の  
ユーザーリズム番号

保存するリズム名

### 10. 保存先のユーザーリズム番号と、保存するリズム名を決めます。

- ユーザーリズム番号とリズム名の8文字の中から、変更したいものをボタン<sup>33</sup>(<)、<sup>34</sup>(>)で選びます。選んだ番号や文字を、ボタン<sup>29</sup>(∨、∧)で切り替えます。
- リズム名の文字は下記の中から選ぶことができます。スペースを挿入するにはボタン<sup>29</sup>の∨と∧を両方一緒に押します。

!	"	#	\$	%	&	'	(	)	
*	+	,	-	.	/	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	:	;	<	=
>	?	@	A	B	C	D	E	F	G
H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[
¥	]	^	_	`	a	b	c	d	e
f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
z	{		}						

### 11. ボタン<sup>35</sup>(ENTER)を押します。

データが保存されます。

- 保存先のユーザーリズム番号に以前記録したデータが保存されている場合は、上書きしてよいかを尋ねる画面“Replace?”が表示されます。ボタン<sup>29</sup>の(YES)を押すと、上書きして保存します。ボタン<sup>29</sup>の(NO)を押すと、保存しないで手順9の画面に戻ります。

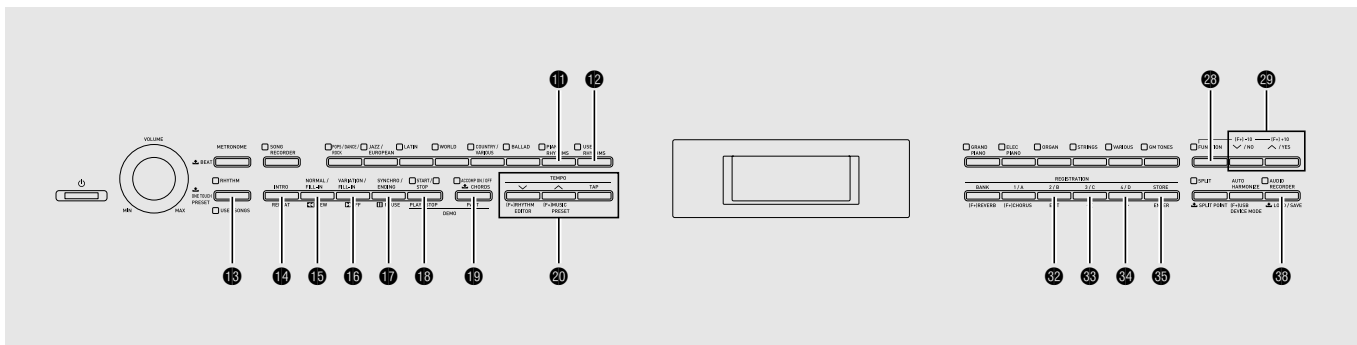
#### 重要!

- すでにデータを保存してあるユーザーリズム番号に新しいデータを保存すると、それまで保存していたデータは消去されます。

#### メモ

- 伴奏パターンや楽器パートのデータサイズが大きすぎて編集できない場合は、液晶画面に“Memory Full”と表示されます。その場合は他の伴奏パターンや楽器パートを選んで編集してください。

# 曲を聴く



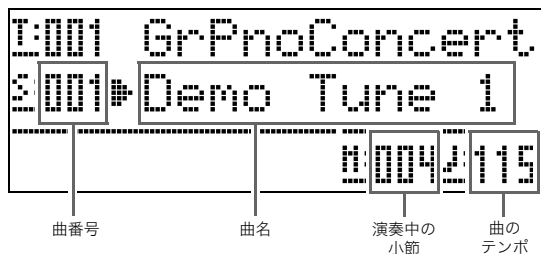
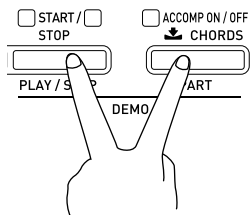
## 音色のデモ曲を聴く

本機の6つの音色グループそれぞれの特徴を生かしたデモンストレーション用の曲(デモ曲)を内蔵しています。

No.	音色グループ名	曲名
001	GRAND PIANO	オリジナル
002	ELEC PIANO	オリジナル
003	ORGAN	オリジナル
004	STRINGS	誰も寝てはならぬ 歌劇「トゥーランドット」より
005	VARIOUS	オリジナル
006	GM TONES	オリジナル

### 1. ボタン⑬(PART)を押しながら、ボタン⑮(PLAY/STOP)を押します。

デモ曲の1曲目から順番に演奏していきます。



- デモ演奏中に聴きたい音色グループのボタン(⑮~⑳)を押すと、そのグループのデモ曲に切り替えることができます。またボタン㉓(∨、∧)で順番に曲を切り替えることもできます。

### 2. ボタン⑮(PLAY/STOP)を押します。

曲が停止します。

ボタン⑮を押すまでは、全曲を繰り返して演奏し続けます。

#### メモ

- デモ演奏中は、上記以外の操作はできません。

## 外部から読み込んだ曲を聴く (ユーザーソング)

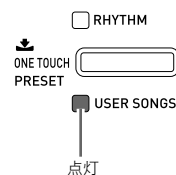
USBメモリーやパソコンから本機に読み込んだ曲(ユーザーソング)を、自動演奏したり、それに合わせて練習したりすることができます。

### 1. 聴きたい曲のデータを、あらかじめ本機のユーザーソングへ読み込んでおきます。

- 読み込みの方法は、45ページ「USBメモリーから本機へデータを読み込む」、50ページ「データをパソコンに保存する・パソコンから読み込む」をご参照ください。
- USBメモリーの曲データを、本機に読み込まずに直接再生することもできます。詳しくは23ページ「USBメモリーに保存したオーディオデータを再生するには」をご参照ください。

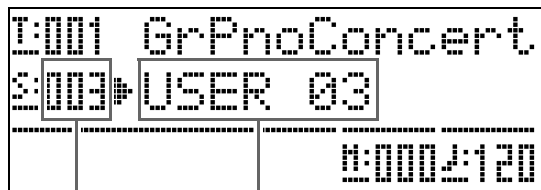
### 2. ボタン⑮(USER SONGS)を押して、ボタンの下側のランプを点灯させます。

- 押すごとに上下のランプが交互に点灯します。



### 3. ボタン⑳(▼、▲)を押して、曲(ユーザーソング)を選びます。

例: ユーザーソングの003番を選んだ場合

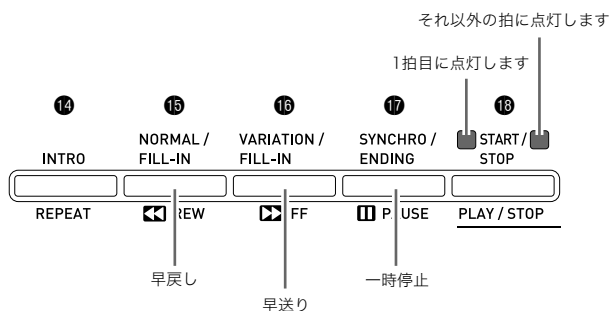


ユーザーソング番号 曲名

### 4. ボタン⑲(PLAY/STOP)を押します。

曲の演奏を開始します。

- 早送りをするにはボタン⑲(FF)を、早戻しをするにはボタン⑱(REW)を押します。ボタンを短く押すと1小節単位で移動し、押し続けると連続して移動します。
- ボタン⑳(PAUSE)を押すと演奏を一時停止します。もう一度同じボタンを押すと、演奏を再開します。



### 5. もう一度ボタン⑲(PLAY/STOP)を押します。

曲を停止します。

- 曲を終わりまで演奏すると、自動で停止します。停止させずに繰り返し演奏を続けるには、38~41ページ「その他の設定」の「曲のリピート演奏」をオンにしてください。

### 曲のテンポ(速さ)を変えるには

メトロノームと同じ操作でテンポを調節できます。詳しくは12ページ「メトロノームを鳴らす」の「テンポ(速さ)を変えるには」をご参照ください。

### 曲と同じ音色で鍵盤を弾くには

#### 1. ボタン⑲(USER SONGS)を約2秒間以上、押し続けます。

曲の右手パートと同じ音色で、鍵盤を弾けるようになります。

#### メモ

- 後述の「曲の片手練習をするには(パートオフ)」(22ページ)で、左手パートだけをオフにしている場合は、左手パートの音色で鍵盤を弾けるようになります。

### 鍵盤の音量とのバランスを変えるには(ソングボリューム)

鍵盤の音量はそのままに、曲の自動演奏の音量だけを変えてバランスを調節することができます。詳しくは38~41ページ「その他の設定」の「曲の音量」をご参照ください。

### 曲の片手練習をするには(パートオフ)

曲の右手パート※1または左手パート※2の音を消して、そのパートを自分で弾いて練習できます。

- ※1 曲データの4チャンネル(固定)
- ※2 曲データの3チャンネル(固定)

#### 1. ボタン⑲(PART)を押します。

液晶画面に、「L-[ON] R-[ON]」と表示されます。

#### 2. ボタン⑳(▼、▲)を押して、音を消したいパートをオフにします。

左手パートをオフにするには▼を、右手パートをオフにするには▲を押します。

- ボタンを押すごとにオンとオフが交互に切り替わります。

#### 3. もう一度ボタン⑲(PART)を押します。

パートのオンオフ画面が終了します。

#### 4. ボタン⑲(USER SONGS)を約2秒間以上、押し続けます。

オフにしているパートと同じ音色で鍵盤を弾けるようになります。

- この操作は前述の「曲と同じ音色で鍵盤を弾くには」(22ページ)と同じ操作です。

#### 5. ボタン⑲(PLAY/STOP)を押して、曲の演奏を開始します。

オフにしたパートは鳴りませんので、そのパートを自分で弾いてみましょう。

### 曲頭にカウント音を鳴らすには

弾きはじめのタイミングをとりやすいように、曲がスタートする前にカウント音が鳴るように設定できます。詳しくは38~41ページ「その他の設定」の「曲頭のカウント音」をご参照ください。



## 曲の1部分を繰り返すには(リピート)

たとえば「5小節目から8小節目まで」といった曲の1部分だけを、繰り返し(リピート)練習したい場合などに便利です。



1. ボタン⑬ (PLAY/STOP)を押します。  
曲の自動演奏を開始します。
2. 演奏が、繰り返したい部分のはじめまできたら、ボタン⑭ (REPEAT)を押します。  
ボタンを押したとき演奏していた小節が、「はじめの小節」として指定されます。  
ボタン⑭のランプが点滅します。
3. 演奏が、繰り返したい部分の終わりまできたら、もう一度ボタン⑭ (REPEAT)を押します。  
ボタンを押したとき演奏していた小節が、「終わりの小節」として指定されます。  
すぐに指定した箇所の繰り返し演奏をスタートします。  
ボタン⑭のランプが点滅から点灯に変わります。
4. もう一度ボタン⑭ (REPEAT)を押すと、通常の演奏に戻ります。  
ボタン⑭のランプが消灯します。

## USBメモリーに保存したオーディオデータを再生するには

市販のUSBメモリーに保存したオーディオデータ(WAVファイル※)を本機で再生することができます。

詳しくは、42ページの「USBメモリーを使用する」を参照してください。

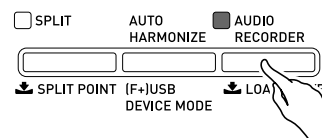
※ リニアPCM、16bit、44.1kHz、Stereo

### 準備

- 本機のオーディオレコーダー機能で録音したデータが保存されているUSBメモリーを用意します。詳しくは、35ページの「USBメモリーへの録音 (オーディオレコーダー)」を参照してください。
- または、パソコンでUSBメモリー内に再生したいオーディオデータ(WAVファイル)を保存します。詳しくは、43ページの「一般のオーディオデータ(WAVファイル)をUSBメモリーに保存するには」を参照してください。
- 本機のUSBメモリー端子に、再生したいオーディオデータが保存されているUSBメモリーを差し込みます。

### 1. ボタン⑳ (AUDIO RECORDER)を押します。

- ボタンのランプが点灯します。



### 2. ボタン㉑ (FUNCTION)を押しながら、ボタン㉓ (AUDIO RECORDER)を押します。

- オーディオファイルを選択する画面に切り替わります。

### 3. ボタン㉒ (∨、∧)を押して、曲を選びます。

- ボタン㉒ (∧)を押すごとに、曲がファイル名順(WAV01, WAV02, ...)に選ばれます。ボタン㉒ (∨)を押すごとに、曲がファイル名と逆順に選ばれます。

### 4. ボタン㉔ (EXIT)を押します。

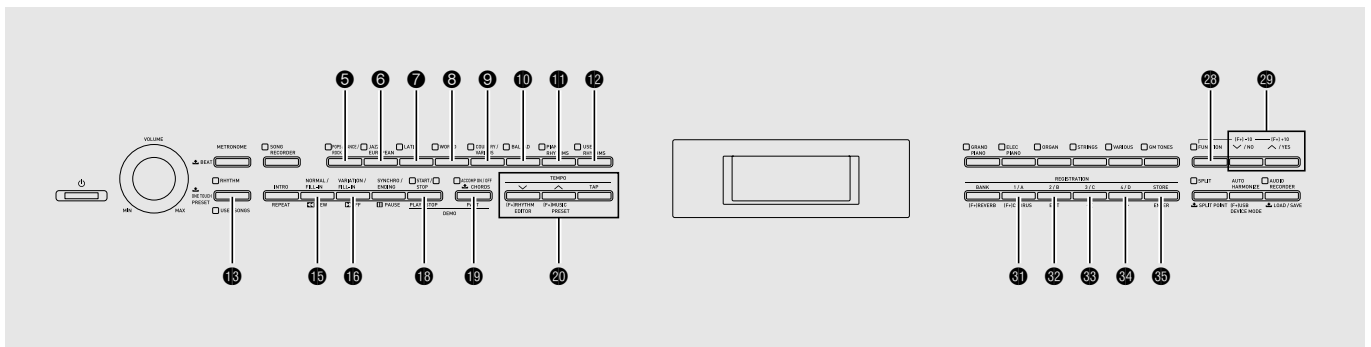
### 5. ボタン⑬ (PLAY/STOP)を押します。

- 選んだ曲の再生が始まります。

### 6. 曲を止めるには、ボタン⑬ (PLAY/STOP)を押します。

- オーディオレコーダー機能を終了するには、ボタン㉓ (AUDIO RECORDER)を押します。AUDIO RECORDERボタンのランプが消灯します。

# ミュージック プリセット



さまざまなジャンルや曲の演奏に適した音色番号やリズム番号、コード進行などをワンタッチで設定します。内蔵のプリセットでお気に入りの曲を弾く以外に、自分流にアレンジしたオリジナルのプリセット(ユーザープリセット)を作って楽しむこともできます。

本機は、300種類の内蔵プリセットを搭載しており、これらは3つのグループ(1~3)に分かれています。グループ4はユーザープリセット専用のグループです。

- 詳細は60ページ「ミュージック プリセット リスト」を参照ください。

## プリセットのデータを呼び出す

1. ボタン**28**(FUNCTION)を押したまま、ボタン**20**(MUSIC PRESET)を押します。

ボタン**19**のランプが点滅して、プリセット画面が表示されます。



プリセット番号

プリセット名

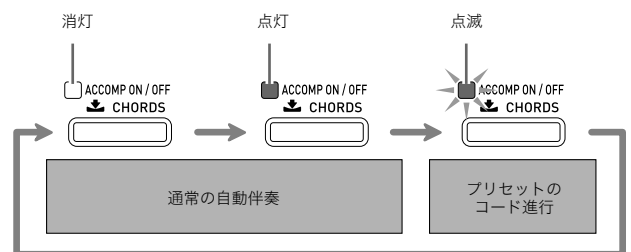
2. ボタン**31**~**34**(グループ1~4)でグループを選び、その後にボタン**29**(∨、∧)で呼び出したいプリセットを選びます。

選んだプリセットの設定(音色番号やリズム番号など)が呼び出されます。

- 呼び出される設定の種類は下記のとおりです。
  - 音色(メイン、レイヤー、スプリット)(9ページ)
  - レイヤーバランス(9ページ)
  - オクターブシフト(11ページ)
  - リバーブ(12ページ)
  - コーラス(12ページ)
  - リズム(18ページ)
  - テンポ(17ページ)
  - オートハーモナイズ(18ページ)

3. ボタン**18**(START/STOP)を押すと、プリセットのコード進行で自動伴奏が流れます。鍵盤でメロディーを弾いて演奏してみましょう。

- もう一度ボタン**18**を押すまで、プリセットのコード進行を繰り返します。
- ボタン**19**を押してボタンの上のランプを点灯または消灯させると、プリセットのコード進行がオフになり、通常の自動伴奏と同じように演奏できます。ボタン**19**を押すごとにランプの光り方が下記のように切り替わります。



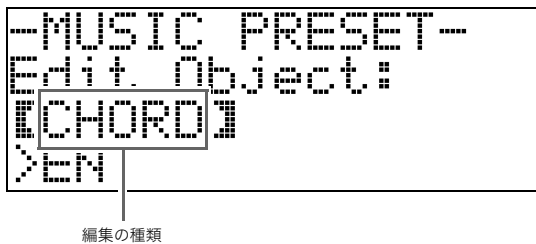
- リズムを変えるには、ボタン**5**~**12**を押してリズムグループを選び、ボタン**29**で番号を選びます。
- 音色を変えるには、ボタン**22**~**27**を押して音色グループを選び、ボタン**29**で番号を選びます。

4. ミュージック プリセットを終了するには、はじめるときと同じようにボタン**28**(FUNCTION)を押したままボタン**20**(MUSIC PRESET)を押します。

## オリジナルのプリセットを作ろう (ユーザープリセット)

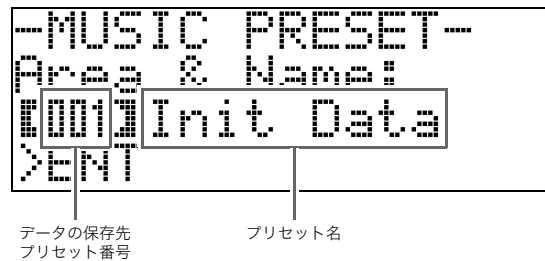
内蔵のプリセットだけでは飽き足りなくなったあなたのために、オリジナルのプリセット(ユーザープリセット)を作るための機能をご用意しました。ユーザープリセットはグループ4に50個まで保存できます。

1. 編集の元にするプリセットを選びます。
2. 音色番号やリズム番号などの設定を、好きな内容に切り替えます。
  - ここで選んだ内容が、ユーザープリセットに保存されます。保存される設定の種類は、24ページ「プリセットのデータを呼び出す」の手順2をご参照ください。
3. ボタン $\text{F}$ (FUNCTION)と $\text{R}$ (RHYTHM EDITOR)を同時に押します。編集の種類を選ぶ画面になります。



4. プリセットの内容を編集します。
  - 4-1. コード進行を編集するには  
ボタン $\text{V}$ の(✓)で“CHORD”を表示させて、ボタン $\text{E}$ (ENTER)を押すとコード進行を編集する画面になります。  
26ページ「コード進行の編集」を参照して編集作業をします。作業が終わったらボタン $\text{X}$ (EXIT)を押して上記の画面に戻ります。
  - 4-2. 自動伴奏の鳴らし方を編集するには  
ボタン $\text{A}$ の(^)で“Parameter”を表示させて、ボタン $\text{E}$ (ENTER)を押すと、自動伴奏の鳴らし方を編集する画面になります。  
28ページ「自動伴奏の鳴らし方の編集」を参照して編集作業をします。作業が終わったらボタン $\text{X}$ (EXIT)を押して上記の画面に戻ります。
5. すべての編集作業が終わったら、ボタン $\text{X}$ (EXIT)を押します。
  - 編集したデータを保存するかしないか、を確認する画面が表示されます。

6. ボタン $\text{Y}$ の(YES)を押します。  
編集したデータの保存先プリセット番号を選んで好きなプリセット名をつける画面になります。
  - データを保存しなくてよい場合は、ボタン $\text{N}$ (NO)を押して作業を終了します。



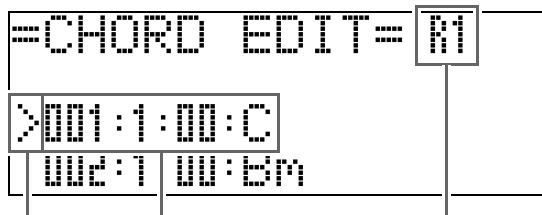
7. ボタン $\text{V}$ (✓、^)で、データの保存先プリセット番号を選びます。
8. プリセット名を好きな名前にします。  
ボタン $\text{L}$ (<)と $\text{R}$ (>)で変えたい文字の下にカーソル移動させて、ボタン $\text{V}$ (✓、^)で好きな文字に変えます。下表の文字から選べます。
  - スペースを挿入するにはボタン $\text{V}$ の(✓)と(^)を両方一緒に押します。

!	"	#	\$	%	&	'	(	)	
*	+	,	-	.	/	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	:	;	<	=
>	?	@	A	B	C	D	E	F	G
H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[
¥	]	^	_	`	a	b	c	d	e
f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
z	{		}						

9. ボタン $\text{E}$ (ENTER)を押します。  
データが保存されます。
  - 保存先プリセット番号に以前記録したデータが保存されている場合は、上書きしてよいかを尋ねる画面“Replace?”が表示されます。  
ボタン $\text{Y}$ の(YES)を押すと、上書きして保存します。ボタン $\text{N}$ の(NO)を押すと、保存しないで手順6の画面に戻ります。

■コード進行の編集

1. 編集の種類を選ぶ画面(25ページ)で“CHORD”を選んで、ボタン⑤(ENTER)を押すとコード進行の編集画面(下記)になります。



(2) カーソル (1) ステップ (タイミングとコード) (3) 分解能

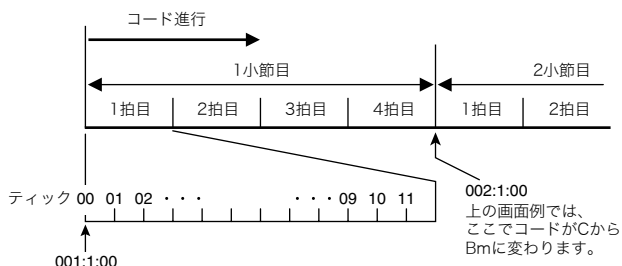
(1) ステップ(タイミングとコード)

コード進行でのタイミングを「小節※1:拍:ティック※2」で示し、そのタイミングに現在入力されているコードを右端に表示します。この1行のまとまりを「ステップ」と呼びます。

上の表示例では最初と2番目のステップが表示されていますが、その下に3番目、4番目…と先のステップが並んでいます。

※1最大999小節まで

※2「ティック」とは下図のように1拍を12分割した単位です。



(2) カーソル

変更するステップを指定します。

(3) 分解能

ステップのタイミングを変えるときの単位(刻み)を表します。初期状態ではR1(1小節)になっていますが、たとえば1拍ごとにコード指定を入れたい場合には、R4(1拍=4分音符)を選びます。ボタン⑤~⑫で下記の8種類から選べます

5	6	7	8	9	10	11	12
<input type="checkbox"/> POPS/DANCE/ROCK	<input type="checkbox"/> JAZZ/EUROPEAN	<input type="checkbox"/> LATIN	<input type="checkbox"/> WORLD	<input type="checkbox"/> COUNTRY/VARIOUS	<input type="checkbox"/> BALLAD	<input type="checkbox"/> PIANO RHYTHMS	<input type="checkbox"/> USER RHYTHMS
R1	R2	R4	R8	R8T	R16	R16T	R32T
。	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪
(1小節)	(2拍)	(1拍)	(1/2拍)	(1/3拍)	(1/4拍)	(1/6拍)	(1/12拍)

2. ボタン⑮(REW)と⑯(FF)でコード進行編集画面の(2)カーソルを移動させて、変更するステップを選びます。

3. 選んだステップの内容を変更します。

- 3-1. コードを変えるには、自動伴奏と同様に鍵盤でコードを入力します。コードを入力すると自動で(2)カーソルが次のステップへ移動します。

- コードを変えないで次のステップへ移動するには、ボタン⑰(PAUSE)を押します。

- (3)分解能が次のステップまでの時間よりも短い場合には、分解能の時間分だけ先に新たなステップ(コードなし)が一時的に作られます。そのままコードを入力するとそのステップが確定して、カーソルが次のステップに進みます。\*この操作により、今選んでいるステップと次のステップとの間に新しいステップを追加することができます。

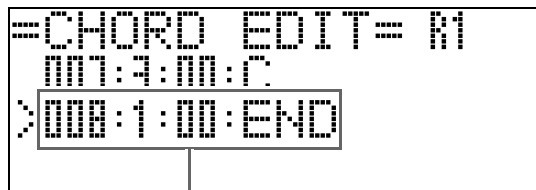
\* コードを入力しないでボタン⑮⑯でカーソルを移動すると、コードなしのステップはクリアされます。

- 3-2. ステップのタイミング(小節:拍:ティック)を変えるには、ボタン⑲(∨、∧)を押します。

ボタンを押すごとに、分解能の刻みでタイミングが変わります。

- タイミングは前後のステップの間で変更することができます。

- 最初のステップ(001:1:00)は、タイミングを変えることができません。また最終ステップ(終点)は分解能にかかわらず1小節刻みで変わります。



最終ステップ

- 3-3. ステップを削除するには、ボタン⑲(∨)と⑳(∧)を一緒に押します。

- ただし最初のステップと最終ステップは削除できません。

#### 4. 以上の手順を繰り返して、ステップの編集作業を進めます。

- ボタン⑩ (START/STOP) で、現在の編集内容を再生して聴くことができます。
- これまで説明した操作の他に、下記の5種類の編集もできます。ボタン⑳ (FUNCTION) を押して、ボタン㉓ (<) と㉔ (>) で下記の表の「編集の種類」を選び、「操作」を行ってからボタン㉕ (ENTER) を押すと、その編集を実行してもとのコード進行の編集画面に戻ります。編集をキャンセルするには、ボタン㉖ (EXIT) を押します。

	編集の種類 (表示)	内容	操作
1	初期化 (Initialize)	全ステップを初期化します。 一から自由にコード進行を作りたいようなときに便利です。	—
2	キーの変更 (Change Key)	全ステップのコードの高さ(キー)を、まとめて半音単位で変更します。	変更量(-5~6半音)をボタン㉑ (∨、∧) で選びます。
3	プリセットの追加 (Append Chords)	最終ステップの後ろに、別のプリセットの全ステップをコピーします。	コピーするプリセットの番号*をボタン㉑ (∨、∧) で選びます。
4	小節の削除 (DELETE Measure)	カーソルで選んでいるステップから先のステップを、何小節かまとめて削除できます。	削除する小節数をボタン㉑ (∨、∧) で選びます。
5	小節の挿入 (INSERT 1 Measure)	カーソルで選んでいるステップの位置に、空の小節を1つ挿入します。	—

※ グループ1 ~ 4全体での通し番号を確認するには60ページ「ミュージック プリセット リスト」をご参照ください。

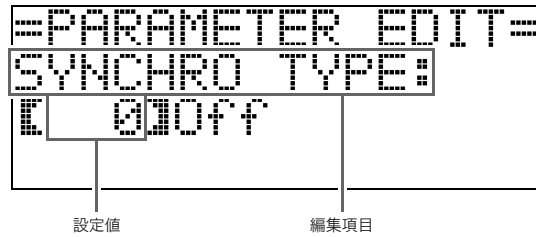
#### 5. 編集作業が終わったら、ボタン㉖ (EXIT) を押して、編集の種類を選ぶ画面(25ページ)に戻します。

##### メモ

- 一つのプリセットで作れるコードの数は、最大で約2000コードです。それを超えると液晶画面に“Memory Full”と表示されて、編集ができなくなります。

■ 自動伴奏の鳴らし方の編集

1. 編集の種類を選ぶ画面(25ページ)で“Parameter”を選んで、ボタン $\text{35}$ (ENTER)を押すと、自動伴奏の鳴らし方の編集画面(下記)が表示されます。

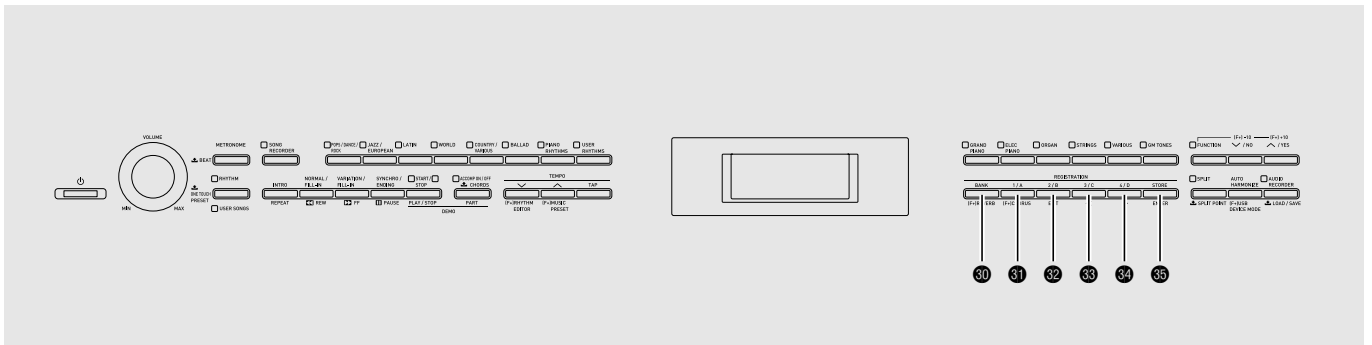


2. ボタン $\text{33}$ ( $\leftarrow$ )と $\text{34}$ ( $\rightarrow$ )で編集項目を選び、ボタン $\text{39}$ ( $\vee$ 、 $\wedge$ )で設定値を切り替えます。

	編集項目	内容	設定値
1	SYNCHRO TYPE : シンクロタイプ	プリセットを呼び出したときのシンクロ待機の状態・種類を選びます。	0 Off : オフ (待機にしない) 1 Normal : ノーマルパターンへの待機 2 Variation : バリエーションパターンへの待機 3 Intro : イントロへの待機
2	DRUM ON/OFF : ドラムのオンオフ	ドラムパート (19ページ) を鳴らすか鳴らさないかを選びます。	OFF : 鳴らさない ON : 鳴らす
3	PERC ON/OFF : パーカッションのオンオフ	パーカッションパート (19ページ) を鳴らすか鳴らさないかを選びます。	OFF : 鳴らさない ON : 鳴らす
4	BASS ON/OFF : ベースのオンオフ	ベースパート (19ページ) を鳴らすか鳴らさないかを選びます。	OFF : 鳴らさない ON : 鳴らす
5~9	CHORD1~5 ON/OFF : コード1~5のオンオフ	コードパート1~5 (19ページ) を鳴らすか鳴らさないかを選びます。	OFF : 鳴らさない ON : 鳴らす
10	INTRO CHORD : イントロのコード	イントロを鳴らすコードをメジャー (×12鍵)、マイナー (×12鍵) から選びます。	C~B : メジャー (C~B) Cm~Bm : マイナー (Cm~Bm)
11	ENDING CHORD : エンディングのコード	エンディングを鳴らすコードをメジャー (×12鍵)、マイナー (×12鍵) から選びます。	C~B : メジャー (C~B) Cm~Bm : マイナー (Cm~Bm)
12	AUTO FILL-IN : オートフィルインのオンオフ	コード進行の最終小節でフィルインを入れるか入れないかを選びます。	OFF : 入れない ON : 入れる
13	TIMING SET : コード進行のバリエーション	編集したコード進行のタイミングにさまざまなバリエーションをつけて鳴らします。コード進行を、選んだリズムの拍子にあわせたい場合などに使用します。 • リズムの拍子からはみ出たコード (ステップ) はカットされます。	1 Normal : 編集したコード進行のまま。 2 Half : 小節内でのコードのタイミングを半分にする。 3 Double : 小節内でのコードのタイミングを2倍にする。 4 3/4 : 小節内でのコードのタイミングを3/4倍にする。(6/8拍子のリズムにあわせる場合などに選びます) 5 6/4 : 小節内でのコードのタイミングを3/2倍にする。(6/4拍子のリズムにあわせる場合などに選びます)

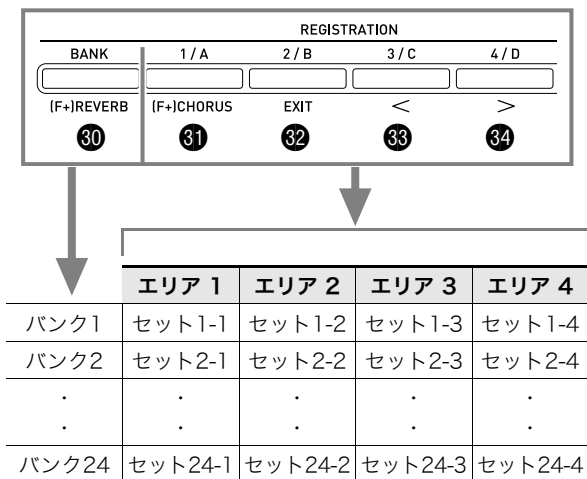
3. 編集作業が終わったら、ボタン $\text{36}$ (EXIT)を押して、編集の種類を選ぶ画面(25ページ)に戻します。

# 音やリズムの設定を登録する(レジストレーション)



レジストレーション機能を使うと、音色やリズムなどの設定を一つのセットとして登録できます。さらにその設定はすぐに呼び出すこともできます。演奏中に次々と音色やリズムを切り替えていくような曲にもチャレンジしてみましょう。

設定内容は96セットまで登録できます。セットを選ぶにはボタン**30**(BANK)、およびボタン**31**(REGISTRATION 1)～ボタン**34**(REGISTRATION 4)を使います。



- ボタン**30**(BANK)を押すごとに、バンク1～24の間で切り替わります。
- ボタン**31**～**34**のいずれかのボタンを押すと、現在選択されているバンクに対応したエリアを選択できます。

「セット8-2」のデータ例

音の設定
鍵盤の音色：014 ハープシコード
音の明るさ：2
リバーブ：1 ルーム
コーラス：オフ
⋮
自動伴奏の設定
リズム：005 ポップロック
テンポ：180
伴奏の音量：20
⋮

## ■ 登録できる設定の種類

- 音の設定
  - 音色番号(メイン、レイヤー、スプリット)
  - レイヤーのオンオフ
  - レイヤーバランス
  - スプリットのオンオフ
  - スプリットポイント
  - オクターブシフト
  - 音の明るさ
  - リバーブ
  - コーラス
  - トランスポーズ
  - タッチレスポンス
  - ソフト/ソステヌートペダルの切り替え
  - ダンパーペダルの調整
  - ピッチベンドレンジ
- 自動伴奏の設定 (エリア1～4のみ)
  - リズム番号
  - アカンプのオンオフ
  - コードの入力方法
  - シンク口待機
  - テンポ
  - 伴奏の音量
  - オートハーモナイズ

## データを登録するには

1. 本機の音色やリズム番号などの設定を、登録したい内容にします。
2. ボタン<sup>30</sup>(BANK)を押して、データを登録するバンクを選びます。

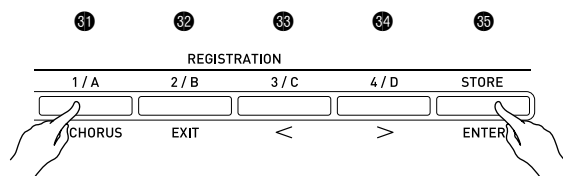
例: バンク4を選んだ場合

```

--REGISTRATION--
Bank:           [ 4- ]
-----

```

3. ボタン<sup>35</sup>(STORE)を押しながら、ボタン<sup>31</sup>~<sup>34</sup>で、データを登録するエリアを指定します。指定した「バンク-エリア」に、データが登録されます。



例: 「バンク4-エリア1」に登録した場合

```

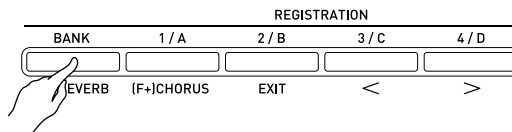
--REGISTRATION--
Store:          [ 4-1 ]
-----

```

↑  
エリア

## 登録したデータを呼び出すには

1. ボタン<sup>30</sup>(BANK)を押して、呼び出したいバンクを選びます



```

--REGISTRATION--
Bank:           [ 1 ]
-----

```

2. 呼び出したいエリア<sup>31</sup>~<sup>34</sup>を押します。登録されているセット内容が呼び出され、音色やテンポなどが自動的に切り替わります。

例: 「バンク4-エリア1」のデータを呼び出した場合

```

--REGISTRATION--
Recall:         [ 4-1 ]
-----

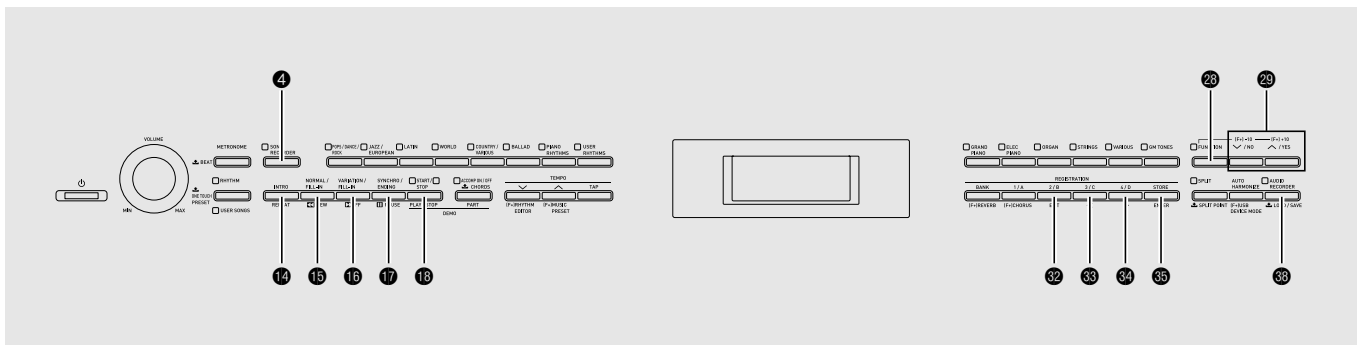
```

## ■ 登録したデータを外部機器に保存するには

「パソコンとの接続について」(49ページ)をご参照ください。



# 演奏を録音する(ソングレコーダー)



本機で演奏した内容を5曲まで内蔵のソングメモリーへ録音して、再生できます(ソングレコーダー)。さらに曲を演奏パート(楽器ごとや、右手と左手など)に分けて多重録音したり、一度録音したデータを後から部分的に録音し直したり(パンチイン録音)することもできます。

本機のUSBメモリー端子へ市販のUSBメモリーを装着した場合は、USBメモリーへオーディオデータとして録音され、再生できます(オーディオレコーダー)。

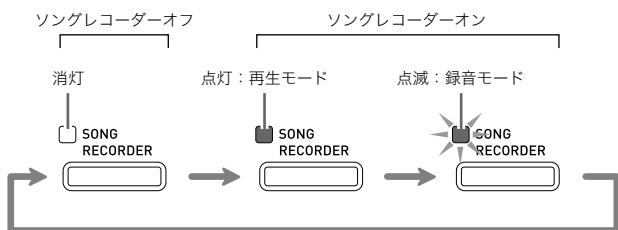
## 内蔵のソングメモリーへ録音してみる(ソングレコーダー)

まずは基本的な録音方法で、1曲録音して聴いてみましょう。

### 1. ボタン④(SONG RECORDER)を2回押して、ボタンの上にあるランプを点滅させます。

演奏を録音できる状態(録音モード)になります。

- ボタンを押すごとに、本機の状態が下記のように切り替わります。



### 2. 音色やリズムの番号などを選びます。

- ここで設定しておいた内容が録音したデータに記録されます。
- 記録できる内容については、32ページ「曲の演奏パートごとに録音する(トラック録音)」の「システムトラック」をご参照ください。

### 3. 演奏をはじめます。

鍵盤を弾きはじめると、同時に録音が始まります。

- 自動伴奏を開始すると、自動伴奏の演奏も録音できます。

### 4. 録音を終了するには、ボタン⑱(START/STOP)を押します。

ボタン④(SONG RECORDER)のランプが点滅から点灯に変わり、再生モードになります。

- 自動伴奏を鳴らしているときは、ボタン⑳(ENDING)で録音を終了させることもできます。

点灯: 再生モード

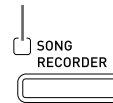


### 5. もう一度ボタン⑱(START/STOP)を押すと、録音した演奏の再生をします。

- ボタン⑱を押すたびに、再生と停止を繰り返します。

### 6. ソングレコーダー機能を終了して通常の状態に戻すには、ボタン④(SONG RECORDER)を押してボタンのランプを消灯させます。

消灯: ソングレコーダーオフ



### メモ

- 録音できる音符数は、1曲につき約10,000音符です。録音できる残り音符数が、100以下になるとボタン④(SONG RECORDER)のランプの点滅が速くなり、なくなると録音を停止します。
- 録音した演奏を再生しているときに、ボタン⑭～⑰・⑳でリピート・早戻し・早送り・一時停止やテンポ調整ができます。操作の方法については、21ページ「外部から読み込んだ曲を聴く(ユーザーソング)」をご参照ください。
- ボタン④(SONG RECORDER)で再生モードにしてボタン⑱を押すと、録音した演奏をいつでも聴くことができます。

### 重要!

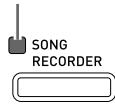
- 新しく録音すると、以前に録音した内容は消去されます。
- 録音中に本機の電源が切れると、それまで録音したデータが消去される場合があります。誤って電源を切らないようにご注意ください。

## 2曲以上録音する

すでに録音した演奏のデータを消去せずに、演奏を5曲(ソングレコーダー曲1~5番)まで録音できます。また、曲を選んで再生できます。

1. ボタン④ (SONG RECORDER)を押して、ソングレコーダーの再生モードにします。

点灯：再生モード



2. ボタン⑳ (FUNCTION)を押しながら、ボタン④ (SONG RECORDER)を押します。  
ソングレコーダーの再生設定画面になります。



3. ボタン㉑ (V、^)で曲番号を選びます。
4. ボタン㉒ (EXIT)を押して、再生設定画面を終了します。
5. 録音するときはボタン④ (SONG RECORDER)を、再生するときはボタン⑩ (START/STOP)を押します。
6. 以降の操作は、31ページ「内蔵のソングメモリーへ録音してみる(ソングレコーダー)」と同様です。

## 曲の演奏パートごとに録音する (トラック録音)

バンドの楽器ごと、あるいはピアノの右手と左手など、曲の演奏パートごとに録音して、1曲を完成させることができます。

### ■トラックについて

各演奏パートを録音するための記録部分をトラックといいます。本機のソングレコーダー機能のトラックには下記の2種類があり、合計17トラックを搭載しています。

- システムトラック(×1)  
レイヤーオンやスプリットオンでの演奏を記録できるのみでなく、演奏のテンポや自動伴奏、リバーブなどのさまざまな内容もあわせて記録する基本トラックです。これまでに紹介した録音方法は、このトラックへの録音を前提としています。
- トラック01~16  
システムトラックに録音した演奏を重ねて、他の演奏パートをこれらのトラックに録音していきます。鍵盤演奏とペダルやピッチバンドホイールの操作を記録し、テンポやリバーブ効果などはシステムトラックの記録内容に従います。

### ■記録できる内容

<システムトラック、トラック01~16とも記録できる内容>  
鍵盤演奏、鍵盤の音色(メイン)、ペダルとピッチバンドホイールの操作

<システムトラックにのみ記録できる内容>

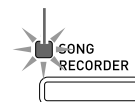
レイヤー、スプリット、オクターブシフト、リバーブ、コーラス、テンポ、自動伴奏の演奏、オートハーモナイズ、ワンタッチプリセット、ミュージックプリセット※1、レジストレーション※1 ※2

※1 呼び出しのみ。

※2 呼び出した設定内容のうち、自動伴奏の音量とトランスポーズは記録できません。

1. システムトラックに最初の演奏パートを録音します。
  - これまでに説明した録音方法(トラックを指定しない)で録音すると、システムトラックに録音できます。
2. ボタン④ (SONG RECORDER)を押して、ソングレコーダーの録音モードにします。

点滅：録音モード



### 3. ボタン<sup>29</sup>(FUNCTION)を押しながら、ボタン<sup>4</sup>(SONG RECORDER)を押します。

ソングレコーダーの録音設定画面になります。  
トラック名が下表のように表示されますので、ボタン<sup>29</sup>( $\nabla$ 、 $\wedge$ )で次に録音するトラックをT01～T16の中から選びます。  
選んだら、ボタン<sup>32</sup>(EXIT)を押して、録音設定画面を終了します。

トラック名	表示
システムトラック	Sys
トラック01～16	T01～T16



### 4. そのトラックに録音したい演奏パートの音色を選びます。

### 5. ボタン<sup>18</sup>(START/STOP)を押します。

先に録音したシステムトラックの再生がはじまります。同時に録音もはじまりますので、再生にあわせて演奏します。

### 6. 演奏が終わったら、ボタン<sup>18</sup>(START/STOP)を押します。

再生モードになり、もう一度ボタン<sup>18</sup>を押すとこれまで録音したトラックの再生をします。ボタン<sup>18</sup>を押すごとに再生と停止を繰り返します。

• 下記の操作で、トラックごとにオン(再生させる)とオフ(再生させない)を選ぶことができます。

- ボタン<sup>29</sup>(FUNCTION)を押しながら、ボタン<sup>4</sup>(SONG RECORDER)を押します。  
液晶画面にソングレコーダーの再生設定画面が表示されます。
- ボタン<sup>34</sup>( $\triangleright$ )を1回押します。  
トラックごとのオンとオフを切り替える画面が表示されます。
- ボタン<sup>29</sup>( $\nabla$ 、 $\wedge$ )でトラックを選び、ボタン<sup>35</sup>(ENTER)でオンとオフを切り替えます。

次のトラックの録音で鳴らしたくないトラックがある場合は、そのトラックをオフにしておいてから、次のトラックの録音に進みます。

### 7. 以上の手順2～6を繰り返して、他の演奏パートも録音して、曲を完成させます。

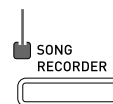
## 録音したデータを消去する

録音した演奏のデータを、ソングレコーダー曲ごとに消去することができます。また、曲の中の特定のトラックのデータのみを消去することもできます。

### 曲ごとに消去するには

#### 1. ボタン<sup>4</sup>(SONG RECORDER)を押して、ソングレコーダーの再生モードにします。

点灯：再生モード



#### 2. ボタン<sup>29</sup>(FUNCTION)を押しながら、ボタン<sup>4</sup>(SONG RECORDER)を押します。

ソングレコーダーの再生設定画面が表示されます。

#### 3. ボタン<sup>29</sup>( $\nabla$ 、 $\wedge$ )で、データを消去したいソングレコーダー曲の番号を選びます。

#### 4. 液晶画面に“Sure?”と表示されるまで、ボタン<sup>4</sup>(SONG RECORDER)を押し続けます。

#### 5. 消去してよければ、ボタン<sup>29</sup>(YES)を押します。

選んだソングレコーダー曲のデータが消去されます。  
• 消去をキャンセルする場合は、ボタン<sup>29</sup>(NO)を押します。

### トラックごとに消去するには

#### 1. 前述の「曲ごとに消去するには」の手順1～3で、データを消去したいソングレコーダー曲の番号を選びます。

#### 2. ボタン<sup>34</sup>( $\triangleright$ )を押します。

液晶画面に再生するトラックを選ぶ画面が表示されます。

#### 3. ボタン<sup>29</sup>( $\nabla$ 、 $\wedge$ )で、データを消去したいトラックを選びます。

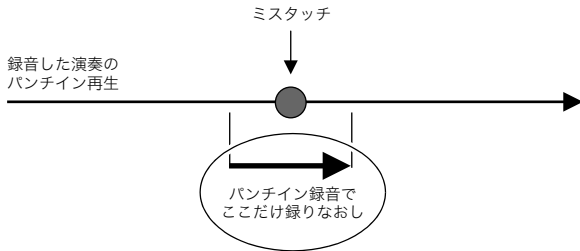
#### 4. 液晶画面に“Sure?”と表示されるまで、ボタン<sup>4</sup>(SONG RECORDER)を押し続けます。

#### 5. 消去してよければ、ボタン<sup>29</sup>(YES)を押します。

• 消去をキャンセルする場合は、ボタン<sup>29</sup>(NO)を押します。

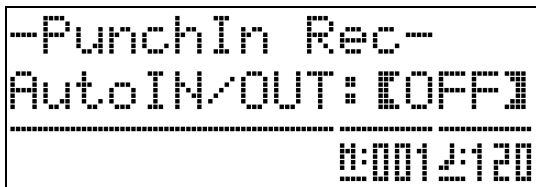
## 録音した演奏の一部を録りなおす (パンチイン録音)

録音した演奏で、一部分だけ上手く弾けなかったり、あるいはミスタッチが入ってしまった場合など、後からその箇所のみ録りなおし(パンチイン録音)をすることができます。



1. ソングレコーダーの録音モードにして、パンチイン録音をしたいトラックを選びます。
  - トラックの選び方は32ページ「曲の演奏パートごとに録音する(トラック録音)」の手順3をご参照ください。

2. パンチイン画面(下記)が表示されるまで、ボタン④(SONG RECORDER)を押し続けます。パンチイン再生をスタートできる状態になります。



3. ボタン⑩(START/STOP)を押します。前に録音した演奏の再生(パンチイン再生)がスタートします。
4. パンチイン再生が録りなおしたい箇所まできたら、演奏をはじめます。パンチイン録音ははじまりますので、そのまま演奏します。
  - 鍵盤を弾く以外に、ペダルやピッチベンドホイールの操作でも、パンチイン録音を開始することができます。
  - 演奏ではなく下記の操作でパンチイン録音を開始することもできます。
    - ボタン④(SONG RECORDER)を押す※1、音色を変える、リズムを変える※2、テンポを変える※2
    - ※1演奏や設定変更をしないでパンチイン録音をはじめたい場合に押します。
    - ※2システムトラックのみ
  - パンチイン再生中にボタン⑮(REW)、⑯(FF)、⑰(PAUSE)を操作できます。録りなおしたい箇所にすばやく移動するのに便利です。

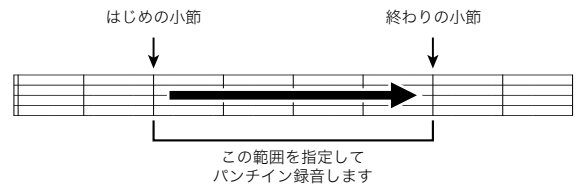
5. 録りなおしの演奏が終わったら、ボタン⑩(START/STOP)を押します。

パンチイン録音が終了して、そこから先は前に録音した演奏がそのまま残ります。

- パンチイン録音終了から先の演奏データを消去したい場合は、上記でボタン⑩を押す代わりに、ボタン④(SONG RECORDER)を押します。
- パンチイン録音を途中でキャンセルして前の演奏データを残すには、ボタン④(SONG RECORDER)を約2秒間以上押し続けて録音停止させます。

## パンチイン録音する箇所をあらかじめ指定するには(オートパンチイン録音)

パンチイン録音の範囲を、あらかじめ指定することができます。

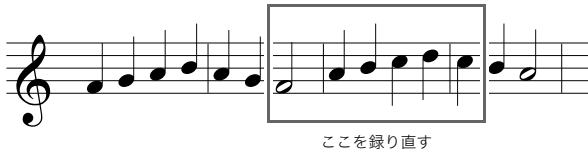


1. ソングレコーダーの録音モードにして、録音設定画面を表示させます。
  - 録音設定画面を表示させるには、ボタン⑳を押しながら④を押します。
2. ボタン㉓(<)、㉔(>)で画面に“AutoPu.IN”と表示させて、ボタン㉑(∨、∧)ではじめの小節を選びます。
3. ボタン㉓(<)、㉔(>)で画面に“AutoPu.OUT”と表示させて、ボタン㉑(∨、∧)で終わりの小節を選びます。
  - 選んだらボタン㉒(EXIT)を押して録音設定画面を終了させます。
4. 「録音した演奏の一部を録りなおす(パンチイン録音)」(34ページ)の手順1、2の操作で、パンチイン画面を表示させます。
5. ボタン㉑(∧)を押して、オートパンチインをオンにします。
6. ボタン⑩(START/STOP)を押してパンチイン再生を開始します。
  - はじめの小節から終わりの小節までの間をパンチイン録音します。

## ■ 録り直す範囲を細かく指定するには

パンチイン録音で録り直す範囲を、小節の途中のどこでも好きな箇所指定することができます。

例： 2小節目の3拍目から、4小節目の1拍目まで



1. 録り直ししたい曲の再生をスタートさせます。
2. パンチイン録音の開始点にしたい箇所まできたら、ボタン⑬ (REPEAT) を押します。
3. パンチイン録音の終点にしたい箇所まできたら、もう一度ボタン⑬ (REPEAT) を押します。
4. ボタン⑩ (START/STOP) を押して、再生を停止させます。
5. ソングレコーダーの録音モードにして、パンチイン録音したいトラックを選びます。
  - トラックの選び方は32ページ「曲の演奏パートごとに録音する(トラック録音)」の手順3をご参照ください。
6. 液晶画面にパンチイン画面が表示されるまで、ボタン④ (SONG RECORDER) を押し続けます。
7. ボタン⑳ (∧) を押して、オートパンチインをオンにします。
8. ボタン⑬ (REPEAT) を押してリピートオンにします。
9. ボタン⑩ (START/STOP) を押します。
 

手順2で指定した箇所(開始点)よりも1つ前の小節から再生(パンチイン再生)が始まります。

  - 再生が開始点まで進むとパンチイン録音が始まり、手順3で指定した箇所(終点)まで進むとパンチイン録音が終了します。

## USBメモリーへの録音 (オーディオレコーダー)

本機で演奏した内容が、すべてオーディオデータ(WAVファイル\*)としてUSBメモリーへ録音されます。また、ソングメモリーに録音されているデータを再生しながら鍵盤演奏をすると、その内容も一緒にUSBメモリーに録音されます。  
※ リニアPCM、16bit、44.1kHz、Stereo

### 録音できる容量

- 99ファイル(No.01~99)
- 1ファイルあたり、最大録音時間約25分まで

### 録音される内容

- 本機でのすべての演奏
- パート別に録音できません

### 録音内容の保持

USBメモリーに録音されるオーディオデータは、録音毎に上書きはされず、自動的にファイル名を変更して保存されます。

## 鍵盤演奏を録音してみる (オーディオレコーダー)

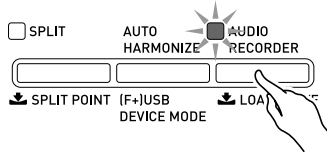
### 準備

- 使用するUSBメモリーを事前に本機でフォーマットしておきます。詳しくは、42ページの「USBメモリーを使用する」を参照してください。

1. USBメモリーを本機のUSBメモリー端子に装着します。
  - USBメモリーを本機に装着して最初にUSBメモリーを操作するとき、あるいは電源投入後に最初にUSBメモリーを操作するとき、本機のシステムがUSBメモリーとデータをやり取りする準備(マウント)を行うため、一時的に本機の操作ができなくなります。マウント中は、液晶画面に“Media Mounting”と表示されるか、“\*\*\*\*\*”が点滅表示されます。本機がマウントを完了し、操作が可能になるまで数十秒間かかることがあります。マウント中は、本機を操作しないでください。マウントは、本機にUSBメモリーを装着するたびに実行されます。

## 2. AUDIO RECORDERボタンのランプが点滅するまで(オーディオ録音の待機状態)、ボタン $\text{\textcircled{38}}$ (AUDIO RECORDER)を何回か押します。

- 最初にボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を押したとき、画面に“Media Mounting”と表示される場合があります。その際は画面が通常の画面に切り替わるのを待ってから、再度ボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を押してボタンのランプを点滅させます。



## 3. 演奏を開始します。

- 数秒間画面に“A.Rec Start”を表示して、USBメモリーへの録音を開始します。



### メモ

- AUDIO RECORDERボタンのランプが点灯または点滅しているときは、USBメモリーをUSBメモリー端子から抜かないでください。録音が中断され、データが破損したりする場合があります。

## 4. 録音を止めるには、ボタン $\text{\textcircled{38}}$ (AUDIO RECORDER)を押します。

- ボタンを押した後、AUDIO RECORDERボタンのランプがしばらく点滅してから点灯に変わり、オーディオ録音が終了したことをお知らせします。ボタンが点滅している間は、次の操作はできません。
- ボタン $\text{\textcircled{18}}$  (PLAY/STOP)を押すと、録音した演奏を再生することができます。再生を停止するには、もう一度ボタン $\text{\textcircled{18}}$  (PLAY/STOP)を押します。
- 続けてオーディオ録音をする場合は、ボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を押してAUDIO RECORDERボタンのランプを点滅させます。またオーディオ録音機能を終了する場合は、ボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を2回押してAUDIO RECORDERボタンのランプを消灯させます。

### ソングメモリーに録音したデータを再生しながら、鍵盤演奏を録音してみる (オーディオレコーダー)

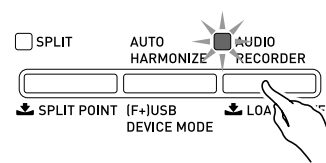
## 1. ボタン $\text{\textcircled{4}}$ (SONG RECORDER)を押します。

- ボタンのランプが点灯します。



## 2. AUDIO RECORDERボタンのランプが点滅するまで(オーディオ録音の待機状態)、ボタン $\text{\textcircled{38}}$ (AUDIO RECORDER)を何回か押します。

- 最初にボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を押したとき、画面に“Media Mounting”と表示される場合があります。その際は画面が通常の画面に切り替わるのを待ってから、再度ボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を押してボタンのランプを点滅させます。



## 3. ボタン $\text{\textcircled{18}}$ (PLAY/STOP)を押します。

- ソングメモリーに録音されている内容が再生されるので、それに合わせて演奏します。

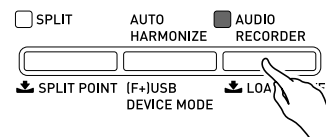
## 4. 録音を止めるには、ボタン $\text{\textcircled{38}}$ (AUDIO RECORDER)を押します。

- ボタンを押した後、AUDIO RECORDERボタンのランプがしばらく点滅してから点灯に変わり、オーディオ録音を終了したことをお知らせします。ボタンが点滅している間は、次の操作はできません。
- 続けてオーディオ録音をする場合は、ボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を押してAUDIO RECORDERボタンのランプを点滅させます。またオーディオ録音機能を終了する場合は、ボタン $\text{\textcircled{38}}$  (AUDIO RECORDER)を2回押してAUDIO RECORDERボタンのランプを消灯させます。

### USBメモリーに録音した演奏を再生する

## 1. ボタン $\text{\textcircled{38}}$ (AUDIO RECORDER)を押します。

- オーディオ録音後、すぐに再生する(AUDIO RECORDERボタンのランプが既に点灯している)場合は、この手順は不要です。
- ボタンのランプが点灯します。



## 2. ボタン $\text{\textcircled{26}}$ (FUNCTION)を押しながら、ボタン $\text{\textcircled{38}}$ (AUDIO RECORDER)を押します。

オーディオファイルを選択する画面に切り替わります。

## 3. ボタン $\text{\textcircled{29}}$ (V、^)を押して、曲を選びます。

- ボタン $\text{\textcircled{29}}$  (V)を押すごとに、録音した曲がさかのぼって選ばれます。
- ボタン $\text{\textcircled{29}}$  (^)を押すごとに、曲がファイル番号順に選ばれます。

## 4. ボタン $\text{\textcircled{32}}$ (EXIT)を押します。

5. ボタン⑩ (PLAY/STOP)を押します。
6. 曲を止めるには、ボタン⑩ (PLAY/STOP)を押します。
  - オーディオレコーダー機能を終了するには、ボタン⑳ (AUDIO RECORDER)を押します。AUDIO RECORDERボタンのランプが消灯します。

## USBメモリーに録音したオーディオファイルを消去するには

録音した内容をファイル単位で消去します。

### 重要!

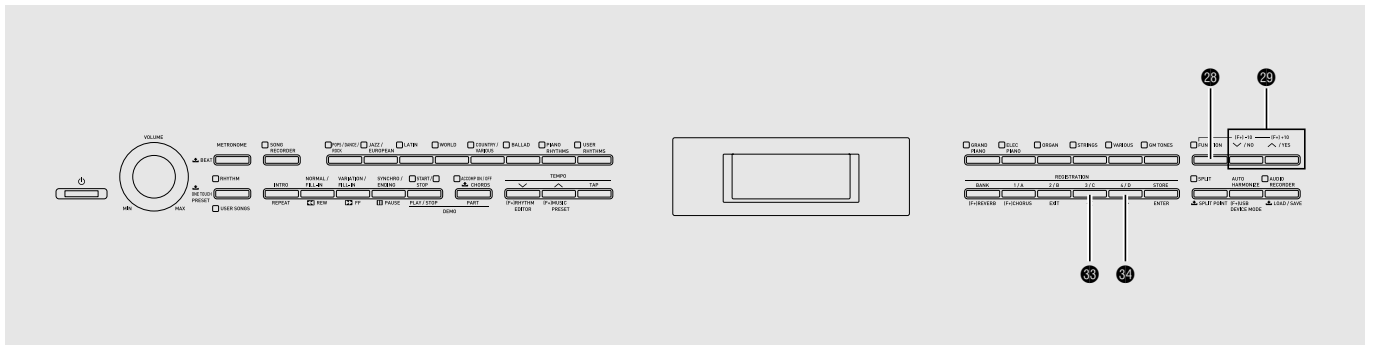
- 以下の操作を完了すると同時に、録音した内容が消去され、元に戻すことはできません。消去しようとしている内容を一度再生して、消去してもよいことをご確認の上、以下の操作を行うことをお勧めします。

1. ボタン㉑ (AUDIO RECORDER)を押します。
  - ボタンのランプが点灯します。
2. ボタン㉒ (FUNCTION)を押しながら、ボタン㉓ (AUDIO RECORDER)を押します。  
オーディオファイルを選択する画面に切り替わります。
3. ボタン㉔ (▼、▲)を押して、消去したい曲を選びます。
  - ボタン㉔ (▼)を押すことに、録音した曲がさかのぼって選ばれます。
  - ボタン㉔ (▲)を押すことに、曲がファイル番号順に選ばれます。
4. 液晶画面に“Sure?”と表示されるまで、ボタン㉓ (AUDIO RECORDER)を押し続けます。
5. 消去してよければ、ボタン㉕ (YES)を押します。  
選んだレコーダー曲のデータが消去されます。
  - 消去をキャンセルする場合は、ボタン㉕ (NO)を押します。

### メモ

- 特定のファイルを消去して番号に欠番が出て、そのままとなります。新たにオーディオレコーダーで録音したときは、欠番しているファイル番号ではなく、最後のファイル番号の次の番号に保存されます。

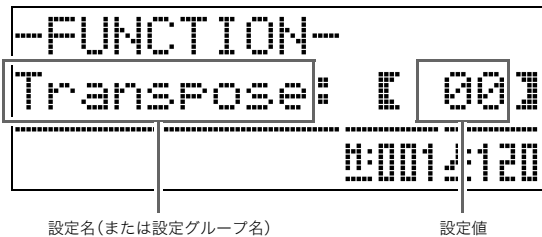
# その他の設定



鍵盤の調やタッチの変更、ペダルやMIDIの設定など、本機を使いこなすためのさまざまな設定内容を切り替えたり調整することができます。

## 設定するには

1. ボタン<sup>23</sup>(FUNCTION)を押します。  
ボタンのランプが点灯して、設定の画面(下記)が表示されます。



2. ボタン<sup>33</sup>(<)、<sup>34</sup>(>)を押して、次ページの表の番号1~8の中から設定を選びます。
  - 4~8(設定グループ)を選んだ場合は、ボタン<sup>35</sup>(ENTER)を押して選んだグループの中に入り、ボタン<sup>33</sup>(<)、<sup>34</sup>(>)を押してグループ内の設定を選びます。
  - ショートカット操作で素早く設定を選ぶこともできます。次ページの表の「ショートカットボタン」の番号のボタンを押してください。
3. ボタン<sup>24</sup>(∨、∧)を押して、設定値を切り替えます。
  - ボタン<sup>36</sup>(EXIT)または<sup>23</sup>(FUNCTION)を押して、設定の画面を終了します。

### メモ

- 上記の手順3で、ボタン<sup>23</sup>(FUNCTION)を押しながらボタン<sup>24</sup>(∨、∧)を押すと、設定値を10ずつ増やしたり減らしたりできます。
- この操作は音色番号やリズム番号などを変えるときにも使えます。
- 操作の途中でボタン<sup>23</sup>(FUNCTION)を離さないようご注意ください。ボタン<sup>23</sup>を離してボタン<sup>24</sup>を操作すると、他の設定値が変わってしまう恐れがあります。

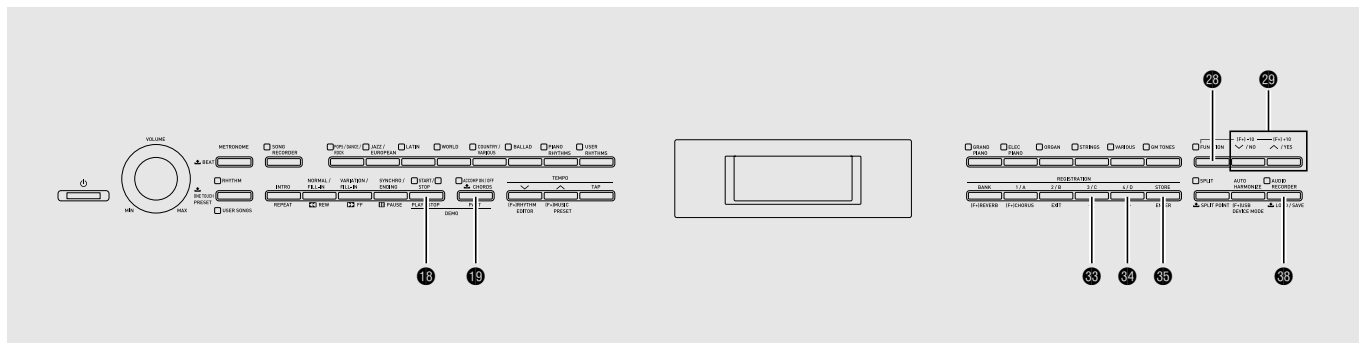


番号	設定	表示	内容	設定値	ショートカットボタン
1	鍵盤の調 (トランスポーズ)	Transpose	鍵盤の音の高さ(調)を半音単位で上下させます。	-12~00~12半音	22
2	鍵盤のピッチの微調整 (チューニング)	Tune	本機全体のピッチを、A4=440Hzから0.1Hz単位で上下させることができます。	415.5Hz~440.0Hz~465.9Hz	23
3	鍵盤のタッチ (タッチレスポンス)	Touch	鍵盤を弾くタッチ(強さ)で音量が変わります。	Off: オフ 1: 弱めに弾いても大きな音が出る 2: 標準 3: 強めに弾いて、標準の音が出る	24
4	音量のグループ	Volume			25
4-1	レイヤー音色の音量 (レイヤーバランス)	LayerBal.	鍵盤のメイン音色の音量はそのままに、レイヤー音色の音量を変えて、両者のバランスを調整します。	-24~00~24	-
4-2	自動伴奏の音量	AccompVol.	鍵盤の音量はそのままに、自動伴奏の音量を変えて、両者のバランスを調整します。	00~42	25を押しながら 13
4-3	曲の音量	SongVol.	鍵盤の音量はそのままに、ユーザーソングの音量を変えて、両者のバランスを調整します。	00~42	25を押しながら 13
4-4	メトロノームの音量	MetroVol.	13ページ参照	00~42	25を押しながら 3
5	音律/効果のグループ	Tmpr/Effect			26
5-1	音律	Temper.	鍵盤や自動伴奏の音の音律を、通常の平均律以外のもに替えて、クラシックやアラビア音楽などの演奏を楽しめます。音律の画面が表示されているときに鍵盤を押すと、その鍵盤が音律の「基音」になります。	<音律> 00:平均律(Equal) 01:純正律長調(Pure Major) 02:純正律短調(Pure Minor) 03:ピタゴラス音律(Pythagorean) 04:キルンベルガー第III法(Kirnberger 3) 05:ヴェルクマイスター第1技法第3法(Werckmeister) 06:ミーントーン(Mean-Tone) 07:ラスト(Rast) 08:バヤティ(Bayati) 09:ヒジャーズ(Hijaz) 10:サバ(Saba) 11:ダシュティ(Dashti) 12:チャハルガー(Chahargah) 13:セガー(Segah) 14:グジャリ・トーティ(Gurjari Todi) 15:チャンドラコウンス(Chandrakauns) 16:チャルケシ(Charukeshi)  <基音> C ~ B (12種類)	-
5-2	伴奏の音律	AccompTmpr	自動伴奏の音を、上記の「音律」で選んだ音律にかかわらず平均律で鳴らしたいときは、この設定をオフにします。	Off, On	-
5-3	ストレッチ チューニング	Stretch	ピアノでは通常、高音はより高めに、低音はより低めに調律します。この調律をストレッチチューニングといいます。ストレッチチューニングをかけずに演奏したいときは、この設定をオフにします。	Off, On	-
5-4	音の明るさ (ブリリアンス)	Brilliance	11ページ参照	-3~0~3	-
5-5	オクターブシフト	OctShift	11ページ参照	U1: -2~0~2 U2: -2~0~2 L1: -2~0~2	25を押しながら 22
5-6	デュエット	Duet	14ページ参照	Off, On	25を押しながら 26

番号	設定	表示	内容	設定値	ショートカットボタン
6 曲再生/USBメモリーのグループ Play/Media					Ⓒ
6-1	曲頭のカウント音	PreCount	最初にカウント音を鳴らしてからユーザーソングやUSBメモリーの曲再生を開始したいときは、この設定をオンにします。	Off、On	—
6-2	曲のリピート演奏	SongRepeat	ユーザーソングやUSBメモリーの曲を繰り返して再生（リピート再生）したいときは、この設定をオンにします。	Off、On	Ⓒを押しながらⒹ
6-3	USBメモリーのフォーマット	MediaFormat	44ページ参照	—	—
6-4	USBメモリーのファイル消去	FileDelete	46ページ参照	—	—
6-5	USBメモリーのファイル名変更	FileRename	46ページ参照	—	—
7 MIDIグループ MIDI					Ⓒ
7-1	キーボードチャンネル	KeyboardCh	本機の鍵盤演奏のMIDIデータを外部へ送信するときのチャンネル(キーボードチャンネル)を選びます。	01~16	—
7-2	アkompMIDIアウト	AccompOut	自動伴奏のMIDIデータを外部へ送信したいときは、この設定をオンにします。	Off、On	—
7-3	MIDIインコードジャッジ	ChordJudge	自動伴奏のコード入力鍵盤へのMIDIノートオンメッセージを受信したときに、コード入力するかしないかを選びます。	Off、On	—
7-4	ローカルコントロール	LocalCtrl	鍵盤の音を、本機では鳴らさずに外部へ送信したいとき、この設定をオフにします。	Off、On	—

番号	設定	表示	内容	設定値	ショート カット ボタン
8	その他の設定のグループ	General			30
8-1	液晶画面のコントラスト	Contrast	本機の液晶画面のコントラストを調整します。	00~26	—
8-2	操作のロック	PanelLock	オンに設定すると、ボタンがロックされて操作できなくなります(ボタン①(⏻)とロック解除の操作を除く)。誤ってボタンに触って設定が変わったりするのを防止できます。 • デュエットオン、レコーダーオン、自動伴奏・曲・メトロノームの再生中には操作できません。	Off, On	—
8-3	設定内容の保存	BackUp	オンに設定すると、その時点の各種設定内容が保存され、本機の電源を入れ直したときにその設定になります。 オフに設定すると、電源を入れ直したとき、本機全体の設定がリセットされます。 • デュエットオン、レコーダーオン、自動伴奏・曲・メトロノームの再生中には操作できません。	Off, On	—
8-4	オートパワーオフ	AutoPower	オートパワーオフ機能(6ページ)を有効にしたい場合は“on”、無効にしたい場合は“oFF”にします。本設定が“on”の場合でも、ボタン②(FUNCTION)を押しながら、ボタン①(⏻)を押して本機の電源を入れると、オートパワーオフ機能が無効になります。	Off, On	—
8-5	ソフト/ソステヌートペダルの切り替え	Ped.Assign	SOFT/SOSTENUTO端子につないだペダルを、ソフトペダルとして使うか、ソステヌートペダルとして使うかを選びます。 • 2種類のペダルの内容については、14ページをご参照ください。	SFT:ソフトペダル SOS:ソステヌートペダル	—
8-6	ハーフペダルの効果	HalfPedal	ダンパーペダルを途中まで踏み込んだときにかかる効果の度合いを調節します。	00~42	—
8-7	ピッチベンドレンジ	BendRange	ピッチベンドホイールを上限(または下限)まで動かしたときのピッチの変化量を選びます。	00~12半音	—

# USB メモリーを使用する



本機では、市販のUSBメモリーを使用して以下のことができます。

- USBメモリーをフォーマットする
- USBメモリーへデータを保存する
  - 本機のソングレコーダーで録音した曲データを、MIDIファイル(SMFフォーマット0)にして、USBメモリーに保存する。
  - パソコンで一般のオーディオデータ(WAVファイル)をUSBメモリーに保存し、本機で再生する。
  - 鍵盤演奏を直接、USBメモリーに録音する。  
詳しくは、35ページの「USBメモリーへの録音(オーディオレコーダー)」を参照してください。
  - 編集した自動伴奏のデータを、USBメモリーに保存する。
- USBメモリーのデータを本機へ読み込む
  - USBメモリーに保存したMIDIファイルやカシオフォーマットのファイルを、本機のユーザーソング(21ページ)へ読み込む。
- USBメモリーのデータを消去する
- USBメモリーの曲データを簡単に再生する

## ■ 保存や読み込みができるデータの種類と内容

データの種類	内容(拡張子)	本機でできること	
		USBメモリーに保存する	USBメモリーから読み込む
ユーザーリズム (18ページ)	本機で編集した自動伴奏のデータ (AC7)	○	○
ユーザーソング (21ページ)	曲データ：以下の2種類 1. カシオフォーマットデータ(CM2) カシオホームページからダウンロードした曲など 2. 一般的なMIDIファイル(MID) SMFフォーマット0,1	-	○
ユーザーミュージックプリセット (25ページ)	本機で編集したミュージックプリセットのデータ (MPS)	○	○
ソングレコーダー曲 (31ページ)	本機で録音した演奏データ (CSR)	○*	○
レジストレーション (29ページ)	本機で音色やリズムの設定を登録したデータ (CR6)	○	○

※ 一般的なMIDIファイル(SMFフォーマット0)に変えて保存することもできます。

## 一般のオーディオデータ(WAVファイル)をUSBメモリーに保存するには

本機のオーディオレコーダーで録音操作をすると、USBメモリー内にAUDIOフォルダが生成され、その下に「TAKE01.WAV」から「TAKE99.WAV」までファイル名を変えながら、WAVファイルが格納されていきます。USBメモリーをパソコンにつなぎ、一般のオーディオデータ(WAVファイル)をファイル名を「TAKEXX※.WAV」に変更してこのAUDIOフォルダに保存すると、本機で再生できます。

※ XX=01～99

## USBメモリーとUSBメモリー端子の取扱い上のご注意

### 重要!

- USBメモリーに付属している取扱説明書の注意事項をお守りください。
- 以下のような場所での保管や使用は避けてください。USBメモリー上のデータが壊れる場合があります。
  - 高温多湿、または腐食性のある場所
  - 強い静電気や電氣的ノイズの発生しやすい場所
- データを保存したり読み込んでいるときには、本機を操作したりUSBメモリーを取り外したりしないでください。USBメモリーのデータが壊れたり、USBメモリー端子が故障したりする場合があります。
- USBメモリー端子には、USBメモリー以外は決して入れないでください。故障の原因となります。
- 長時間使用すると、取り外したUSBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- USBメモリー端子に、手やUSBメモリーから静電気が伝わると、本機が誤動作する場合があります。このような場合は、一度本機の電源を切ってから、再び電源を入れてください。

### 著作権について

個人で楽しむなどのほかは、音声/音楽フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配布することも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## USBメモリーを本機に装着する・取り外す

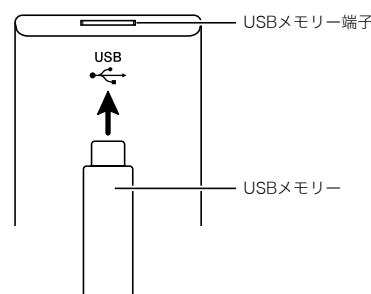
### 重要!

- USBメモリー端子には、USBメモリー以外は差し込まないでください。
- USBメモリーを本機に装着して最初にUSBメモリーを操作するとき、あるいは電源投入後に最初にUSBメモリーを操作するとき、本機のシステムがUSBメモリーとデータをやり取りする準備(マウント)を行うため、一時的に本機の操作ができなくなります。マウント中は、液晶画面に“Media Mounting”と表示されるか、“\*\*\*\*\*”が点滅表示されます。本機がマウントを完了し、操作が可能になるまで数十秒間かかることがあります。マウント中は、本機を操作しないでください。マウントは、本機にUSBメモリーを装着するたびに実行されます。

### ■ 装着するとき

1. 下図のように、USBメモリーを本機のUSBメモリー端子へ差し込みます。

- 確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。



### ■ 取り外すとき

1. データをやり取り中でないことを確認してから、USBメモリーを水平にしたまま抜きます。

## USBメモリーをフォーマットする

### 重要!

- まず最初に、必ず本機でUSBメモリーをフォーマットしてください。
- フォーマットする前に、USBメモリーに大切なデータが保存されていないことをご確認ください。
- 本機でのフォーマットは、クイックフォーマットを実行します。データを完全に消去するにはパソコンなどで通常のフォーマットを行ってください。

### <対応USBメモリーについて>

本機は、FAT32でフォーマットされたUSBメモリーに対応しています。FAT32以外でフォーマットされたUSBメモリーは、Windowsのフォーマット機能で一度、ファイルシステムをFAT32に指定してフォーマット(除クイックフォーマット)してください。

1. フォーマットするUSBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. ボタン $\text{\textcircled{23}}$ (FUNCTION)を押します。
3. ボタン $\text{\textcircled{33}}$ (AUDIO RECORDER)を押します。
4. ボタン $\text{\textcircled{34}}$ (>)を押して、“MediaFormat”を表示させます。
5. ボタン $\text{\textcircled{35}}$ (ENTER)を押します。  
フォーマットを実行してよいかを確認する画面(表示“SURE?”)になります。
  - フォーマットを中止したいときは、ボタン $\text{\textcircled{39}}$ (NO)または $\text{\textcircled{32}}$ (EXIT)を押します。
6. ボタン $\text{\textcircled{29}}$ (YES)を押します。
  - 画面に“Please Wait”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。フォーマットが終了すると、画面に“Complete”(完了)と表示されます。

## 本機のデータをUSBメモリーに保存する

本機に記録したデータを、USBメモリーに保存できます。

- ソングレコーダー曲は、一般的なMIDIファイル(SMFフォーマット0)に変えて保存することもできます。
- ユーザーソング(ダウンロードした曲など)は保存できません。

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. USBメモリーに保存したい、本機のデータを選びます。

データの種類 <sup>※1</sup>	選び方
ユーザーリズム	ユーザーリズム001~010番から、保存したいデータの番号を選ぶ(18ページ)。
ユーザーミュージックプリセット	ユーザーミュージックプリセット001~050番から、保存したいデータの番号を選ぶ(25ページ)。
ソングレコーダー曲	ソングレコーダー曲1~5番から、保存したいデータの番号を選ぶ(31ページ)。
レジストレーション <sup>※2</sup>	ボタン $\text{\textcircled{16}}$ (RHYTHM)を押して、ボタンの上のランプ(RHYTHM)を点灯させる。

※1 各データの詳細は、42ページをご参照ください。

※2 すべての登録内容(24バンク×4エリア)を、一つのファイルにまとめて保存します。

3. 画面の左上に“LOAD”と表示されるまで、ボタン $\text{\textcircled{33}}$ (AUDIO RECORDER)を押し続けます。  
“LOAD”(読み込み)と“SAVE”(保存)を選択する画面になります。
  - ボタン $\text{\textcircled{32}}$ (EXIT)を押すと、ボタン $\text{\textcircled{33}}$ (AUDIO RECORDER)を押す前の画面に戻ります。
4. ボタン $\text{\textcircled{34}}$ (>)を押して、画面の左上の表示を“SAVE”(保存)に切り替えます。
  - ソングレコーダー曲を一般的なMIDIファイル(SMF)に変えて保存する場合は、もう一度ボタン $\text{\textcircled{34}}$ を押して画面の右側に“SMF”と表示させます。
5. ボタン $\text{\textcircled{29}}$ (✓、へ)を押して、保存するファイルにつける番号(01~99)を選びます。
  - 画面に表示されている保存ファイル名<sup>\*</sup>の最後の2文字がファイル番号です。保存するたびにこの番号を変えて、同じ種類のデータを99個まで保存できます。  
※ 保存ファイル名の左側6文字は変更できません。

データの種類	保存ファイル名 (**はファイル番号)
ユーザーリズム	USRRHY**
ユーザーミュージックプリセット	USRMP5**
ソングレコーダー曲	RECSNG**
レジストレーション	REGIST**

## 6. ボタン<sup>Ⓢ</sup>(ENTER)を押します。

- 画面に“Please Wait”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。保存が終了すると、画面に“Complete”(完了)と表示されます。
- USBメモリーに同じ名前のファイルがある場合は、上書きしてよいかを確認する画面(表示“Replace?”)になります。上書きして保存するときはボタン<sup>Ⓢ</sup>の(YES)を、キャンセルするときは(NO)を押してください。

### ■ USBメモリー内のデータ(ファイル)の保存場所について

以上の操作により本機のデータが、USBメモリー内のフォルダの中にファイルとして保存されます。フォルダは、データの種類によって下の表のように異なります。

データの種類	データフォルダ名
ユーザーリズム	RHYTHMAC
ユーザーソング	MUSICLIB
ユーザーミュージックプリセット	MUSICPST
ソングレコーダー曲	RECORDER
レジストレーション	REGISTMR

- 上記のフォルダは、本機でUSBメモリーをフォーマットしたとき(44ページ)に自動的に作られます。
- 上記のフォルダ以外の場所に保存されているファイルは、本機での読み込みや消去、ファイル名の変更ができなくなります。また上記のフォルダの中にさらにフォルダを作って、そこにファイルを入れた場合にも、読み込みや消去ができなくなりますのでご注意ください。

## USBメモリーから本機へデータを読み込む

USBメモリーに保存してあるデータを、本機に読み込みます。

### 重要!

- 読み込むデータ(ファイル)は、データの種類ごと決められたフォルダの中に保存してください(左表参照)。間違えて曲データ再生専用のフォルダ(“PLAY”など)にデータを入れてしまうと読み込めなくなりますのでご注意ください。

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. データの読み込み先を、本機で選びます。

データの種類*	選び方
ユーザーリズム	ユーザーリズム番号001~010から、読み込み先番号を選ぶ(18ページ)。
ユーザーソング	ユーザーソング番号001~010から、読み込み先番号を選ぶ(21ページ)。
ユーザーミュージックプリセット	ユーザーミュージックプリセット番号001~050から、読み込み先番号を選ぶ(25ページ)。
ソングレコーダー曲	ソングレコーダー曲番号1~5から、読み込み先番号を選ぶ(31ページ)。
レジストレーション	ボタン <sup>Ⓢ</sup> (RHYTHM)を押して、ボタンの上のランプ(RHYTHM)を点灯させる。

※ 各データの詳細は、42ページをご参照ください。

3. 画面の左上に“LOAD”と表示されるまで、ボタン<sup>Ⓢ</sup>(AUDIO RECORDER)を押し続けます。ボタン<sup>Ⓢ</sup>(EXIT)を押すと、ボタン<sup>Ⓢ</sup>(AUDIO RECORDER)を押す前の画面に戻ります。
4. ボタン<sup>Ⓢ</sup>(✓、∧)を押して、読み込むデータ(ファイル)を選びます。
5. ボタン<sup>Ⓢ</sup>(ENTER)を押します。
  - 画面に“Please Wait”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。読み込みが終了すると、画面に“Complete”(完了)と表示されます。
  - 本機の読み込み先に同じ名前のデータがある場合は、上書きしてよいかを確認する画面(表示“Replace?”)になります。上書きして読み込むときはボタン<sup>Ⓢ</sup>の(YES)を、キャンセルするときは(NO)を押してください。

## USBメモリーのデータを消去する

USBメモリーに保存しているデータ(ファイル)を消去します。

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. ボタン<sup>23</sup>(FUNCTION)を押します。
3. ボタン<sup>33</sup>(AUDIO RECORDER)を押します。
4. ボタン<sup>34</sup>(>)を押して、“FileDelete”を表示させます。
5. ボタン<sup>35</sup>(ENTER)を押します。  
消去するデータを選ぶ画面(表示“\*DELETE\* File”)になります。
6. ボタン<sup>29</sup>(∨、∧)を押して、消去するデータ(ファイル)を選びます。
7. ボタン<sup>35</sup>(ENTER)を押します。  
消去してよいかを確認する画面(表示“SURE?”)になります。  
  - 消去を中止したいときは、ボタン<sup>29</sup>の(NO)または<sup>32</sup>(EXIT)を押します。
8. ボタン<sup>29</sup>の(YES)を押します。  
  - 画面に“Please Wait”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。消去が終了すると、画面に“Complete”(完了)と表示されます。

## USBメモリーのデータのファイル名を変更する

USBメモリーに保存しているデータ(ファイル)のファイル名を変更することができます。

1. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
2. ボタン<sup>23</sup>(FUNCTION)を押します。
3. ボタン<sup>33</sup>(AUDIO RECORDER)を押します。
4. ボタン<sup>34</sup>(>)を押して、“FileRename”を表示させます。
5. ボタン<sup>35</sup>(ENTER)を押します。  
ファイル名を変更する画面(表示“\*RENAME\* File”)になります。
6. ボタン<sup>29</sup>(∨、∧)を押して、名前を変えたいデータ(ファイル)の番号を選びます。
7. ボタン<sup>34</sup>(>) <sup>33</sup>(<)で、画面表示のファイル名8文字のうち変えたい文字を点滅させて、ボタン<sup>29</sup>(∨、∧)で好きな文字に切り替えます。  
  - ファイル名の文字は下記の中から選べます。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	\$	&	_	'
(	)	-	^	{	}	@	~	`	

8. ファイル名を決めたら、ボタン<sup>35</sup>(ENTER)を押します。  
ファイル名を変更してよいかを確認する画面(表示“SURE?”)になります。  
  - 変更を中止したいときは、ボタン<sup>29</sup>の(NO)または<sup>32</sup>(EXIT)を押します。
9. ボタン<sup>29</sup>の(YES)を押します。  
  - 画面に“Please Wait”(実行中)と表示されます。この間は、本機の操作を一切行わないでください。ファイル名の変更が終了すると、画面に“Complete”(完了)と表示されます。



## USBメモリーの曲を再生するには

USBメモリーに保存しているユーザーソングデータ(21ページ)を、本機のユーザーソング番号に読み込まずに、簡単に再生することができます。

### ■ USBメモリーの4つのフォルダについて

本機でUSBメモリーをフォーマットすると、USBメモリーの中に「PLAY」フォルダと、その「PLAY」フォルダの中に「A」～「D」の4つのフォルダが自動的に作られます。再生する曲データは、この「A」～「D」のどのフォルダに入れてもかまいません。ボタン③①～③④(A～D)でそれぞれのフォルダを選べますので、ご家族や曲のジャンルごとにフォルダを分けてお使いください。

フォルダ名	選ぶボタン
A	③① (A)
B	③② (B)
C	③③ (C)
D	③④ (D)

1. USBメモリーのフォルダの中に再生したい曲データを保存します。
2. USBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に装着します。
3. ボタン②⑨ (FUNCTION) を押しながら、ボタン③⑥ (AUDIO RECORDER) を押します。
4. ボタン③①～③④ (フォルダA～D) を押して、USBメモリーのフォルダを選びます。  
選んだフォルダに入っているファイルの曲番号と曲名が画面に表示されます。
5. ボタン②⑩ (✓、∧) で再生する曲を選びます。
6. ボタン①⑧ (PLAY/STOP) を押します。  
再生がはじまります。
  - ボタン①⑧を押すごとに再生と停止を繰り返します。
  - 早送り・早戻しやテンポ変更など、読み込んだユーザーソングと同じように再生をコントロールできます。詳しくは21ページ「外部から読み込んだ曲を聴く(ユーザーソング)」をご参照ください。
7. USBメモリーデータの再生機能を終了するには、ボタン②⑨ (FUNCTION) を押しながら、ボタン③⑥ (AUDIO RECORDER) を押します。

## フォルダ内の曲を全部通して聴くには

USBメモリー内の4つのフォルダから1つ選んで、そのフォルダの中の全曲を通して再生することもできます。

1. ボタン①⑨ (PART) を押しながら、ボタン①⑧ (PLAY/STOP) を押します。  
音色のデモ曲(21ページ)がスタートします。
2. ボタン②⑨ (FUNCTION) を押しながら、ボタン③⑥ (AUDIO RECORDER) を押します。  
音色デモ曲の再生から、USBメモリーの曲の再生に切り替わります。
  - 再生中にボタン③①～③④ (フォルダA～D) を押して、曲を再生するフォルダを切り替えることができます。
  - 再生を止めるには、ボタン①⑧ (PLAY/STOP) を押します。

## エラーメッセージ一覧

データの転送に失敗したときなどには、以下のメッセージが液晶画面に表示されます。

- ボタン **EXIT** を押すことでエラー表示状態が終了し、通常状態に戻ります。

表示	原因	解決方法
<b>No Media</b>	1. 本機のUSBメモリー端子にUSBメモリーが正しくセットされていない。 2. 操作の途中でUSBメモリーが抜き差しされた。 3. USBメモリーがプロテクトされている。 4. USBメモリーにウイルス対策ソフトが入っている。	1. USBメモリー端子にUSBメモリーを正しくセットする。 2. 本機の操作中にはUSBメモリーを動かさない。 3. USBメモリーのプロテクトを解除する。 4. ウィルス対策ソフトが入っていないUSBメモリーを使う。
<b>No File</b>	“MUSICLIB”、“AUDIO”フォルダの中に読み込みや再生ができるファイルが無い。	読み込みや再生したいファイルを“MUSICLIB”、“AUDIO”フォルダの正しい場所（43、44ページ）へ移動する。
<b>No Data</b>	録音データが無いのに、USBメモリーに保存しようとした。	録音してから保存する。
<b>Read Only</b>	USBメモリーに入っている読み込み専用ファイルと同じ名前、別のデータを保存しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 別の名前に変えてから保存する。</li> <li>• USBメモリーのファイルから読み込み専用属性をはずして、上書き保存する。</li> <li>• 別のUSBメモリーを使う。</li> </ul>
<b>Media Full</b>	USBメモリーの空き領域が足りない。	USBメモリーに保存しているファイルを消去して、空き領域を増やす。または別のUSBメモリーを使う。
<b>File Full</b>	1. USBメモリー内のファイル数が上限になっている。 2. “AUDIO”フォルダ内にTAKE99.WAVファイルが存在する。	1. USBメモリーに保存しているファイルを消去してファイル数を減らす。 2. “AUDIO”フォルダ内のWAVファイルを消去する。
<b>Not SMF01</b>	SMFフォーマット2の曲データを再生しようとした。	本機で再生できるSMFのフォーマットは、“0”または“1”です。
<b>Size Over</b>	USBメモリーの曲データのサイズが大きすぎて本機で再生できない。	本機では最大で320キロバイトの曲データまで再生できません。
<b>Wrong Data</b>	1. USBメモリーのデータが壊れている。 2. USBメモリーのデータが本機で操作できない内容になっている。	—
<b>Convert</b>	Song Recorderの曲をSMFに変換してUSBメモリーに保存するために必要な、本機のメモリー空き領域が不足している。	曲のデータサイズを小さくする。 例：削除してよいトラックがあれば、そのトラックのデータを消去する。
<b>Format</b>	1. USBメモリーのフォーマットが本機に適合していない。 2. USBメモリーが壊れている。	1. 本機でUSBメモリーをフォーマットする。 2. 別のUSBメモリーを使う。
<b>Media R/W</b>	USBメモリーが壊れている。	別のUSBメモリーを使う。
<b>File Name</b>	USBメモリー内のデータのファイル名を変更するとき、USBメモリー内の他のファイルと同じ名前に変更しようとした。	他のファイルに使われていないファイル名に変更する。

# パソコンとの接続について

## パソコンと接続する

この楽器とパソコンを接続して演奏情報(MIDIデータ)の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフト(市販品)へ送って記録したり、パソコンからこの楽器へデータを送って音を鳴らすことができます。

### パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

#### ● 対応OS

Windows® XP(SP2以降)※1

Windows Vista® ※2

Windows® 7 ※3

Mac OS® X(10.3.9、10.4.11、10.5.X、10.6.X、10.7.X)

※1 Windows XP Home Edition

Windows XP Professional(32bit版)

※2 Windows Vista(32bit版)

※3 Windows 7(32bit版、64bit版)

#### ● USB端子

#### 重要!

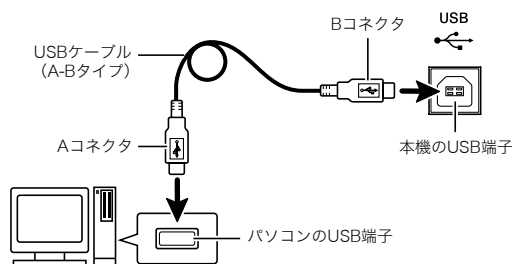
- 上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。

### 接続方法

#### 重要!

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず下記の手順に従って接続してください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
  - パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。
2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。



3. 本機の電源を入れます。

- 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。

4. パソコンの音楽ソフト(市販品)を起動させます。

5. パソコンの音楽ソフトの設定で、MIDIデバイスとして下記のいずれかを選びます。

CASIO USB-MIDI : (Windows Vista、Windows 7、Mac OS Xの場合)

USBオーディオデバイス : (Windows XPの場合)

- MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

#### 重要!

- パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。

#### メモ

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルをつないだままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。
- 本機はGM(General MIDI Level 1)に準拠しています。
- 本機のMIDIデータ送受信の詳しい仕様や、接続についての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<http://casio.jp/support/emi/>

## MIDI 機能を使ってみる

### MIDI について

電子楽器同士、あるいは電子楽器とコンピューター機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。

本機のMIDI仕様について、詳しくは以下のホームページに公開している「MIDIインプリメンテーション」をご覧ください。

<http://casio.jp/support/emi/>

#### メモ

- 本機からのMIDIデータ送信でのチャンネル切り替えなど、MIDI関係の設定を変えることができます。詳しくは、38～41ページ「その他の設定」の「MIDIグループ」をご参照ください。
- 本機と他の電子楽器とを接続してMIDI演奏を行う場合は、お互いのMIDI端子同士を、別売または市販のMIDIケーブルで接続してください。
- USB端子で本機とパソコンを接続しているときは、MIDI端子は使用できません。

## データをパソコンに保存する・パソコンから読み込む

編集した自動伴奏や録音した曲などの本機のデータを、パソコンに転送して保存することができます。また一般的な楽曲MIDIファイル(SMF)やカシオのホームページからダウンロードしたソングや自動伴奏のデータを、パソコンから本機に転送して読み込むこともできます。

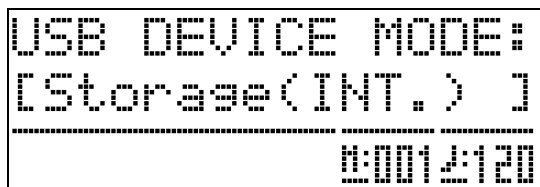
### ■ 転送できるデータの種類と内容について

保存や読み込みができるデータの種類の、USBメモリー(42ページ)と同じです。\*  
 ※ ただし、録音した曲(ソングレコーダー曲)をSMFに変換してパソコンに保存することはできません。

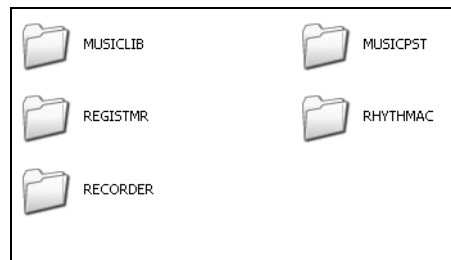
#### 重要!

- データの保存や読み込みを行っているときに本機の電源が切れると、本機に記録しているデータ(録音した曲など)が、すべて消えてしまう場合があります。誤って電源を切らないようご注意ください。  
 データが消えてしまった場合には、次に本機の電源を入れたとき(6ページ)、演奏できるようになるまでに通常よりも長く時間がかかります。

1. 本機のUSBメモリー端子(43ページ)からUSBメモリーを抜きます。
  - USBメモリー端子にUSBメモリーが装着されていると、本機とパソコンの間でデータ転送することができません。
2. 本機とパソコンを接続します(49ページ「パソコンと接続する」手順1~3)。
3. ボタン $\text{Ⓧ}$ (FUNCTION)を押しながら、ボタン $\text{Ⓩ}$ (USB DEVICE MODE)を押します。  
 パソコンとの間でデータを転送できる状態(ストレージ)になります。ストレージ中はボタン $\text{Ⓧ}$ (FUNCTION)が点滅し、ストレージ画面(下記)が表示されます。
  - ボタン $\text{Ⓧ}$ を押すと、ストレージを終了して元の画面に戻ります(ストレージ中はこれ以外の操作はできません)。
  - 本機で以下を行っているときは、ストレージに切り替えることができません。  
 メトロノーム・自動伴奏・曲の再生中、レコーダーオン中、自動伴奏の編集、ミュージックプリセットの編集、本機とUSBメモリー間でのデータ転送中



4. パソコンの「マイ コンピュータ」をダブルクリックして開きます。\*  
 「リムーバブル記憶域があるデバイス」の中に、本機のメモリーが、「PIANO」という名前で表示されています。  
 ※ Windows Vista、Windows 7の場合は、「コンピュータ」をダブルクリックしてください。  
 Macの場合は、何もしないで次の手順5に進んでください。
5. 「PIANO」(本機のメモリー)をダブルクリックして開きます。
  - Macの場合は、デスクトップ上の「PIANO」をダブルクリックします。
  - 「PIANO」を開くと、下記のようにデータ種類ごとの専用フォルダ(データフォルダ)が5つ入っています。



6. 転送したいデータの種類により、下の表の中からデータフォルダを選びます。  
 例: カシオホームページからダウンロードした曲データを本機に読み込む場合は、データの種類の「ユーザーソング」ですので、「MUSICLIB」フォルダを選びます。

データの種類	データフォルダ名	データのファイル名
ユーザーリズム (18ページ)	RHYTHMAC	BIDRHYnn.AC7 (nn:01~10) BIDRHYnn.Z00 (nn:01~10) BIDRHYnn.CKF (nn:01~10)
ユーザーソング (21ページ)	MUSICLIB	BIDSNgnn.MID (nn:01~10) (SMFフォーマット0,1) BIDSNgnn.CM2 (nn:01~10) (カシオフォーマット)
ユーザー ミュージック プリセット(25ページ)	MUSICPST	BIDMPSnn.MPS (nn:01~50)
ソングレコーダー曲 (31ページ)	RECORDER	BIDRECnn.CSR (nn:01~05)
レジストレーション (29ページ)	REGISTMR	BIDREGAL.CR6

- データの種類と内容は、本機とUSBメモリーの間でやりとりできるデータと同じです。42ページ「USBメモリーを使用する」をご参照ください。

## 7. Windowsパソコンでは、ファイル名に拡張子(.MID、.CM2など)が表示されないように初期設定されています。その場合はパソコンで下記の設定を行って、拡張子を表示させてください。

- (1) 上記のデータフォルダのいずれかを開く。
- (2) 下記の方法で、「フォルダオプション」を表示させる。
  - Window XPの場合:  
フォルダの上方にある「ツール」をクリックして、「フォルダオプション」を選ぶ。
  - Window Vista、Window 7の場合:  
フォルダの左上にある「整理」をクリックして、「フォルダと検索のオプション」を選ぶ。
- (3) 「フォルダオプション」の上方にある「表示」をクリックする。
- (4) 「詳細設定」の中の「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックする。

## 8. 以下の操作で、データを転送します。

### ● 本機のデータをパソコンに保存する場合

選んだフォルダに入っているデータのうち、保存したいデータをパソコンの保存先(デスクトップなど)にコピーします。

### ● パソコンから本機にデータを読み込む場合


選んだフォルダの中に、読み込みたいデータをコピーして、ファイル名を上記の表の「データのファイル名」の名前※に変えます。

※ ファイル名の最後の2文字(nn)は、本機に読み込んだときのユーザー番号になります。

例: ダウンロードした曲データのファイル名を“BIDSNG04.CM2”にすると、本機のユーザーソング004番で再生できるようになります。

## 9. パソコンとのデータ転送状態(ストレージ)を終了するには、ボタン (FUNCTION) を押しします。

通常の画面に戻ります。

- Macの場合はボタン  を押す前に、パソコンで「PIANO」フォルダを選んで取り出し操作(ゴミ箱にドラッグアンドドロップするなど)を行ってください。

### ■ カシオホームページのソングデータのご利用について

CASIO Music Site( <http://music.casio.co.jp/> )の以下のサービスから、ソングデータをダウンロードして本機に転送することができます。

- インターネット・ソングバンク
- インターネット楽譜ナビ

### ■ カシオホームページの自動伴奏データのご利用について

CASIO Music Site( <http://music.casio.co.jp/> )の以下のサービスから、本機以外の製品の自動伴奏データをダウンロードして本機に転送することができます。

Internet Data Expansion System  
(インターネット・データ・エクステンション・システム)



### メモ

- 本機専用のデータではないため、あらかじめ本機に内蔵されている自動伴奏とは異なる鳴り方をすることがあります。

### 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## 困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>VOLUMEつまみが“MIN”の位置にある。</li> <li>ヘッドホンがつながっている。またはヘッドホンの変換プラグがPHONES端子に残っている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>VOLUMEつまみを“MAX”の方に動かす。</li> <li>ヘッドホンまたは変換プラグをPHONES端子から抜く。</li> </ol>	<p>☞ 6ページ</p> <p>☞ 7ページ</p>
ピッチがずれて聴こえる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>「鍵盤の調(トランスポーズ)」の設定が“0”以外になっている。</li> <li>「鍵盤のピッチの微調整(チューニング)」の設定が“440.0Hz”以外になっている。</li> <li>音律が設定されている。</li> <li>オクターブシフトが設定されている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>設定を“0”にする。または電源を入れ直す。</li> <li>設定を“440.0Hz”にする。または電源を入れ直す。</li> <li>設定を“00”(平均律)にする。</li> <li>設定を“0”にする。</li> </ol>	<p>☞ 39ページ</p> <p>☞ 39ページ</p> <p>☞ 39ページ</p> <p>☞ 11ページ</p>
音の鳴り方や効果がおかしい。電源を入れ直しても変わらない。 例:弾き方(タッチ)を変えても音に強弱がつかない。	「設定内容の保存」がオンになっている。	「設定内容の保存」をオフにして、本機の電源を入れ直す。	☞ 41ページ
パソコンと接続したとき、データの送受信ができない。	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する。</li> <li>本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。</li> </ol>	☞ 49ページ
コード伴奏の演奏情報をパソコンに録音できない。	アンプMIDIアウトがオフになっている。	本機の設定でアンプMIDIアウトをオンにする。	☞ 40ページ
USBメモリーにデータを保存できない。またはUSBメモリーからデータを読み込みできない。	—	「エラーメッセージ一覧」をご参照ください。	☞ 48ページ
パソコンから送信中の曲データが、再生の途中で止まってしまった。	USBケーブルや電源コードからのノイズ混入により、パソコンと本機の通信が途切れた。	曲の再生を停止し、本機とUSBケーブルを一度接続し直した後、再び曲を再生させる。 それでも動かない場合は、使用中のMIDIソフトウェアを一度終了させ、本機とUSBケーブルを一度接続し直した後、MIDIソフトウェアを再起動させて、曲を再生させる。	☞ 49ページ
同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。	デジタルサンプリングという電子処理*によって発生する音域の境目で、故障ではありません。 ※元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。		
ボタン操作をすると、鳴っている音が一時的に途切れたり、音質が若干変わったように聴こえる。	デュエット機能、自動伴奏やレコーダー機能などで演奏しているときにボタン操作をすると、本機内部で音の効果が切り替わる際にこのような現象が発生することがあります。故障ではありません。		
高音域や低音域の鍵盤を弾くと、オクターブ単位で同じ音程が繰り返される。	音色によっては、発音できる音域を超えた場合などに、音程がオクターブ単位で変更されて鳴るものがあります。音色ごとの特性によるものであり、故障ではありません。		

## 製品仕様

型式	PX-350MBK/PX-350MWE
鍵盤	88鍵、ピアノ鍵盤、タッチレスポンス（3種）
同時発音数	最大128音
音色	250種類（レイヤー、スプリット可）
エフェクト	リバーブ（4種）、コーラス（4種）、プリリアンス（-3~0~3）、ダンパーレゾナンス
メトロノーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>拍子：0, 2, 3, 4, 5, 6</li> <li>テンポ範囲：20~255</li> </ul>
デュエット	音域変更可（左側鍵盤：0~3オクターブ、右側鍵盤：-4~-1オクターブ）
自動伴奏	<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵リズム数：180</li> <li>ユーザーリズム数：最大10（1リズムあたり最大約40KB*）</li> <li>ワンタッチプリセット：180種類</li> <li>オートハーモナイズ：12種類</li> </ul>
デモ	6曲（音色デモ曲）
ユーザーソング	最大10曲（1曲あたり最大320KB*）
ミュージックプリセット	内蔵プリセット数：300 ユーザープリセット数：最大50（1プリセットあたり最大約8KB*）
レジストレーション	最大96セット（4セット×24バンク）
録音機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソングレコーダー <ul style="list-style-type: none"> <li>方式：リアルタイム録音、再生</li> <li>曲数：5曲</li> <li>録音トラック数：17（システムトラック + トラック01 ~ 16）</li> <li>容量：合計約50,000音符（1曲あたり最大約10,000音符）</li> <li>パンチイン録音</li> </ul> </li> <li>●オーディオレコーダー <ul style="list-style-type: none"> <li>USBメモリーにリアルタイム録音、再生</li> <li>※ リニアPCM、16bit、44.1kHz、StereoのWAV形式</li> <li>曲数：99ファイル</li> <li>1ファイルあたり、最大録音時間約25分まで録音可能</li> </ul> </li> </ul>
ペダル	ダンパー、ソフト/ソステヌート（切り替え可）
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランスポーズ：±1オクターブ（-12~00~12）</li> <li>チューニング：A4=415.5Hz~440.0Hz~465.9Hz</li> <li>オクターブシフト：±2オクターブ</li> <li>音律：17種類</li> <li>ストレッチチューニング</li> <li>操作のロック</li> </ul>
MIDI	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
ピッチベンドホイール	ピッチベンドレンジ：00 ~ 12半音
USBメモリー	SMF再生、録音曲の保存、曲データの読み込み、フォーマット、オーディオデータの再生
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホン端子：ステレオ標準ジャック×2</li> <li>ペダル端子：標準ジャック×2</li> <li>電源端子：DC12V</li> <li>MIDI イン/アウト端子</li> <li>ラインアウト [R] [L/MONO] 端子：標準ジャック×2 出力インピーダンス 2.3KΩ 出力電圧 1.8V (RMS) MAX</li> <li>ラインイン [R] [L/MONO] 端子：標準ジャック×2 入力インピーダンス 9.0KΩ 入力感度 200mV</li> <li>USB端子：タイプB</li> <li>USBメモリー端子：タイプA</li> <li>ペダルコネクター（別売品SP-33専用）</li> </ul>

スピーカー	[13cm×6cm(角型)]×2 + φ5cm×2(出力8.0W+8.0W)
電源	家庭用AC100V電源使用 ACアダプターAD-A12150LW使用 オートパワーオフ機能:約4時間、キャンセル可能
消費電力	12V --- 18W
サイズ	幅132.2×奥行28.6×高さ13.5cm
質量	約11.6kg
付属品	ACアダプター (AD-A12150LW)、ペダル (SP-3)、譜面立て、取扱説明書 (本書)、保証書、安全上のご注意

※ 表記容量は、1KB=1024バイト、1MB=1024<sup>2</sup>バイト換算です。

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

#### 【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
ペダル	SP-3 SP-20 SP-33*
イス	CB-5 CB-7 CB-30

商品名	品番
スタンド	CS-53P CS-67P
ソフトケース	SC-700P

別売品の内容は、予告なく変更されることがあります。詳しくは店頭のカシオ電子楽器カタログをご覧ください。

<http://casio.jp/emi/catalogue>

※ CS-67P使用時のみ

## 保証・アフターサービスについて

### 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間は保証書に記載されています

### 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

#### ● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理サービス窓口」が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。

#### ● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

当商品は「出張修理」「持込修理」のいずれも受け付けております。修理をお急ぎの場合には、事前に最寄りの「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。お客様のご希望に沿った修理方法をご案内させていただきます。

### あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正品と交換させていただくことがあります。
- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理サービス窓口」にご依頼ください。

### アフターサービスなどについておわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。



## 音色リスト

グループ名	グループ内番号	通し番号	音色名	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB
<b>GRAND PIANO</b>					
	001	001	GRAND PIANO CONCERT	0	48
	002	002	GRAND PIANO STUDIO	0	54
	003	003	GRAND PIANO MODERN	0	49
	004	004	GRAND PIANO CLASSIC	0	50
	005	005	GRAND PIANO BRIGHT	1	52
	006	006	GRAND PIANO MELLOW	0	51
	007	007	GRAND PIANO DOLCE	0	55
	008	008	ROCK PIANO	1	48
	009	009	LA PIANO	1	49
	010	010	DANCE PIANO	1	51
	011	011	HONKY-TONK	3	48
	012	012	OCTAVE PIANO	3	49
	013	013	STRINGS PIANO	0	52
	014	014	PIANO PAD	0	53
<b>ELEC PIANO</b>					
	001	015	ELEC.PIANO 1	4	48
	002	016	ELEC.PIANO 2	5	48
	003	017	60'S E.PIANO	4	51
	004	018	E.GRAND 80	2	48
	005	019	DYNO ELEC.PIANO	4	49
	006	020	FM ELEC.PIANO	5	49
	007	021	MELLOW E.PIANO	4	50
	008	022	POP ELEC.PIANO	5	50
	009	023	CHORUS E.PIANO	4	53
	010	024	SYNTH-STR.E.PIANO	4	52
	011	025	VIBRAPHONE	11	48
	012	026	CLAVI	7	48
	013	027	WAH CLAVI	7	49
	014	028	HARPSICHORD	6	48
	015	029	COUPLED HARPSICHORD	6	49
	016	030	MARIMBA	12	48
	017	031	CHORUS VIBRAPHONE	11	49
<b>ORGAN</b>					
	001	032	ROCK ORGAN 1	16	49
	002	033	JAZZ ORGAN	17	48
	003	034	DRAWBAR ORGAN	16	48
	004	035	ROTARY DRAWBAR	16	50
	005	036	ROTARY ORGAN	16	51
	006	037	PERC.ORGAN	17	49
	007	038	70'S ORGAN	17	50
	008	039	OVERDRIVE ORGAN	16	52
	009	040	TREMOLO ORGAN	16	53
	010	041	ROCK ORGAN 2	18	48
	011	042	ELEC.ORGAN	16	54
	012	043	FULL DRAWBAR	16	55
	013	044	CHURCH ORGAN	19	48
	014	045	CHAPEL ORGAN	19	49
<b>STRINGS</b>					
	001	046	STEREO STRINGS 1	49	48
	002	047	STEREO STRINGS 2	48	49
	003	048	STRING ENSEMBLE	48	48
	004	049	SYNTH-STRINGS	50	48
	005	050	70'S SYNTH-STR.	50	49
	006	051	80'S SYNTH-STR.	50	50
	007	052	VIOLIN SECTION	40	48
	008	053	CHOIR	52	48
	009	054	SYNTH-VOICE	54	48
	010	055	SYNTH-PAD	90	48
	011	056	FANTASY	88	48
	012	057	NEW AGE	88	49
	013	058	WARM PAD	89	48
	014	059	WARM VOX	89	49
	015	060	POLYSYNTH PAD	90	49
	016	061	ATMOSPHERE PAD	99	48
<b>VARIOUS</b>					
	001	062	ACOUSTIC BASS	32	48
	002	063	RIDE BASS	32	49
	003	064	FINGERED BASS 1	33	48
	004	065	FINGERED BASS 2	33	49
	005	066	FINGERED BASS 3	33	50

グループ名	グループ内番号	通し番号	音色名	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB
	006	067	PICKED BASS	34	48
	007	068	TRANCE BASS	38	48
	008	069	NYLON STR.GUITAR	24	48
	009	070	STEEL STR.GUITAR 1	25	48
	010	071	STEEL STR.GUITAR 2	25	49
	011	072	STEEL STR.GUITAR 3	25	50
	012	073	JAZZ GUITAR	26	48
	013	074	CLEAN GUITAR	27	49
	014	075	CHORUS CLEAN GUITAR	27	48
	015	076	CRUNCH ELEC.GUITAR 1	27	50
	016	077	CRUNCH ELEC.GUITAR 2	27	51
	017	078	OVERDRIVE GUITAR	29	48
	018	079	BREATHY ALTO SAX	65	49
	019	080	BREATHY TENOR SAX	66	49
	020	081	ALTO SAX	65	48
	021	082	TENOR SAX	66	48
	022	083	CLARINET	71	48
	023	084	FLUTE	73	48
	024	085	TRUMPET	56	48
	025	086	TROMBONE	57	48
	026	087	STEREO BRASS	61	48
	027	088	BRASS SECTION	61	49
	028	089	SYNTH-BRASS	62	48
	029	090	80'S SYNTH-BRASS	62	49
	030	091	SAW LEAD	81	48
	031	092	MELLOW SAW LEAD	81	49
	032	093	SQUARE LEAD	80	48
	033	094	ER HU	110	56
	034	095	YANG QIN	15	56
	035	096	ZHENG	107	56
	036	097	PI PA	105	56
	037	098	DI ZI	72	56
	038	099	XIAO	77	56
	039	100	SHENG	109	56
	040	101	SITAR	104	56
	041	102	TANPURA	104	57
	042	103	HARMONIUM	20	56
	043	104	SANTUR	15	58
	044	105	SHANAI	111	56
	045	106	KANUN	15	59
	046	107	ODD	105	59
	047	108	NEY	72	57
<b>GM TONES</b>					
	001	109	GM PIANO 1	0	0
	002	110	GM PIANO 2	1	0
	003	111	GM PIANO 3	2	0
	004	112	GM HONKY-TONK	3	0
	005	113	GM E.PIANO 1	4	0
	006	114	GM E.PIANO 2	5	0
	007	115	GM HARPSICHORD	6	0
	008	116	GM CLAVI	7	0
	009	117	GM CELESTA	8	0
	010	118	GM GLOCKENSPIEL	9	0
	011	119	GM MUSIC BOX	10	0
	012	120	GM VIBRAPHONE	11	0
	013	121	GM MARIMBA	12	0
	014	122	GM XYLOPHONE	13	0
	015	123	GM TUBULAR BELL	14	0
	016	124	GM DULCIMER	15	0
	017	125	GM ORGAN 1	16	0
	018	126	GM ORGAN 2	17	0
	019	127	GM ORGAN 3	18	0
	020	128	GM PIPE ORGAN	19	0
	021	129	GM REED ORGAN	20	0
	022	130	GM ACCORDION	21	0
	023	131	GM HARMONICA	22	0
	024	132	GM BANDONEON	23	0
	025	133	GM NYLON STR.GUITAR	24	0
	026	134	GM STEEL STR.GUITAR	25	0
	027	135	GM JAZZ GUITAR	26	0
	028	136	GM CLEAN GUITAR	27	0

グループ名	グループ内番号	通し番号	音色名	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB
	029	137	GM MUTE GUITAR	28	0
	030	138	GM OVERDRIVE GT	29	0
	031	139	GM DISTORTION GT	30	0
	032	140	GM GT HARMONICS	31	0
	033	141	GM ACOUSTIC BASS	32	0
	034	142	GM FINGERED BASS	33	0
	035	143	GM PICKED BASS	34	0
	036	144	GM FRETLESS BASS	35	0
	037	145	GM SLAP BASS 1	36	0
	038	146	GM SLAP BASS 2	37	0
	039	147	GM SYNTH-BASS 1	38	0
	040	148	GM SYNTH-BASS 2	39	0
	041	149	GM VIOLIN	40	0
	042	150	GM VIOLA	41	0
	043	151	GM CELLO	42	0
	044	152	GM CONTRABASS	43	0
	045	153	GM TREMOLO STRINGS	44	0
	046	154	GM PIZZICATO	45	0
	047	155	GM HARP	46	0
	048	156	GM TIMPANI	47	0
	049	157	GM STRINGS 1	48	0
	050	158	GM STRINGS 2	49	0
	051	159	GM SYNTH-STRINGS 1	50	0
	052	160	GM SYNTH-STRINGS 2	51	0
	053	161	GM CHOIR AAHS	52	0
	054	162	GM VOICE DOO	53	0
	055	163	GM SYNTH-VOICE	54	0
	056	164	GM ORCHESTRA HIT	55	0
	057	165	GM TRUMPET	56	0
	058	166	GM TROMBONE	57	0
	059	167	GM TUBA	58	0
	060	168	GM MUTE TRUMPET	59	0
	061	169	GM FRENCH HORN	60	0
	062	170	GM BRASS	61	0
	063	171	GM SYNTH-BRASS 1	62	0
	064	172	GM SYNTH-BRASS 2	63	0
	065	173	GM SOPRANO SAX	64	0
	066	174	GM ALTO SAX	65	0
	067	175	GM TENOR SAX	66	0
	068	176	GM BARITONE SAX	67	0
	069	177	GM OBOE	68	0
	070	178	GM ENGLISH HORN	69	0
	071	179	GM BASSOON	70	0
	072	180	GM CLARINET	71	0
	073	181	GM PICCOLO	72	0
	074	182	GM FLUTE	73	0
	075	183	GM RECORDER	74	0
	076	184	GM PAN FLUTE	75	0
	077	185	GM BOTTLE BLOW	76	0
	078	186	GM SHAKUHACHI	77	0
	079	187	GM WHISTLE	78	0
	080	188	GM OCARINA	79	0
	081	189	GM SQUARE LEAD	80	0
	082	190	GM SAW LEAD	81	0
	083	191	GM CALLIOPE	82	0
	084	192	GM CHIFF LEAD	83	0
	085	193	GM CHARANG	84	0
	086	194	GM VOICE LEAD	85	0
	087	195	GM FIFTH LEAD	86	0
	088	196	GM BASS+LEAD	87	0
	089	197	GM FANTASY	88	0
	090	198	GM WARM PAD	89	0
	091	199	GM POLYSYNTH	90	0
	092	200	GM SPACE CHOIR	91	0
	093	201	GM BOWED GLASS	92	0
	094	202	GM METAL PAD	93	0
	095	203	GM HALO PAD	94	0
	096	204	GM SWEEP PAD	95	0
	097	205	GM RAIN DROP	96	0
	098	206	GM SOUND TRACK	97	0
	099	207	GM CRYSTAL	98	0
	100	208	GM ATMOSPHERE	99	0
	101	209	GM BRIGHTNESS	100	0
	102	210	GM GOBLINS	101	0
	103	211	GM ECHOES	102	0

グループ名	グループ内番号	通し番号	音色名	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB
	104	212	GM SF	103	0
	105	213	GM SITAR	104	0
	106	214	GM BANJO	105	0
	107	215	GM SHAMISEN	106	0
	108	216	GM KOTO	107	0
	109	217	GM THUMB PIANO	108	0
	110	218	GM BAGPIPE	109	0
	111	219	GM FIDDLE	110	0
	112	220	GM SHANAI	111	0
	113	221	GM TINKLE BELL	112	0
	114	222	GM AGOGO	113	0
	115	223	GM STEEL DRUMS	114	0
	116	224	GM WOOD BLOCK	115	0
	117	225	GM TAIKO	116	0
	118	226	GM MELODIC TOM	117	0
	119	227	GM SYNTH-DRUM	118	0
	120	228	GM REVERSE CYMBAL	119	0
	121	229	GM GT FRET NOISE	120	0
	122	230	GM BREATH NOISE	121	0
	123	231	GM SEASHORE	122	0
	124	232	GM BIRD	123	0
	125	233	GM TELEPHONE	124	0
	126	234	GM HELICOPTER	125	0
	127	235	GM APPLAUSE	126	0
	128	236	GM GUNSHOT	127	0
	129	237	STANDARD SET 1	0	120
	130	238	STANDARD SET 2	1	120
	131	239	STANDARD SET 3	2	120
	132	240	STANDARD SET 4	3	120
	133	241	ROOM SET	8	120
	134	242	HIP-HOP SET	9	120
	135	243	POWER SET	16	120
	136	244	ELECTRONIC SET	24	120
	137	245	SYNTH SET 1	25	120
	138	246	SYNTH SET 2	30	120
	139	247	TRANCE SET	31	120
	140	248	JAZZ SET	32	120
	141	249	BRUSH SET	40	120
	142	250	ORCHESTRA SET	48	120

### メモ

- 通し番号071 (STEEL STR.GUITAR 2)、072 (STEEL STR.GUITAR 3)の音色では、一番低い方の鍵盤を弾くと、ギターを演奏する際のかき鳴らし音が鳴ります。
- ドラムセット音色(通し番号237～250)の鍵盤ごとの打楽器については、57ページ「ドラム音色リスト」をご参照ください。

# ドラム音色リスト

音名/ ノートナンバー	STANDARD SET 1	STANDARD SET 2	STANDARD SET 3	STANDARD SET 4	ROOM SET	HIP-HOP SET	POWER SET	ELECTRONIC SET	SYNTH SET 1	SYNTH SET 2	TRANCE SET	JAZZ SET	BRUSH SET	ORCHESTRA SET
E1 28	High O	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	Closed Hi-Hat
F1 29	Slap	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	Pedal Hi-Hat
F1 30	Scratch Push	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	Open Hi-Hat
G1 31	Scratch Pull	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	Ride Cymbal 1
A1 32	Sticks	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A1 33	Square Click	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A1 34	Metronome Click	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
B1 35	Metronome Bell	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
C2 36	Standard1 Kick 2	Standard2 Kick 2	Standard3 Kick 2	Standard4 Kick 2	Room Kick 2	Hip-Hop Kick 2	Power Kick 2	Elec. Kick 2	Synth1 Kick 2	Synth2 Kick 2	Trance Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 1
C2 37	Standard1 Kick 1	Standard2 Kick 1	Standard3 Kick 1	Standard4 Kick 1	Room Kick 1	Hip-Hop Kick 1	Power Kick 1	Elec. Kick 1	Synth1 Kick 1	Synth2 Kick 1	Trance Kick 1	Jazz Kick 1	Jazz Kick 1	Concert BD
D2 38	Side Stick	Standard2 Side Stick	Standard3 Side Stick	Standard4 Side Stick	Room Side Stick	Hip-Hop Side Stick	Power Side Stick	Elec. Side Stick	Synth1 Side Stick	Synth2 Side Stick	Trance Side Stick	Jazz Side Stick	Brush Side Stick	Concert SD
E2 40	Standard1 Snare 1	Standard2 Snare 1	Standard3 Snare 1	Standard4 Snare 1	Room Snare 1	Hip-Hop Snare 1	Power Snare 1	Elec. Snare 1	Synth1 Snare 1	Synth2 Snare 1	Trance Snare 1	Jazz Snare 1	Brush Snare 1	Concert SD
F2 41	Standard1 Snare 2	Standard2 Snare 2	Standard3 Snare 2	Standard4 Snare 2	Room Snare 2	Hip-Hop Snare 2	Power Snare 2	Elec. Snare 2	Synth1 Snare 2	Synth2 Snare 2	Trance Snare 2	Jazz Snare 2	Brush Snare 2	Concert SD
F2 42	Standard1 Snare 2	Standard2 Snare 2	Standard3 Snare 2	Standard4 Snare 2	Room Snare 2	Hip-Hop Snare 2	Power Snare 2	Elec. Snare 2	Synth1 Snare 2	Synth2 Snare 2	Trance Snare 2	Jazz Snare 2	Brush Snare 2	Concert SD
G2 43	Closed Hi-Hat	Standard2 Closed Hi-Hat	Standard3 Closed Hi-Hat	Standard4 Closed Hi-Hat	Room Low Tom 1	Hip-Hop Closed Hi-Hat	Room Low Tom 1	Elec. Low Tom 1	Synth1 Low Tom 1	Synth2 Low Tom 1	Trance Closed Hi-Hat	←	←	Timpani F
A2 44	Pedal Hi-Hat	Standard2 Pedal Hi-Hat	Standard3 Pedal Hi-Hat	Standard4 Pedal Hi-Hat	Room Low Tom 2	Hip-Hop Pedal Hi-Hat	Room Low Tom 2	Elec. Low Tom 2	Synth1 Low Tom 2	Synth2 Low Tom 2	Trance Pedal Hi-Hat	←	←	Timpani G
A2 45	Mid Tom 2	Standard2 Mid Tom 2	Standard3 Mid Tom 2	Standard4 Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Hip-Hop Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Elec. Mid Tom 2	Synth1 Mid Tom 2	Synth2 Mid Tom 2	Trance Open Hi-Hat 1	←	←	Timpani Gf
B2 46	Open Hi-Hat	Standard2 Open Hi-Hat	Standard3 Open Hi-Hat	Standard4 Open Hi-Hat	Room Mid Tom 1	Hip-Hop Open Hi-Hat	Room Mid Tom 1	Elec. Mid Tom 1	Synth1 Open Hi-Hat	Synth2 Open Hi-Hat	Trance Open Hi-Hat 2	←	←	Timpani A
C3 48	High Tom 2	Standard2 High Tom 2	Standard3 High Tom 2	Standard4 High Tom 2	Room High Tom 2	Hip-Hop High Tom 2	Room High Tom 2	Elec. High Tom 2	Synth1 High Tom 2	Synth2 High Tom 2	Trance Open Hi-Hat 2	←	←	Timpani Af
D3 50	Crash Cymbal 1	Standard2 Crash Cymbal 1	Standard3 Crash Cymbal 1	Standard4 Crash Cymbal 1	Room High Tom 1	Hip-Hop Crash Cymbal 1	Room High Tom 1	Elec. High Tom 1	Synth1 Crash Cymbal	Synth2 High Tom 1	Trance Open Hi-Hat 2	←	←	Timpani A
E3 52	High Tom 1	Standard2 High Tom 1	Standard3 High Tom 1	Standard4 High Tom 1	Room High Tom 1	Hip-Hop High Tom 1	Room High Tom 1	Elec. High Tom 1	Synth1 High Tom 1	Synth2 High Tom 1	Trance Open Hi-Hat 2	←	←	Timpani c
F3 53	Ride Cymbal 1	Standard2 Ride Cymbal 1	Standard3 Ride Cymbal 1	Standard4 Ride Cymbal 1	Room High Tom 1	Hip-Hop Ride Cymbal 1	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Ride Cymbal	Synth2 High Tom 1	Trance Open Hi-Hat 2	←	←	Timpani d
F3 54	Ride Bell	Standard2 Ride Bell	Standard3 Ride Bell	Standard4 Ride Bell	Room High Tom 1	Hip-Hop Ride Bell	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Ride Cymbal	Synth2 High Tom 1	Trance Open Hi-Hat 2	←	←	Timpani d
G3 55	Tambourine	Standard2 Tambourine	Standard3 Tambourine	Standard4 Tambourine	Room High Tom 1	Hip-Hop Tambourine	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani e
A3 56	Splash Cymbal	Standard2 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Standard4 Splash Cymbal	Room High Tom 1	Hip-Hop Splash Cymbal	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
A3 57	Cowbell	Standard2 Cowbell	Standard3 Cowbell	Standard4 Cowbell	Room High Tom 1	Hip-Hop Cowbell	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
B3 58	Crash Cymbal 2	Standard2 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard4 Crash Cymbal 2	Room High Tom 1	Hip-Hop Crash Cymbal 2	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
B3 59	Vibraslap	Standard2 Vibraslap	Standard3 Vibraslap	Standard4 Vibraslap	Room High Tom 1	Hip-Hop Vibraslap	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
C4 60	Ride Cymbal 2	Standard2 Ride Cymbal 2	Standard3 Ride Cymbal 2	Standard4 Ride Cymbal 2	Room High Tom 1	Hip-Hop Ride Cymbal 2	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
C4 61	High Bongo	Standard2 High Bongo	Standard3 High Bongo	Standard4 High Bongo	Room High Tom 1	Hip-Hop High Bongo	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
D4 62	Low Bongo	Standard2 Low Bongo	Standard3 Low Bongo	Standard4 Low Bongo	Room High Tom 1	Hip-Hop Low Bongo	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
E4 64	Mute High Conga	Standard2 Mute High Conga	Standard3 Mute High Conga	Standard4 Mute High Conga	Room High Tom 1	Hip-Hop Mute High Conga	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
F4 65	Open High Conga	Standard2 Open High Conga	Standard3 Open High Conga	Standard4 Open High Conga	Room High Tom 1	Hip-Hop Open High Conga	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
G4 67	Open Low Conga	Standard2 Open Low Conga	Standard3 Open Low Conga	Standard4 Open Low Conga	Room High Tom 1	Hip-Hop Open Low Conga	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
A4 69	High Timbale	Standard2 High Timbale	Standard3 High Timbale	Standard4 High Timbale	Room High Tom 1	Hip-Hop High Timbale	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
A4 69	Low Timbale	Standard2 Low Timbale	Standard3 Low Timbale	Standard4 Low Timbale	Room High Tom 1	Hip-Hop Low Timbale	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
B4 71	High Agogo	Standard2 High Agogo	Standard3 High Agogo	Standard4 High Agogo	Room High Tom 1	Hip-Hop High Agogo	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
B4 71	Low Agogo	Standard2 Low Agogo	Standard3 Low Agogo	Standard4 Low Agogo	Room High Tom 1	Hip-Hop Low Agogo	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
C5 72	Cabasa	Standard2 Cabasa	Standard3 Cabasa	Standard4 Cabasa	Room High Tom 1	Hip-Hop Cabasa	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
C5 72	Maracas	Standard2 Maracas	Standard3 Maracas	Standard4 Maracas	Room High Tom 1	Hip-Hop Maracas	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
D5 74	Long High Whistle	Standard2 Long High Whistle	Standard3 Long High Whistle	Standard4 Long High Whistle	Room High Tom 1	Hip-Hop Long High Whistle	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
E5 76	Long Low Whistle	Standard2 Long Low Whistle	Standard3 Long Low Whistle	Standard4 Long Low Whistle	Room High Tom 1	Hip-Hop Long Low Whistle	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
F5 77	Short Guiro	Standard2 Short Guiro	Standard3 Short Guiro	Standard4 Short Guiro	Room High Tom 1	Hip-Hop Short Guiro	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
G5 79	Long Guiro	Standard2 Long Guiro	Standard3 Long Guiro	Standard4 Long Guiro	Room High Tom 1	Hip-Hop Long Guiro	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
A5 81	Mute Triangle	Standard2 Mute Triangle	Standard3 Mute Triangle	Standard4 Mute Triangle	Room High Tom 1	Hip-Hop Mute Triangle	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
B5 83	Open Triangle	Standard2 Open Triangle	Standard3 Open Triangle	Standard4 Open Triangle	Room High Tom 1	Hip-Hop Open Triangle	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
C6 84	Shaker	Standard2 Shaker	Standard3 Shaker	Standard4 Shaker	Room High Tom 1	Hip-Hop Shaker	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
D6 86	Jingle Bell	Standard2 Jingle Bell	Standard3 Jingle Bell	Standard4 Jingle Bell	Room High Tom 1	Hip-Hop Jingle Bell	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
E6 88	Bell Tree	Standard2 Bell Tree	Standard3 Bell Tree	Standard4 Bell Tree	Room High Tom 1	Hip-Hop Bell Tree	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
F6 89	Castanets	Standard2 Castanets	Standard3 Castanets	Standard4 Castanets	Room High Tom 1	Hip-Hop Castanets	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
F6 89	Mute Surdo	Standard2 Mute Surdo	Standard3 Mute Surdo	Standard4 Mute Surdo	Room High Tom 1	Hip-Hop Mute Surdo	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
F6 89	Open Surdo	Standard2 Open Surdo	Standard3 Open Surdo	Standard4 Open Surdo	Room High Tom 1	Hip-Hop Open Surdo	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
F6 89	Applause 1	Standard2 Applause 1	Standard3 Applause 1	Standard4 Applause 1	Room High Tom 1	Hip-Hop Applause 1	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f
F6 89	Applause 2	Standard2 Applause 2	Standard3 Applause 2	Standard4 Applause 2	Room High Tom 1	Hip-Hop Applause 2	Room High Tom 1	Reverse Cymbal	Synth1 Tambourine	Synth2 High Tom 1	Trance Tambourine	←	←	Timpani f

※ “←”の鍵盤は、STANDARD SET 1と同じ音です。

## リズムリスト

グループ名	グループ内 番号	通し番号	リズム名
POPS/DANCE/ROCK			
POPS			
001	001		POP
002	002		ACOUSTIC GUITAR POP
003	003		FAST POP
004	004		FUNK POP
005	005		POP ROCK
006	006		6/8 POP
007	007		FAST SOUL
008	008		SLOW SOUL
009	009		60's SOUL
010	010		POP SHUFFLE
8 BEAT/16 BEAT			
011	011		STRAIGHT 8 BEAT 1
012	012		STRAIGHT 8 BEAT 2
013	013		FUNK 8 BEAT
014	014		MELLOW 8 BEAT
015	015		GUITAR 8 BEAT
016	016		8 BEAT
017	017		8 BEAT POP
018	018		OLDIES 8 BEAT
019	019		60's 8 BEAT
020	020		16 BEAT
021	021		16 BEAT SHUFFLE
DANCE			
022	022		HIP-HOP
023	023		DANCE POP
024	024		DISCO POP
025	025		TECHNO POP
026	026		TRANCE
027	027		MODERN R&B
028	028		MODERN DANCE
029	029		DISCO SOUL
ROCK			
030	030		STRAIGHT ROCK
031	031		SHUFFLE ROCK
032	032		SHUFFLE BLUES
033	033		ROCK BLUES
034	034		EP BLUES
035	035		SLOW BLUES
036	036		SOFT ROCK
037	037		LATIN ROCK
038	038		SLOW ROCK
039	039		50's ROCK
040	040		50's PIANO ROCK
041	041		NEW ORLNS R&R
042	042		60's ROCK
043	043		ROCK
044	044		70's PIANO ROCK
045	045		ROCK WALTZ
JAZZ/EUROPEAN			
JAZZ			
001	046		SLOW BIG BAND
002	047		MIDDLE BIG BAND
003	048		FAST BIG BAND
004	049		ORCHESTRA SWING
005	050		SWING
006	051		SLOW SWING
007	052		JAZZ WALTZ
008	053		FOX TROT
009	054		QUICKSTEP
010	055		JAZZ COMBO 1
EUROPEAN			
011	056		SCHLAGER
012	057		POLKA

グループ名	グループ内 番号	通し番号	リズム名
	013	058	WALTZ 1
	014	059	WALTZ 2
	015	060	SLOW WALTZ
	016	061	VIENNESE WALTZ
	017	062	FRENCH WALTZ
	018	063	SERENADE
	019	064	TANGO
	020	065	MARCH 1
	021	066	MARCH 2
LATIN			
LATIN I			
001	067		BOSSA NOVA
002	068		SLOW BOSSA NOVA
003	069		BEGUINE
004	070		SAMBA 1
005	071		SAMBA 2
006	072		MAMBO
007	073		RHUMBA
008	074		CHA-CHA-CHA
009	075		MERENGUE
010	076		BOLERO
011	077		SALSA 1
012	078		SALSA 2
013	079		REGGAE
014	080		POP REGGAE
015	081		SKA
LATIN II			
016	082		REGGAETON 1
017	083		REGGAETON 2
018	084		CUMBIA
019	085		CALYPSO
020	086		FORRO
021	087		PAGODE
022	088		BANDA
023	089		PASILLO
024	090		ARGENTINE CUMBIA
025	091		PUNTA
026	092		BACHATA
WORLD			
WORLD I			
AMERICAN			
001	093		DIXIE
002	094		TEX-MEX
003	095		FAST GOSPEL
004	096		SLOW GOSPEL
005	097		HAWAIIAN
SPANISH/EASTERN EUROPEAN			
006	098		PASODOBLE
007	099		CAUCASIAN
008	100		RUSSIAN CHANSON 1
009	101		RUSSIAN CHANSON 2
010	102		POLISH WALTZ
ARABIC/ORIENTAL			
011	103		SIRTAKI
012	104		MUS
013	105		ADANI
014	106		BALADI
015	107		KHALIJI
016	108		MALFOUF
WORLD II			
INDIAN			
017	109		BHANGRA
018	110		DADRA
019	111		GARBA
020	112		KEHARWA

グループ名	グループ内 番号	通し番号	リズム名
	021	113	DANDIYA
	022	114	TEEN TAAL
	023	115	BHAJAN
CHINESE			
	024	116	GUANGDONG
	025	117	JIANGNAN
	026	118	BEIJING
	027	119	DONGBEIYANGGE
	028	120	JINGJU
	029	121	HUANGMEIXI
	030	122	QINQIANG
	031	123	YUJU
	032	124	YAOZU
	033	125	DAIZU
	034	126	MIAOZU
	035	127	MENGGU
	036	128	XINJIANG
	037	129	ZANGZU
SOUTHEAST ASIAN			
	038	130	KRONCONG
	039	131	DANGDUT
JAPANESE			
	040	132	ENKA
COUNTRY/VARIOUS			
COUNTRY			
	001	133	MODERN COUNTRY
	002	134	COUNTRY 8 BEAT
	003	135	COUNTRY BALLAD
	004	136	COUNTRY SHUFFLE
	005	137	FINGER PICKING COUNTRY
	006	138	COUNTRY WALTZ
	007	139	BLUEGRASS
VARIOUS			
	008	140	CHRISTMAS SONG
	009	141	CHRISTMAS WALTZ
	010	142	SCREEN SWING
	011	143	SYMPHONY
	012	144	STR QUARTET
BALLAD			
BALLAD			
	001	145	PIANO ROCK BALLAD
	002	146	90's BALLAD
	003	147	MODERN BALLAD
	004	148	ELECTRIC BALLAD
	005	149	SLOW BALLAD 1
	006	150	SLOW BALLAD 2
	007	151	R&B BALLAD
	008	152	16 BEAT BALLAD
	009	153	SOUL BALLAD
	010	154	POP BALLAD 1
	011	155	POP BALLAD 2
	012	156	PIANO WALTZ BALLAD
	013	157	90's 6/8 BALLAD
	014	158	6/8 BALLAD 1
	015	159	6/8 BALLAD 2
	016	160	ROCK BALLAD
PIANO RHYTHMS			
PIANO RHYTHMS			
	001	161	PIANO 8 BEAT
	002	162	PIANO BALLAD 1
	003	163	PIANO BALLAD 2
	004	164	EP BALLAD 1
	005	165	EP BALLAD 2
	006	166	BLUES BALLAD
	007	167	JAZZ COMBO 2
	008	168	JAZZ COMBO 3
	009	169	RAGTIME
	010	170	BOOGIE-WOOGIE

グループ名	グループ内 番号	通し番号	リズム名
	011	171	PIANO ROCK & ROLL
	012	172	ARPEGGIO 1
	013	173	ARPEGGIO 2
	014	174	ARPEGGIO 3
	015	175	PIANO MARCH 1
	016	176	PIANO MARCH 2
	017	177	STRIDE PIANO
	018	178	WALTZ 3
	019	179	WALTZ 4
	020	180	WALTZ 5


**メモ**

- 通し番号171～180番のリズムは、コードを入力しないと音が鳴りません。

## ミュージック プリセット リスト

グループ名	グループ内 番号	通し番号	プリセット名
1			
POPS			
	1	1	Soft Pop
	2	2	Winter Pop
	3	3	Oldies Pop
	4	4	Alpine Flora
	5	5	Gypsy
	6	6	Rain Pop
	7	7	Movie Waltz
	8	8	Funky Pop
	9	9	Love Pop
	10	10	60's Pop
	11	11	Rising Sun
	12	12	Pop Ska
	13	13	Weep Blues
	14	14	Cartoon
	15	15	Carol
	16	16	My Life
	17	17	Blue Love
	18	18	Xmas Pop
	19	19	Shuffle Pop1
	20	20	Shuffle Pop2
	21	21	70's Soul
	22	22	70's Pop
	23	23	West Coast
	24	24	Bossa Pop
	25	25	Radio Pop
	26	26	Crazy Roll
	27	27	80's Pop 1
	28	28	80's Pop 2
	29	29	UK Pop 1
	30	30	UK Pop 2
	31	31	A Feeling
	32	32	Calling
	33	33	80's EuroPop
	34	34	The World
	35	35	Mexican Pop
	36	36	Guitar Pop
	37	37	90's Pop
	38	38	Wonder
	39	39	Modern Pop 1
	40	40	Modern Pop 2
	41	41	MdrnPopRock
DANCE			
	42	42	Funky Disco
	43	43	Funky Clavi
	44	44	Disco Soul
	45	45	70's Disco
	46	46	Disco Lady
	47	47	Staying
	48	48	Up&Down
	49	49	80's Disco
	50	50	80'sDancePop
	51	51	Bb Girl
	52	52	Blv Disco
	53	53	Lady Jam
	54	54	Into Your H
	55	55	Euro Pop
	56	56	Modern Dance
	57	57	Trance
	58	58	ShuffleDance
ROCK			
	59	59	50's Rock 1
	60	60	50's Rock 2
	61	61	Heartache
	62	62	EP R&R
	63	63	Pop R&B
	64	64	60's Rock 1
	65	65	60's Rock 2
	66	66	60's Rock 3
	67	67	60's Rock 4
	68	68	60's Rock 5
	69	69	Get Rock
	70	70	Honky Rock
	71	71	Wild Rock
	72	72	Alligator
	73	73	Movie Rock
	74	74	Pop Rock
	75	75	16Bt Shuffle
	76	76	Heat Up

グループ名	グループ内 番号	通し番号	プリセット名
	77	77	Hard Rock
	78	78	Grunge Rock
	79	79	Modern Rock
	80	80	R&R
	81	81	Piano R&R
	82	82	Blues
	83	83	8 Bars Blues
	84	84	Riff Rock 1
	85	85	Riff Rock 2
	86	86	Riff Rock 3
2			
CLASSIC			
	1	87	Canon
	2	88	Air G String
	3	89	Je Te Veux
	4	90	Adagio
	5	91	Spring
	6	92	Ave Maria
	7	93	JesusBleibet
	8	94	Symphony 25
	9	95	Symphony 40
	10	96	HungriaDance
	11	97	Eine Kleine
	12	98	Pathetique
	13	99	Moonlight
	14	100	PstlSymphony
	15	101	Ode To Joy
	16	102	Le Cygne
	17	103	Swan Lake
	18	104	Valse Fleurs
	19	105	Habanera
	20	106	Nocturne
	21	107	Etude
	22	108	FrenchCancan
	23	109	Fantaisielmp
	24	110	Humoresque
	25	111	Pavane
	26	112	Hope & Glory
	27	113	Moldau
	28	114	FromNewWorld
	29	115	Reverie
	30	116	Nutcracker
	31	117	Liebestraume
	32	118	Gymnopedies
	33	119	Jupiter
	34	120	Entertainer
	35	121	MapleLeafRag
TRAD			
	36	122	Michael Row
	37	123	GrndpasClock
	38	124	Troika
	39	125	AuldLangSyne
	40	126	Aloha Oe
	41	127	O Sole Mio
	42	128	Furusato
	43	129	SzlaDziweczka
	44	130	Battle Hymn
	45	131	Condor
	46	132	ScarboroFair
	47	133	Danny Boy
	48	134	Greensleeves
	49	135	Annie Laurie
	50	136	AmazingGrace
	51	137	WeWishU Xmas
	52	138	Silent Night
	53	139	Joy To World
	54	140	YankeeDoodle
	55	141	Clarnt Polka
	56	142	TaRaRaBoom
	57	143	Double Eagle
	58	144	Blauen Donau
	59	145	Yellow Rose
	60	146	BeautDreamer
LATIN			
	61	147	Satellite
	62	148	Rio
	63	149	Aqua
	64	150	Single
	65	151	Sea Shore
	66	152	Poor Pitch

グループ名	グループ内 番号	通し番号	プリセット名
	67	153	Mountain
	68	154	Heartless
	69	155	Carnival
	70	156	Mythology
	71	157	Tico-Tico
	72	158	Beguine
	73	159	Amapola
	74	160	La Paloma
	75	161	Banana Boat
	76	162	Peanut
	77	163	A Cup Of
	78	164	Jamaica
	79	165	60's Movie 1
	80	166	60's Movie 2
	81	167	The No.5
	82	168	Everyday
	83	169	Kiss Me
	84	170	El Tango
	85	171	El Choclo
	86	172	Reggae 1
	87	173	Reggae 2
	88	174	Pop Reggae 1
	89	175	Pop Reggae 2
	90	176	Latin Rock 1
	91	177	Latin Rock 2
	92	178	Modern Latin
COUNTRY			
	93	179	US Folk 1
	94	180	US Folk 2
	95	181	50's Country
	96	182	70's Country
	97	183	60's Folk
	98	184	Tree
	99	185	A Friend
	100	186	Cowboy
	101	187	Country Bld1
	102	188	Country Bld2
	103	189	Country Bld3
	104	190	CountryWaltz
	105	191	Mdm Country
3			
BALLAD			
	1	192	Love Ballad
	2	193	R&B Ballad
	3	194	Soul Ballad
	4	195	Blues Ballad
	5	196	MovieBallad1
	6	197	MovieBallad2
	7	198	MovieBallad3
	8	199	Xmas Ballad
	9	200	Love Me
	10	201	Oldies Bld 1
	11	202	Oldies Bld 2
	12	203	Oldies Bld 3
	13	204	Oldies Bld 4
	14	205	E World
	15	206	Guitar Bld 1
	16	207	Guitar Bld 2
	17	208	Moon Waltz
	18	209	Theme
	19	210	Paradise
	20	211	60's Ballad1
	21	212	60's Ballad2
	22	213	Baroque Bld
	23	214	FrenchBallad
	24	215	Everywhere
	25	216	Wonderful
	26	217	70's Ballad1
	27	218	70's Ballad2
	28	219	70's Ballad3
	29	220	My Song
	30	221	Peace
	31	222	Without
	32	223	Soundtrack
	33	224	Soft Ballad
	34	225	Memories
	35	226	Minor Ballad
	36	227	Pop Ballad 1
	37	228	Pop Ballad 2
	38	229	PianoBallad1
	39	230	PianoBallad2
	40	231	Musical Bld
	41	232	R Ballad
	42	233	Love Song

グループ名	グループ内 番号	通し番号	プリセット名
	43	234	80's Ballad1
	44	235	80's Ballad2
	45	236	80's Ballad3
	46	237	80's Ballad4
	47	238	Friends
	48	239	Rock Ballad1
	49	240	Rock Ballad2
	50	241	Two Flames
	51	242	90's Ballad1
	52	243	90's Ballad2
	53	244	90's Ballad3
	54	245	90's SoulBld
	55	246	I Always
	56	247	6/8 Ballad
	57	248	Wind Ballad
	58	249	90's 6/8 Bld
	59	250	My Ballad
	60	251	MdmSoulBld1
	61	252	MdmSoulBld2
	62	253	Mdm Pf Bld
	63	254	Rap Ballad
	64	255	Dance Ballad
	65	256	MdmRock Bld
	66	257	Slow Ballad
	67	258	90's R&B Bld
JAZZ			
	68	259	My Swing
	69	260	Your Things
	70	261	Angel
	71	262	Time Passes
	72	263	Piano Trio
	73	264	Goodbye
	74	265	Marine Dance
	75	266	Vine Days
	76	267	TraneChanges
	77	268	RhythmChange
	78	269	Swing Mood
	79	270	The Big Mood
	80	271	Brown Jug
	81	272	Jazz Club
	82	273	All Day Long
	83	274	Avenue
	84	275	Big Band 1
	85	276	Big Band 2
	86	277	Jazz Waltz 1
	87	278	Jazz Waltz 2
	88	279	Jazz Waltz 3
	89	280	Mode Jazz
	90	281	Tea Time
	91	282	Welcome Home
	92	283	Jazz Opera
	93	284	NY City
	94	285	Soul & Jazz
	95	286	Loneliness
	96	287	Foggy
	97	288	Moon Swing
	98	289	Jazz Ballad1
	99	290	Jazz Ballad2
	100	291	Jazz Ballad3
	101	292	PatheticTrip
	102	293	Night Sky
	103	294	Twilight
	104	295	Blues in F
	105	296	Blues in Bb
	106	297	Blues in C
	107	298	II-V
	108	299	II-V-I
	109	300	Minor Blues

## 指定できるコード種一覧

### フィンガード1、2で指定できるコード種

C (メジャー)	
Cm (マイナー)	
Cdim (ディミニッシュ)	
Caug (オーギュメント) <sup>※3</sup>	
Csus4 (サスフォー) <sup>※3</sup>	
Csus2 (サスツー) <sup>※3</sup>	
C7 (セブンス)	
Cm7 (マイナーセブンス) <sup>※3</sup>	
CM7 (メジャーセブンス)	
(マイナーセブンスフラットフィフス) <sup>※3</sup> Cm7 <sup>b</sup> 5	
(セブンスフラットフィフス) <sup>※3</sup> C7 <sup>b</sup> 5	
(セブンスサスフォー) C7sus4	
Cadd9 (アドナインス)	
Cmadd9 (マイナーアドナインス)	
CmM7 (マイナーメジャーセブンス)	
Cdim7 (ディミニッシュセブンス) <sup>※3</sup>	
(シックスナインス) <sup>※3</sup> C6 <sup>9</sup>	
(シックス) <sup>※1 ※3</sup> C6	
(マイナーシックス) <sup>※2 ※3</sup> Cm6	

※1 フィンガード2では、Am7として判別されます。

※2 フィンガード2では、Am7<sup>b</sup>5として判別されます。

※3 転回形では使えない場合があります。

### フィンガード3、フルレンジコードで指定できるコード種

フィンガード1、2で指定できるコード種に加え、下記のコード種が判別できます。

$\frac{C\#}{C}$	$\frac{D}{C}$	$\frac{E}{C}$	$\frac{F}{C}$	$\frac{G}{C}$	$\frac{A^b}{C}$	$\frac{B^b}{C}$	$\frac{B}{C}$	$\frac{C\#m}{C}$	$\frac{Dm}{C}$	$\frac{Fm}{C}$
$\frac{Gm}{C}$	$\frac{Am}{C}$	$\frac{B^bm}{C}$	$\frac{Ddim}{C}$	$\frac{A^b7}{C}$	$\frac{F7}{C}$	$\frac{Fm7}{C}$	$\frac{Gm7}{C}$	$\frac{A^badd9}{C}$		

#### メモ

- フィンガード3では、最低音がベース音として判別され、転回形は使えません。
- フルレンジコードでは、最低音とその次の音がある程度離れている場合に、分数コードとして判別されます。
- フルレンジコードではフィンガード1・2・3と異なり、鍵盤を3つ以上押したときに限りコードが指定されます。



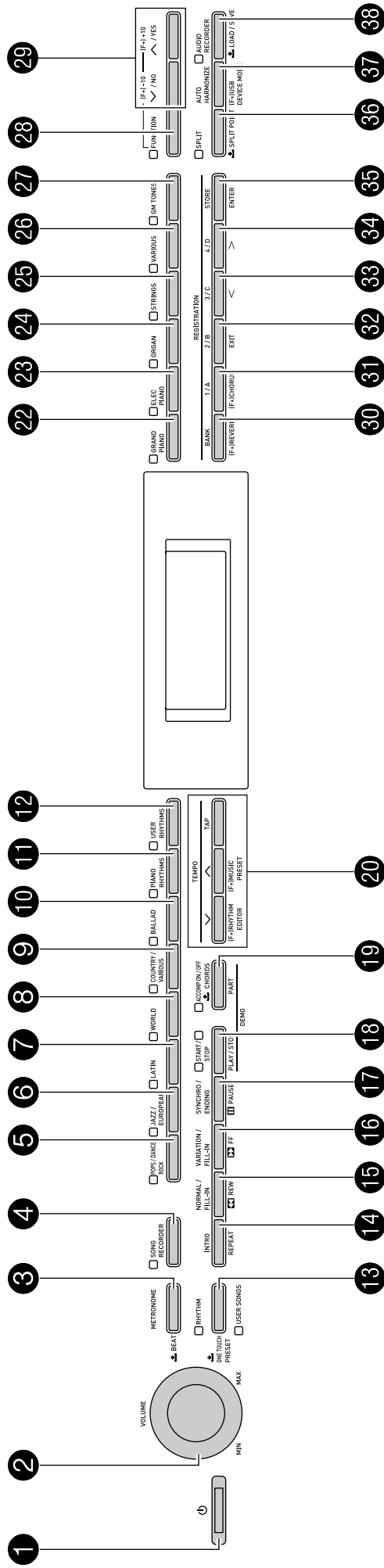
# コード例一覧

根音 (ルート) コード の種類	C	C#(D <sup>b</sup> )	D	(D#)/E <sup>b</sup>	E	F	F#(G <sup>b</sup> )	G	(G#)/A <sup>b</sup>	A	(A#)/B <sup>b</sup>	B
M												
m												
dim												
aug												
sus4												
sus2												
7												
m7												
M7												
m7 <sup>5</sup>												
7 <sup>5</sup>												
7sus4												
add9												
madd9												
mM7												
dim7												
69												
6												
m6												

• コード入力鍵盤の範囲などの制約により、一部のコードでは上記のとおり指定できない場合があります。

- 点線から切り離して、本書の操作説明を読むときにご活用ください。

# PX-350M



## MIDI インプリメンテーション・チャート

ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	1 ~ 16 1 ~ 16	1 ~ 16 1 ~ 16	
モード	モード3 x *****	モード3 x *****	
ノート ナンバー: 音 域	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127*1	
ベロシティ	0 ~ 127 9nH v = 1 ~ 127 x 8nH v = 64	0 ~ 127 9nH v = 1 ~ 127 x 9nH v = 0, 8nH v = **	**は関係なし
アフター タッチ	x x	x o	
ピッチ・バンド	o	o	
コントロール チェンジ	0,32 1 5 6,38 7 10 11 16 17 18 19 64 65 66	oooooooooooooooooooo	バンクセレクト モジュレーション ホルタメントタイム テータメントリー LSB、MSB *2 ボリューム バンク エクスプレッション DSPパラメータ-0 *2 DSPパラメータ-1 *2 DSPパラメータ-2 *2 DSPパラメータ-3 *2 タンバ ホルタメントスイッチ ソステナート



**CASIO®**

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

© MA1301-B Printed in China



PX350-JA-1B

© 2012 CASIO COMPUTER CO., LTD.